

和歌山県立近代美術館年報

二〇一三（平成25）年度



## 刊行にあたって

2013(平成25)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963(昭和38)年に和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身とし、1970(昭和45)年、近代美術を標榜するわが国5番目の美術館として県民文化会館1階に開館しました。23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。

開館以来、当館は和歌山県にゆかりのある作家について調査と紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」や「関西の美術家シリーズ」など独自の展覧会を通じて、日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。これらは、近代美術の展示・収集活動にとどまらず、今日の多様化する表現に対応し、幅広い美術を紹介する礎となっています。

2013(平成25)年度も当館は多彩な事業を展開しました。展覧会は「日本の絵画の五十年」、「なつやすみの美術館3 美術の時間」、「生誕120年 石垣栄太郎」、「物質と美術」、「版画について考える」という、これまでのコレクションの蓄積と調査研究を基礎としつつ展開した企画展5本を開催できました。コレクション展は4回開催し、それに「瑛九：紙の上の仕事」、「香山小鳥：ゆめの日のかけ」、「人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」、「モノクロームの世界」という特集展示を組んで、コレクションの魅力を発信しました。

収集事業についても、収集方針に基づいた購入を継続するとともに、今年度も多くの方々より作品や資料の寄贈を受けることができました。

教育普及事業については、展覧会を通じた鑑賞活動を基本に、学校教育との連携を一層深めています。教員との定期的な研究会も定着しつつありますし、和歌山大学および附属小・中学校との連携は、より具体的な活動へと展開しています。

当館の活動は、ご来館くださる方々をはじめ、多くの皆様のご支援とご協力によって成り立っています。ここに心から感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、さらに充実した美術館活動を進める基礎とするため、本年報を刊行いたします。

2015(平成27)年3月

和歌山県立近代美術館

館長 熊田 司

## 目次

刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	5
特別事業	47
普及事業	48
協力事業	52
作品貸付	53
調査・研究・発表活動および对外協力活動	55
収集事業	57
保存事業	66
管理運営	67
関連法規	69
建築概要	74
案内	76

# 沿革

## ■和歌山県立美術館

- 1963(昭和38)年  
3月17日 旧和歌山城二の丸跡に開館  
7月 川口軌外展  
10月 第1回明治・大正・昭和名作美術展  
11月 第17回和歌山県美術展(1969年第23回展まで開催)
- 1964(昭和39)年  
4月 紀州陶磁器展  
10月 第2回明治・大正・昭和名作美術展
- 1965(昭和40)年  
3月 祇園南海展  
5月 長沢蘆雪名作展  
7月 日高昌克展  
10月 近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
- 1966(昭和41)年  
3月 ダリ・シャガール・ビュッフェ版画展  
6月 石垣栄太郎遺作展  
6月 日本伝統工芸秀作展  
7月 川端龍子展  
10月 松方コレクション展
- 1967(昭和42)年  
10月 富岡鉄斎展
- 1968(昭和43)年  
3月 桑山玉洲展  
9月 扇絵展  
10月 明治100年記念郷土作家回顧展
- 1969(昭和44)年  
4月 保田龍門展
- 1970(昭和45)年  
11月2日 廃館

## ■和歌山県立近代美術館

- 1970(昭和45)年  
11月2日 和歌山県民文化会館内に開館  
第24回和歌山県美術展(1993年第47回展まで開催)
- 1971(昭和46)年  
3月 大夢・晩花展  
8月 紀州の風景画展
- 1972(昭和47)年  
3月 原勝四郎展  
10月 アメリカにおける日本人作家回顧展  
-石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー・杉本
- 1973(昭和48)年  
10月 川口軌外展
- 1974(昭和49)年  
4月 吉田政次遺作展  
10月 稲伊之助展
- 1975(昭和50)年  
10月 木下孝則回顧展
- 1976(昭和51)年  
2月 1910年代における京都日本画の新動向展  
10月 木下義謙作品展
- 1977(昭和52)年  
2月 田中恭吉展  
10月 川端龍子展
- 1978(昭和53)年  
10月 日高昌克展

- 1979(昭和54)年  
2月 神中糸子と工部美術学校展  
5月 村井正誠展  
10月 高井貞二展
- 1980(昭和55)年  
3月 川口軌外とその周辺 -和歌山の初期独立展系作家たち-展  
10月 開館10周年記念 1930年協会の作家たち展
- 1981(昭和56)年  
3月 恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展  
10月 下村觀山-その人と芸術-
- 1982(昭和57)年  
2月 建島覚造展  
7月 イタリア美術の一世纪《1880-1990》展  
10月 稲田一穂展
- 1983(昭和58)年  
7月 関西の美術家シリーズ1 一津高和一・泉茂・吉原英雄展
- 1984(昭和59)年  
2月 和歌山の作家と県内洋画壇展  
7月 関西の美術家シリーズ2-元永定正・白髮一雄展  
10月 紀州の風景を描いた作家たち展
- 1985(昭和60)年  
3月 第1回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人  
-清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・福岡道雄展
- 10月 開館15周年記念 近代洋画の展開  
-初期独立美術協会の作家たち展
- 1986(昭和61)年  
7月 朝井閑右衛門の世界  
10月 瑛九とその周辺展
- 1987(昭和62)年  
3月 第2回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ4 日本画の4人  
-大野淑嵩・下村良之介・星野真吾・三上誠展
- 9月 太平洋を越えた日本の画家たち展
- 1988(昭和63)年  
3月 描かれた動物たち展  
7月 関西の美術家シリーズ5 版画の4人  
-井田照一・木村光佑・黒崎彰・船井裕展
- 10月 竹久夢二とその周辺展
- 1989(昭和64・平成元)年  
3月 第3回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ6 現代の造形  
-土と布と糸。荒木高子・前川強・濱谷明夫展
- 10月 親と子で見る世界の名画展
- 1990(平成2)年  
7月 関西の美術家シリーズ7 美術の現在  
-4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村秀樹・野田裕示展
- 10月 現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中心として
- 1991(平成3)年  
3月 第4回和歌山版画ビエンナーレ展  
7月 関西の美術家シリーズ8 美術の現在  
-彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島慶樹展
- 9月 ポスター芸術100年
- 1992(平成3)年  
10月 版画芸術の饗宴  
-ケネス・タイラーと巨匠たち:1963-1992
- 1993(平成4)年  
3月 第5回和歌山版画ビエンナーレ展

## ■新館計画

- 1988(昭和63)年  
2月 政策調整会議において、美術館及び博物館2館の建設を決定
- 3月 新美術館の建設計画に係る基本的事項についての指導、助言を得るため「新美術館建設懇談会」を設置
- 9月 新美術館に係る基本構想策定のため、「新美術館建設検討委員会」を設置
- 1989(昭和64・平成元)年  
4月 「和歌山県美術品取得基金条例」を設置  
新美術館建設検討委員会より「和歌山県立新美術館の建設基本構想について」答申
- 8月 美術館の美術作品収集基本方針及び開館展等の開催に関する事項を検討、協議するため、「新美術館専門会議」を設置
- 美術館において収集する美術作品の選定に関し、審議するため「和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会」を設置
- 9月 新美術館専門会議において「新美術館の美術作品収集方針について」承認
- 1990(平成2)年  
3月 新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設計事務所」に委託
- 1991(平成3)年  
7月 和歌山県美術品取得基金によりジョージ・シーガル『煉瓦の壁ぞいに歩く男』(1988)を購入
- 10月 施設着工式を挙行
- 11月 和歌山県美術品取得基金によりマーク・ロスコ『赤の上の黄褐色と黒』(1957)を購入
- 1992(平成4)年  
8月 和歌山県美術品取得基金によりフランク・ステラ『ラッカIII』(1968)を購入
- 1993(平成5)年  
9月 和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ピカソ『ミノトーロマシー』(1935)、《泣く女》(1937)を購入
- 1994(平成6)年  
2月 定礎式を挙行  
3月 工事完了  
4月 新美術館へ移転
- 和歌山県立近代美術館 新館
- 7月8日 新近代美術館開館  
開館記念展1 美術館へ行こう
- 10月 開館記念展2 大正のまなざし 一若き保田龍門とその時代
- 11月 ルオーの「ミゼレーレ」
- 1995(平成7)年  
1月 恩地孝四郎-色と形の詩人-  
2月 和歌山ゆかりの作家たち  
4月 1994年度新収蔵作品展  
4月 ヴィクトリア&アルバート美術館展  
-イギリス絵画の350年
- 7月 村井正誠展 色とかたちと心-人間の詩-  
8月 美術館に行ったよ!-風景ってなに-  
9月 保田春彦展
- 10月 野田裕示近作展
- 1996(平成8)年  
1月 線画の世界-かたりの表現-  
2月 ひかる・うごく・おとがする  
4月 「絵画」というしくみ  
6月 紀伊半島を歩いて  
-ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン  
8月 モスクワ、ブーシキン美術館名作展-室内への視線-  
9月 ホックニーのグリム童話  
11月 日本のグラフィックデザイン
- 1997(平成9)年  
1月 和歌山の版画家10人  
3月 新しい関西の美術家たち ものとあらわれ  
4月 美術館へ行ったよ! コレクションに見る東京  
5月 美術館へ行ったよ! コレクションに見るパリ  
7月 アルザスとフランス近代美術の歩み  
-ストラスブル近代美術館展  
8月 版画の技法・表現の手法  
10月 マリノ・マリーニ展  
11月 アメリカの中の日本-石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち
- 1998(平成10)年  
1月 心のかたち  
2月 泉茂 初期版画作品を中心に  
4月 世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展  
5月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1  
6月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2  
8月 静けさの中から 星の贈りもの  
9月 和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3  
10月 意味とイメージ  
12月 フランス現代美術展 眼と精神
- 1999(平成11)年  
2月 関西の戦後美術 1950's~1990's  
4月 めいさく根掘葉掘 アートと知り合い!  
6月 デモクラート1951-1957  
7月 日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4  
8月 熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展  
9月 サンフランシスコ近代美術館展  
11月 川口軌外展 ある洋画家の軌跡  
12月 越境する想像力 素材との出会い
- 2000(平成12)年  
2月 コレクションにみる芸術と社会  
4月 田中恭吉展  
5月 定規とコンパス?幾何学图形と美術の表現  
7月 印象派の巨匠 シスレー展  
-イル・ド・フランスの光を愛して  
9月 東欧絵本の世界展-国境を越える子どものためのアート  
11月 現代版画の軌跡 ゆめとめざめ  
12月 日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
- 2001(平成13)年  
2月 版画今昔  
4月 夢の世界のおくりもの-アンデルセン童話・絵本原画展  
5月 うごけば、かわる。  
8月 宇佐美圭司・絵画宇宙  
9月 浜口陽三へのオマージュ  
10月 マックス・エルンスト展  
12月 一期一会 であう めでる つたえる  
-コレクションによる全館展示
- 2002(平成14)年  
4月 あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀

## 展覧会事業

5月	「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
7月	アンジェ美術館展
9月	山本容子の美術遊園地
11月	美術百科「この人のこの一点」の巻 —コレクションによる全館展示
2003(平成15)年	
4月	はじめての美術・絵本原画の世界展
6月	チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド展
7月	近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展
9月	たがやすように 熟す画面の4つのかたち展
12月	美術百科「七つの鍵」の巻 —コレクションによる全館展示
2004(平成16)年	
4月	和歌山県特別事業 日本に向けられたヨーロッパ人の 眼・ジャパントウディ vol.6 atW vol.1 永坂嘉光・鈴木理策 高野_熊野_聖地
6月	小野竹喬展
7月	ピノッキオ その誕生から現代まで展
11月	チャールズ&レイ・イームズ 創造の遺産展
2005(平成17)年	
1月	開館10周年記念 美術百科「版画」の巻 —コレクションによる全館展示
4月	没後10年 遺業・泉茂展
6月	世界の版画名品選展
7月	夏休み わかやま美術探偵団展 関連企画 鈴木昭男 点音 in 和歌山
9月	版画家たちの表情
11月	佐伯祐三—芸術家への道—
2006(平成18)年	
1月	美術百科「世界一周」の巻 —コレクションによる全館展示
4月	ベトナム近代絵画展 花と銃 —インドシナ・モダンの半世紀
6月	現代「日本画」の展望—内と外のあいだで—
9月	森鷗外と美術
11月	科学の感情—あたらしい時代の感覚と表現—
2007(平成19)年	
1月	美術百科「前衛の関西」の巻 —コレクションによる全館展示
4月	竹久夢二展—描くことが生きること— 大正デカダンス「夢二」+「テルオ・バンカ」
6月	ふだん美術 うるわしき技の世界 近現代美術の達人たち
7月	relations 関係 FUJIMOTO and relations 関係 happy conceptual—杉山知子+藤本 由紀夫
10月	森のなかで
12月	美術百科「色・いろいろ」の巻 —コレクションによる全館展示
2008(平成20)年	
4月	叙情の様式
6月	共作×共鳴×共感—ともに作られた作品たち
7月	ルオーヌミセレーレー人間へのまなざし—
9月	点と面の詩情—上前智祐・中山嘉一・坪田政彦展
11月	彼岸の美術
12月	美術百科「この人はだれ」の巻 —コレクションによる全館展示
2009(平成21)年	
4月	原勝四郎展
4月	アメリカをめぐって
6月	油絵の理由 —「あぶらえ」は好きですか?
7月	生誕100年記念 浜口陽三展
9月	サマー・ミュージアム—わかやま発見—
11月	自宅から美術館へ 田中恒子コレクション展 コレクション名品展
12月	世界遺産登録5周年記念 描かれた紀伊山地の霊場と参詣道
2010(平成22)年	
4月	開館40周年記念展I ようこそ彫刻の森へ
4月	宇佐美圭司展
7月	大亦新治郎のスケッチから
9月	開館40周年記念展II 日本近代の青春 創作版画の名品
10月	保田春彦展 新作デッサンを中心に
2011(平成23)年	
1月	開館40周年記念展III 油絵の魅力 イズムを超えて
3月	版画の「アナ」 ガリ版がつなぐ孔版画の歴史
3月	吉田政次の世界展
4月	ポップ? ポップ! ポップ♡ コレクションによるポップなアートの50年
6月	特集展示「生誕120年記念 恩地孝四郎・藤森静雄」
7月	なつやすみの美術館「みること」「うつすこと」
9月	生誕100年 高井貞二展 —「昭和」を描いた人—
9月	特集展示「生誕120年 保田龍門展」
11月	吉原英雄展 画家のドラマ
12月	特集展示「生誕130年 日高昌克展」
12月	特集展示「吉原英雄を囲む作家たち」
2012(平成24)年	
2月	ホックニーのグリム童話
3月	特集展示「井田照一」
4月	人間と自然の美術
6月	なつやすみの美術館2: かたちと色のABC
6月	特集展示「なつやすみ特集 野田哲也」
9月	生誕120年記念 田中恭吉展
9月	特集展示「幻想の美術」
11月	生誕120年記念 川口軌外の歩み展
12月	特集展示「没後70年 建畠大夢」
2013(平成25)年	
2月	贋写版の冒険 卓上印刷器からはじめたアート
3月	特集展示「版画・図案・オブジェ」
4月	日本の絵画の50年
6月	特集展示「瑛九: 紙の上の仕事」
7月	なつやすみの美術館3「美術の時間」
9月	生誕120年記念 石垣栄太郎
9月	特集展示「没後100年 香山小鳥」
12月	特集展示「人間と宇宙のドラマ: 吹田文明・堀井英男・長岡國人」
12月	物質と美術
2014(平成26)年	
2月	版画について考える
3月	特集展示「モノクロームの世界」

## 2013(平成25)年度 展覧会一覧

### 1. 企画展

- 1. 日本の絵画の五十年 ..... 6  
4月20日(土)~6月16日(日)
- 2. なつやすみの美術館3「美術の時間」 ..... 8  
7月6日(土)~8月25日(日)
- 3. 生誕120年記念 石垣栄太郎 ..... 11  
9月3日(火)~10月20日(日)
- 4. 物質と美術 ..... 15  
12月21日(土)~2014(平成26)年2月11日(火・祝)
- 5. 版画について考える ..... 18  
2014(平成26)年2月18日(火)~3月30日(日)

### 2. 常設展

- 1. コレクション展 2013-夏 ..... 24  
6月8日(土)~9月1日(日)
- 2. 特集展示「瑛九: 紙の上の仕事」 ..... 27  
6月8日(土)~9月1日(日)
- 3. コレクション展 2013-秋 ..... 30  
9月14日(土)~12月1日(日)
- 4. 特集展示 没後100年「香山小鳥: ゆめの日のかけ」 ..... 33  
9月14日(土)~12月1日(日)
- 5. コレクション展 2013/14-冬 ..... 36  
12月17日(火)~2014(平成26)年2月23日(日)
- 6. 特集展示「人間と宇宙のドラマ: 吹田文明・堀井英男・長岡國人」 ..... 39  
12月17日(火)~2014(平成26)年2月23日(日)
- 7. コレクション展 2014-春 ..... 42  
2014(平成26)年3月1日(土)~3月30日(日) [5月25日(日)]
- 8. 特集展示「モノクロームの世界」 ..... 44  
2014(平成26)年3月1日(土)~3月30日(日) [5月25日(日)]



## 1-2. なつやすみの美術館3「美術の時間」

会期：7月6日(土)～8月25日(日)  
 場所：展示室C(2階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 協力：NPO法人和歌山芸術文化支援協会、和歌山県立近代美術館友の会、エプソン販売株式会社  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業  
 助成：2013年度美術館連絡協議会美術館活動助成  
 内容：夏期休暇中の小中校生に対して美術に親しむきっかけとなることを目ざす  
 展覧会シリーズの3回目として、「時間」という観点から作品を紹介した。  
 担当学芸員：青木加苗  
 関連事業：・アーティスト・トーク 佐藤時啓 7月27日(土) 14:00～  
     (主催：NPO法人 和歌山芸術文化支援協会) 50名  
     ・光とあそぼう！ リヤカーメラ＆フォトグラム 体験ワークショップ  
     7月28日(日) 9:30～  
     (主催：NPO法人 和歌山芸術文化支援協会) 51名  
     ・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説) 7月6日(土) 12名、  
     7月20日(土) 12名 各日14:00～ 青木加苗  
     ・こどもギャラリートーク(子どもを対象とした学芸員による展示解説)  
     8月3日(土) 14名、8月11日(日) 17名、  
     8月17日(土) 17名、8月25日(日) 15名 各日14:00～ 青木加苗  
     ・たまごせんせいと「わくわくアートツアー」[和歌山大学教育学部学生による鑑賞ガイド] 8月13日(火) 11:00～ 3名、  
     13:30～ 33名、15:00～ 14名 8月14日(水) 11:00～ 12名、  
     13:30～ 6名、15:00～ 13名 8月15日(木) 11:00～ 12名、  
     13:30～ 31名、15:00～ 14名 8月16日(金) 11:00～ 5名、  
     13:30～ 8名、15:00～ 4名 8月20日(火) 11:00～ 15名、  
     13:30～ 10名、15:00～ 4名 8月21日(水) 11:00～ 6名、  
     13:30～ 4名、15:00～ 1名 8月22日(木) 11:00～ 3名、  
     13:30～ 6名、15:00～ 13名 8月23日(金) 11:00～ 4名、  
     13:30～ 14名、15:00～ 13名

印刷物：・チラシ(B5判変型6頁)  
     ・パンフレット(B5判変型8頁)  
     ・出品目録(A4判6頁)  
     ・先生たちが作ったワークシート(小・中・高3種／各A4版4頁)  
     ・たまごせんせいのわくわくシート(和歌山大学教育学部学生による鑑賞ガイド／A4版10頁)

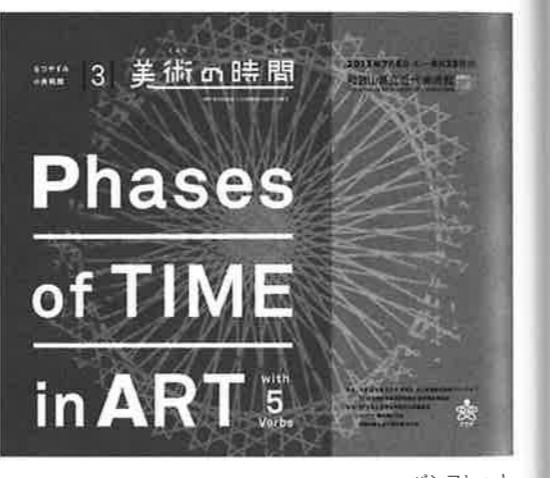
展示点数：47作家 87点、資料1作家1点

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

成果：「時間」という観点から作品を見ることを通して、特に若年層に対して美術を見る方法を学ぶ機会を提供することができた。小・中・高・大の教員と連携を図り、各年齢向けのワークシートを制作し、夏休みの課題に設定することで、生徒たちが美術館に親しむ機会を作ることができた。和歌山大学教育学部と連携して教員を目指す学生が解説に取り組む活動も行った。地域のNPO法人の協力のもと、作家の講演会や作品を体験するワークショップも実施することができ、多方面から新しい作品の楽しみ方を提示することができた。

関連記事：・「夏休み 子供も美術館楽しんで」『産経新聞』2013年6月28日夕刊、7面  
     ・「子供たち作品楽しんで「美術の時間」展開催 近代美術館」『産経新聞』2013年7月7日、20面(和歌山)  
     ・「なつやすみの美術館3 和歌山市で8月25日まで」『わかやま新報』2013年7月11日、2面  
     ・「時間テーマにと特設棚 県立図書館」『読売新聞』2013年7月16日、24面(和歌山)  
     ・「時の散歩 県立近代美術館」『読売新聞』2013年7月18日、28面(和歌山)  
     ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」好評開催中!!(8月25日まで)」『わかやま探検ミュージアム』8・9月号vol.18、2013年8月



ワークショップチラシ

1日発行、p.4

- ・村瀬信也「新審美眼 上田薰「スプーンのジャムB」(1975年)「時間」を捉える「一瞬」」『朝日新聞』2013年8月9日夕刊、5面
- ・田中公康「カメラの西本 田中さんのやっぱり写真は美しい！」vol.230 夏休みの美術館で『わかやま新報』2013年8月10日、6面
- ・「子どもに分かりやすく 近代美術館 学芸員が展示紹介 11日以降も開催」『わかやま新報』2013年8月11日、6面
- ・企画展「なつやすみの美術館3「美術の時間」」～展覧会を通じた学校と美術館の連携～『教育広報ラジオ番組「定期便 教育の窓」』和歌山放送／制作：和歌山県教育委員会(7月13日19:30-放送)
- ・「たまごせんせいとわくわくアートツアーについて」テレビ和歌山(8月14日18:00-放送)
- ・「展覧会紹介と家族でお出かけ節電キャンペーン」テレビ和歌山(「きのくに21」にて、8月4日9:30～10:00～放送)
- ・「展覧会紹介とスタンプラリー、節電キャンペーン」テレビ和歌山(「ニュースライフルわかやま」にて、7月17日18:50-放送)
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」「あっと！ テレわか NEWSスタイル」テレビ和歌山(8月14日18:00～放送)

情報掲載：・「ミュージアムガイド 和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館3「美術の時間」」『紀州浪漫』夏号vol.45、2013年6月1日発行、p.18

- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」『NATTS』2013年7月号vol.153、p.1
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」『きこら』第25号2013年7月号、p.7
- ・「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館3「美術の時間」」『ワカビ』7・8月号vol.50、2013年7月発行、p.8
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」6日から県立近代美術館で開催『白浜新聞』2013年7月6日、2面
- ・「家族でお出かけ節電キャンペーン 県立近代美術館」『リビング和歌山』2013年7月6日、2面
- ・「美術作品の中の「時間」を探そう」『ニュース和歌山』2013年7月6日、7面
- ・「和歌山県立近代美術館 なつやすみの美術館3「美術の時間」」「ニュースせんなん」2013年7月13日、5面
- ・「県立近代美術館「なつやすみの美術館」」『リビング和歌山』2013年7月13日、5面
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」『NHKウイークリーステラ』7/19号、2013年7月19日発行、p.66
- ・「学校とはちょっと違う“美術の時間” なつやすみの美術館3「美術の時間」」『リビングQ大阪』2013年盛夏号、2013年7月25日、26日配布、p.2
- ・「学校とはちょっと違う“美術の時間” なつやすみの美術館3「美術の時間」」『リビングQ神戸東』2013年盛夏号、2013年7月25日、26日配布、p.7
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」」『電車＆ウォーク』2013年8月号、p.1
- ・「なつやすみの美術館3「美術の時間」たまごせんせいとわくわくアートツアー」『リシェ』9月号、2013年8月5日発行、p.58

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
Introduction						
1	佐藤時啓	Gleaning Light シリーズより《The Bridge》	2005(平成17)	ピンホール写真、発色現像方式	125.8×283	個人蔵
1時間目：一一を止める						
2	上田 薫	スプーンのジャム B	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	181.9×227.3	
3	林 康夫	ホットケーキ	1971(昭和46)	陶	18.0×33.0×32.0	
4	ボネットティ, ベッペ	RACCONTO(赤)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	60.0×39.8	
5	ボネットティ, ベッペ	RACCONTO(黒)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	60.0×39.8	
6	ボネットティ, ベッペ	RACCONTO(青)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	60.0×39.8	
7	福岡道雄	石をおとす(2)	1977(昭和52)	黒色強化ポリエチル	97.0×46.0×60.5	
8	鴨剛	無題F	1982(昭和57)	アクリル絵具、キャンバス	181.8×227.4	
9	小枝繁昭	Still Life on the Table #3	1990(平成2)	シリクスクリーン、アクリル絵具、紙	179.3×117.8	
10	遠藤享	SPACE & SPACE <GLASS III>	1984(昭和59)	オフセット・リトグラフ、紙	45.0×45.0	
11	山本桂右	光・時間・静寂 No.5	1995(平成7)	リトグラフ、紙	59.9×85.0	
12	山本桂右	光・時間・静寂 No.7	1995(平成7)	リトグラフ、紙	59.9×85.0	
13	山本桂右	光・時間・静寂 No.13	1995(平成7)	リトグラフ、紙	59.9×85.0	
2時間目：一一を動かす						
14	鉢呂祐二	心象サークス-II	1996(平成8)	油絵	86.2×129.1	
15	ケージ, ジョン	Déreau #9	1982(昭和57)	銅版、紙	46.0×63.2	
16	ケージ, ジョン	Déreau #13	1982(昭和57)	銅版、紙	46.6×63.1	
17	ケージ, ジョン	Déreau #16	1982(昭和57)	銅版、紙	46.2×63.1	
18	藤本由紀夫	Book	1994(平成6)	オルゴール、アルミニウム	19.5×14.5×8.0	
19	藤本由紀夫	Book	1994(平成6)	オルゴール、アルミニウム	19.5×14.5×8.0	
20	岸中延年	Spring into View 88-6	1988(昭和63)	銅版、紙	154.1×119.9	
21	宇佐美圭司	Wave Ring	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	194.8×270.0	個人蔵
22	グリーンフィールド, ロイス ジョナス・メカス	映画美術館のためのポートフォリオ 14 アンドリュー・ド・グロート <ロープダンスの転移> 1979	1981(昭和56)	ゼラチン・シルヴァー・プリント	25.9×26.1	
23	バラモデル	幽靈の落書き -夜の沢田マンション発電所-	2006(平成18)	ラムダプリント	100.0×120.0	
24	野村仁	自転と重力	1982-1984(昭和57-59)	写真	178.8×120.7	
25	松谷武判	円 2000-1	2000(平成12)	ピュア接着剤、鉛筆、キャンバス	291.0×197.0	個人蔵
26	永沼理善	自重力 BOY 2007: Inba	2007(平成19)	アルミ合金、真鍮、他	70.0×135.0×30.0	個人蔵
27	松田豊	GROUND-88	1990(平成2)	木、竹、塗料、モーター他	65.0×162.0	
28	リッキー, ジョージ	斜めになる2つの開いた長方形の連結	1984(昭和59)	ステンレススチール	230.0×102.0×13.0	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
29	フォーゲル、ピーター	ビチカートとレガート	1994(平成6)	スピーカー、フォトセル他	94.6×19.2×13.3	
休憩時間：マンガの時間						
30	ホックニー、ティヴィッド	天候シリーズ2両	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	93.7×73.3	
31	ホックニー、ティヴィッド	天候シリーズ6雷	1973(昭和48)	リトグラフ、紙	93.7×73.3	
32	リキテンシュタイン、ロイ	・・・えっ？	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	100.5×70.9	
33	リキテンシュタイン、ロイ	ふたつの絵画：ダグウッド	1984(昭和59)	木版、リトグラフ、紙	129.2×91.0	
34	リキテンシュタイン、ロイ	夢想	1965(昭和40)	シルクスクリーン、紙	69.2×58.0	
35	不詳	日高川草紙	江戸時代	紙本着色	27.5×1407.2	和歌山県立博物館
36	野田 哲也	日記 多分1970年5月27日 ニューヨーク	1970(昭和45)	木版2版・スクリーンプリント2版、紙(和紙)	44.7×44.5	
37	野田 哲也	日記 1971年5月15日	1971(昭和46)	木版2版・スクリーンプリント2版、紙(和紙)	43.6×44.9	
38	野田 哲也	日記 1971年6月11日(b)	1971(昭和46)	木版1版・スクリーンプリント2版、紙(和紙)	43.7×43.7	
39	森口 宏一	白土三平・カムイ伝・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール他	97.0×65.0×9.5	
40	参考資料：ウェア、クリス	Building Stories	2012(平成25)	本		

3/4時間目：一一を記録／記憶する						
41	太田 三郎	Diary, 12 March 1985 to 1 January 1986	1985-86(昭和60-61)	手帳、切手、消印	10.5×7.0×4.8	個人蔵
42	太田 三郎	Diary, 1 January 1986 to 1 January 1987	1986-87(昭和61-62)	手帳、切手、消印	10.5×7.0×4.8	個人蔵
43	川西 英	『神戸十二ヶ月風景』「七月 淀川公園蒸風」	1931(昭和6)	木版、紙	15.9×27.0	
44	川西 英	『神戸十二ヶ月風景』「八月 天神浜海水浴」	1931(昭和6)	木版、紙	15.8×27.3	
45	川西 英	『神戸十二ヶ月風景』「九月 諏訪山満月」	1931(昭和6)	木版、紙	15.6×27.2	
46	北川 健次	Friday	1975(昭和50)	銅版、紙	41.7×29.4	
47	北川 健次	Diary II	1973(昭和48)	銅版、紙	41.4×29.1	
48	北川 健次	ドリアンの鏡	1979-80(昭和54-55)	銅版、紙	46.8×36.7	
49	三上 誠	環・経緯	1967(昭和42)	顔料、紙	120.9×179.1	
50	ラウシェンバーグ、ロバート	Features from Currents 1~8(26点組のうち)	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	各 89.0×89.0	
51~58	クリスト	網包されたポン・ヌフ／パリのプロジェクト	1985(昭和60)	鉛筆、木炭、バステル他、紙	(上)37.7×244.1 (下)105.8×243.1	
59	フルトン、ハミッシュ	ヒーブスクウェン・ケルン	1986(昭和61)	写真、テキスト	49.0×72.4	
60	フルトン、ハミッシュ	山の辺の道	1986(昭和61)	写真、テキスト	75.8×51.2	
61	ゴールズワージー、アンディ	色にしたがって一列に並べたかえでの葉/大内山村/ 1987年11月14日	1987(昭和62)	カラー・プリント、紙	122.2×63.1×4.1	
62	栗田 宏一	土の時間/和歌山	2007(平成19)	和歌山県内の土、ガラス皿	各 8.8×8.8	個人蔵
63	河口 龍夫	地下時間 - 時間の層	2005(平成17)	鉛筆、水彩、カレンダーの紙	40.2×29.1×2.5	
64	河口 龍夫	地下時間	2005(平成17)	鉛筆、水彩、スタンプ、紙	56.5×41.8×2.5	
65	河口 龍夫	地下時間(動物-1)	2005(平成17)	鉛筆、水彩、スタンプ、紙	56.5×41.8×2.5	
66	河口 龍夫	地下時間(植物-1)	2005(平成17)	鉛筆、水彩、スタンプ、紙	56.5×41.8×2.5	
67	長谷川 直人	plant	1997(平成9)頃	陶、金属	30.0×5.0×11.5	
68	長谷川 直人	ただそこにあるもの	2000(平成12)	陶、金属	20.0×9.0×13.0	
69	長谷川 直人	plant	1994(平成6)	陶、金属	36.0×19.0×33.5	
70	長谷川 直人	plant	1994(平成6)	陶、金属	45.0×17.0×14.0	
71	長谷川 直人	plant	1997(平成9)	陶、金属 左 26.0×8.0×9.5/右 27.0×9.0×12.0/右 26.0×8.0×9.0		
72	長谷川 直人	plant	1995(平成7)	陶、金属	20×7.5×12.5	
73	工藤 哲巳	未来と過去の間での 遺伝染色体による綾取り	1979(昭和54)	ミクストメディア	15.0×45.5×45.0	

5時間目：一一をつなげる						
74	アックリング、ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木、太陽光線	29.2×17.6×1.0	
75	アックリング、ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木、太陽光線	12.0×7.8×4.0	
76	アックリング、ロジャー	潮岬	1996(平成8)	木、太陽光線	34.2×3.6×1.1	
77	野村 仁	ようこそ地球へ、では2379年后に再会しましょう	1997(平成9)	C プリント、紙	41.0×60.0	
78	野村 仁	落下的瞬間に	1996(平成8)	隕石	展示サイズ可変	
79	西村 賢平	百科事典につぶされた松本清張	1990(平成2)	紙	4.0×30.0×20.0	
80	荒木 高子	砂の聖書	1983(昭和58)	シルクスクリーン、シャモット、砂	18.0×64.0×46.0	
81	宇佐美 圭司	Elevation(高翔)・グリーン	1997(平成9)	油彩、キャンバス	259.1×193.9	個人蔵
82	中西 夏之	コンパクト・オブジェ(卵)	1962(昭和37)	ポリエチテ樹脂、他	23.5×14.5×14.5	
83	小林 敬生	蘇生の刻-群舞-	1992(平成4)	木口木版、コラージュ、紙	167.3×260.2	
84	妻木 良三	境景 II	2009-2011(平成20-23)	鉛筆、アクリル、ジェッソ、板	直径 90.0	
85	杉本 博司	ラジオシティ・ミュージックホール、ニューヨーク	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	42.3×54.5	
86	杉本 博司	カポット・ストリート・シネマ、マサチューセッツ	1978(昭和53)	ゼラチン・シルバー・プリント	42.3×54.5	
87	杉本 博司	オハイオ・シアター、オハイオ	1980(昭和55)	ゼラチン・シルバー・プリント	42.0×54.4	
88	宮永 亮	scales	2011(平成23)	ビデオインスタレーション	182×972(スクリーンサイズ)/9分38秒	個人蔵



## 1-3. 生誕120年記念 石垣栄太郎展

期：9月3日(火)～10月20日(日)  
場：展示室C(2階)  
催：和歌山県立近代美術館  
力：和歌山県太地町立石垣記念館、和歌山県立近代美術館友の会  
助：平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業  
容：和歌山県太地町に生まれ、出稼ぎ移民としてアメリカに渡って芸術家となり、1920年代から40年代にかけてニューヨークを中心に活躍した石垣栄太郎(1893-1958)の生誕120年を記念し、その足跡を紹介した。また同時期にアメリカで活動した日本人画家たちの作品もあわせて展示した。

担当学芸員：奥村一郎

関連事業：・講演会「海を越える太地：南紀州移民史」10月14日(月・祝)14:00～

講師：櫻井敬人(太地町歴史資料室学芸員) 37名

・講演会「石垣栄太郎の生涯と作品」9月23日(月・祝)14:00～

講師：奥村一郎(当館学芸員) 42名

・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説) 9月7日(土)10名、9月16日(月・祝)

10名 各日14:00～ 奥村一郎

・こどもギャラリートーク(子どもを対象とした学芸員による展示解説)

9月29日(日)10名、10月6日(日)10名 各日14:00～ 奥村一郎

印刷物：・ポスター(B2判)

・チラシ(A4判)

・出品目録(A4判8頁)

・図録(同内容2種、A4判88頁/A4判80頁+油彩作品目録8頁)

展示点数：12作家119点・資料10件

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

成 果：16年ぶりの回顧展として、和歌山県太地町立石垣記念館に保管されていた作品資料をアメリカの研究者の協力も得て調査し、石垣の制作を跡付けるとともに、新たな視点からその画業を紹介することができた。図録には、不明作品も含めた油彩作品目録や、旧蔵作品資料を掲載し、旧蔵図書もリスト化した。

関連記事：・「生誕120年記念 石垣栄太郎 10月20日まで近代美術館で記念展」『わかやま新報』2013年9月4日、3面

・「石垣栄太郎 銳い目 和歌山 太地町出身画家 作品展」『朝日新聞』2013年9月11日、28面(和歌山)

・「社会派画家の足跡 県立近代美術館 石垣栄太郎展」(美術評)『読売新聞』2013年9月13日、29面(地域)

・加藤義夫「生誕120年記念 石垣栄太郎展 大恐慌を生きる労働者への賛歌」『朝日新聞』2013年9月20日夕刊、8面

・「生誕120年 石垣栄太郎の足跡 太地町出身、苦難の米移民 NYで画家の道」『産経新聞』2013年9月21日、23面(和歌山)

・「石垣栄太郎の生涯学ぶ 米国で活躍の郷土出身画家 太地町公民館」『熊野新聞』2013年9月29日

・「生誕120年記念 石垣栄太郎展」『わかやま探検ミュージアム』10・11月号vol.19、2013年10月1日発行、p.4

・辻本雄一「熊野反骨の系譜 石垣栄太郎 激動の新宮中から渡米 絵画支える捕鯨魂」『くまの文化通信』10月号、2013年10月3日発行、2面

・「米国社会浮き彫りに 生誕120年記念 石垣栄太郎展」『わかやま新報』2013年10月6日、2面

・「生涯学習講座No.9(歴史講座No.4)生誕120

- 「文化の秋～近代美術館で石垣栄太郎展 開催中」「あっと！テレわか」テレビ和歌山(10月3日18:00放送)
  - 「きらり紀州人：太地町に生まれ米国で1920年代から40年代にかけてニューヨークを中心で活躍した画家の石垣栄太郎。県立近代美術館奥村一郎学芸員にその画業を聞く」「あすのWA！」NHK和歌山放送局(10月11日18:10放送)
- 情報掲載：
- 「生誕120年記念 石垣栄太郎」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50
  - 「生誕120年記念 石垣栄太郎展」『有田タイムス』2013年8月31日、2面
  - 「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 生誕120年記念 石垣栄太郎」『ワカビー』9・10月号vol.51、2013年9月発行、p.8
  - 「企画展 生誕120年記念 石垣栄太郎」『電車＆ウォーク』2013年9月号、p.1
  - 「ミュージアムガイド 和歌山県立近代美術館 生誕120年記念 石垣栄太郎」『紀州漫』秋号vol.46、2013年9月1日発行、p.19
  - 「生誕120年記念 石垣栄太郎展」『和歌山政治経済新聞』2013年9月5日、1面
  - 「生誕120年記念 石垣栄太郎展」『ニュースと和歌山』2013年9月7日、6面
  - 「生誕120年記念 石垣栄太郎」『芸術新潮』9月号、2013年9月25日発行、p.135
  - 「生誕120年記念 石垣栄太郎展」『まんすりーら・ふあむ』2013年10月7日、3面



図録

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1)							43	石垣 栄太郎	素描(中国における毒ガスと戦争)	1930年代	インク・鉛筆、紙	38.0×45.6	太地町立石垣記念館蔵
1	石垣 栄太郎	新宮中学時代スケッチ 1	1908(明治41)	鉛筆、紙	26.7×16.7	太地町立石垣記念館蔵	44	石垣 栄太郎	素描(人体)	制作年不詳	鉛筆、紙	34.9×42.4	太地町立石垣記念館蔵
2	石垣 栄太郎	新宮中学時代スケッチ 2	1908(明治41)頃	鉛筆、紙	19.4×26.5	太地町立石垣記念館蔵	45	石垣 栄太郎	素描(人体)	制作年不詳	鉛筆、紙	34.9×42.4	太地町立石垣記念館蔵
3	石垣 栄太郎	新宮中学時代スケッチ 3	1908(明治41)年12月10日	鉛筆、紙	19.4×30.0	太地町立石垣記念館蔵	46	石垣 栄太郎	素描(人体)	制作年不詳	鉛筆、紙	34.9×42.4	太地町立石垣記念館蔵
2)							47	石垣 栄太郎	素描(人体)	制作年不詳	鉛筆、紙	34.9×42.4	太地町立石垣記念館蔵
4		『桑港美以教会』	1913(大正2)	冊子		太地町立石垣記念館蔵	48	石垣 栄太郎	素描(人体)	1935(昭和10)年12月11日	コンテ、紙	42.4×35.0	太地町立石垣記念館蔵
5		『共存』(共存発行所)	1917(大正6)	冊子		太地町立石垣記念館蔵	49	石垣 栄太郎	素描(人体)	1935(昭和10)年12月11日	コンテ、紙	42.4×35.0	太地町立石垣記念館蔵
6	片山 潜	『自伝』(序文:石垣栄太郎)	1922(大正11)	本		太地町立石垣記念館蔵	50	石垣 栄太郎	素描(人民戦線の人々)	1936-37(昭和11-12)頃	鉛筆、紙	43.3×35.5	太地町立石垣記念館蔵
7	菅野 衣川(猛)	詩集『Creation Dawn』	1928(昭和3)	冊子		太地町立石垣記念館蔵	51	石垣 栄太郎	素描(人体)	制作年不詳	コンテ、紙	42.3×34.8	太地町立石垣記念館蔵
8	ボイル、ガートルド	アグネス・スマドレーの顔	制作年不詳	レリーフ	18.0×18.8×2.3	太地町立石垣記念館蔵	6)	石垣 栄太郎	女の肖像	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	35.0×28.0	和歌山県立近代美術館蔵
9	ボイル、ガートルド	燭台	制作年不詳	塑像	26.8×9.0×8.7	太地町立石垣記念館蔵	53	石垣 栄太郎	少年と牛	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	40.9×51.2	太地町立石垣記念館蔵
10	ボイル、ガートルド	[アダムとイブ]	制作年不詳	塑像	28.8×13.3×12.5	太地町立石垣記念館蔵	54	石垣 栄太郎	ブレッツェル売り	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	50.8×66.0	栃木県立美術館蔵
11	ボイル、ガートルド	[抱擁]	制作年不詳	塑像	14.8×5.5×4.8	太地町立石垣記念館蔵	55	石垣 栄太郎	裸婦(原題不詳)	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	60.5×50.0	太地町立石垣記念館蔵
12	ボイル、ガートルド	石垣栄太郎像	1924(大正13)	石膏	38.5×23.5×23.5	太地町立石垣記念館蔵	56	石垣 栄太郎	綾子像(原題不詳)	制作年不詳	油彩、キャンバス	53.2×45.4	太地町立石垣記念館蔵
3)							57	石垣 栄太郎	ヤドの一夜	1945(昭和20)	油彩、ボード	40.7×50.9	太地町立石垣記念館蔵
13	石垣 栄太郎	女の顔	1916(大正5)	油彩、ボード	27.4×21.0	和歌山県立近代美術館蔵	58	石垣 栄太郎	ニグロの酒場(黒人酒場)	1946(昭和21)	油彩、キャンバス	50.5×61.8	東京都現代美術館蔵
14	石垣 栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46.0×37.3	和歌山県立近代美術館蔵	59	石垣 栄太郎	失題(風景)	1941(昭和16)	油彩、ボード	25.2×35.4	太地町立石垣記念館蔵
15	石垣 栄太郎	14番街のミュージック・ホール	1924(大正13)	油彩、キャンバス	49.5×60.5	東京都現代美術館蔵	60	石垣 栄太郎	仕事場	1941(昭和16)	油彩、ボード	25.2×35.2	太地町立石垣記念館蔵
16	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	113.5×86.5	和歌山県立近代美術館蔵	61	石垣 栄太郎	失題(風景)	制作年不詳	油彩、ボード	25.2×35.0	太地町立石垣記念館蔵
17	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	神奈川県立近代美術館蔵	62	石垣 栄太郎	失題(風景)	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	25.2×35.3	太地町立石垣記念館蔵
18	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	和歌山県立近代美術館蔵	63	石垣 栄太郎	『第2回個展カタログ』(ACAギャラリー)	1940(昭和15)	冊子		和歌山県立近代美術館蔵
19	石垣 栄太郎	二階つきバス	1926(大正15)	油彩、キャンバス	76.4×61.2	東京国立近代美術館蔵	64	石垣 栄太郎	捕虜	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	71.2×86.0	太地町立石垣記念館蔵
20	石垣 栄太郎	失業音楽隊	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	85.0×106.0	東京都現代美術館蔵	65	石垣 栄太郎	恐怖	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	64.0×104.8	和歌山県立近代美術館蔵
21	石垣 栄太郎	新聞を見る	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	53.0×72.5	栃木県立美術館蔵	66	石垣 栄太郎	強風	1942(昭和17)	油彩、キャンバス	65.2×80.6	和歌山県立近代美術館蔵
22	石垣 栄太郎	腕	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	89.7×104.7	東京国立近代美術館蔵	67	石垣 栄太郎	原爆被災の図(原題不詳)	1946(昭和21)	油彩、キャンバス	67.5×77.0	太地町立石垣記念館蔵
23	石垣 栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	和歌山県立近代美術館蔵	68	石垣 栄太郎	男と女	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	50.6×70.8	和歌山県立近代美術館蔵
24	石垣 栄太郎	キューバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.5×139.0	和歌山県立近代美術館蔵	69	石垣 栄太郎	男と女 または『失樂園』	1947(昭和22)	油彩、ボード	30.1×40.7	太地町立石垣記念館蔵
25	石垣 栄太郎	群像	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	117.2×143.4	太地町立石垣記念館蔵	70	石垣 栄太郎	バーゲンセール(禁男の室)	1947(昭和22)	油彩、ボード	42.8×52.6	和歌山県立近代美術館蔵
26	石垣 栄太郎	K.K.K.	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	76.8×91.6	和歌山県立近代美術館蔵	71	石垣 栄太郎	女の勝利(オトコ)	1948(昭和23)	油彩、キャンバス	45.0×53.2	和歌山県立近代美術館蔵
27	石垣 栄太郎	人民戦線の人々	1937(昭和12)頃	油彩、キャンバス	148.5×207.0	和歌山県立近代美術館蔵	72	石垣 栄太郎	女の抵抗	1947(昭和22)	油彩、キャンバス	40.4×51.0	太地町立石垣記念館蔵
28	石垣 栄太郎	抵抗	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	61.0×73.4	和歌山県立近代美術館蔵	73	石垣 栄太郎	逃避	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	71.1×86.5	和歌山県立近代美術館蔵
4)							74	石垣 栄太郎	女の哀しみ(レジスタンス)	1949(昭和24)	油彩、ボード	51.0×61.0	太地町立石垣記念館蔵
29	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アメリカ独立革命か)	1935-37(昭和10-12)頃	木炭、紙	233.0×274.8	太地町立石垣記念館蔵	75	石垣 栄太郎	虚脱(カタストローフ)	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	72.8×90.8	和歌山県立近代美術館蔵
30	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アメリカ独立革命か)	1935-37(昭和10-12)頃	木炭、紙	127.6×127.8	太地町立石垣記念館蔵	76	石垣 栄太郎	地獄へ(情煩)	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	105.2×71.4	和歌山県立近代美術館蔵
31	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アフリカにおける奴隸狩り)	1935-37(昭和10-12)頃	木炭、紙	233.0×275.0	太地町立石垣記念館蔵	77	石垣 栄太郎	ソファー・ベッド	制作年不詳	油彩、キャンバス	41.0×51.0	太地町立石垣記念館蔵
32	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アフリカにおける奴隸狩り)	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、ボード	29.2×30.5	太地町立石垣記念館蔵	78	石垣 栄太郎	娘	制作年不詳	油彩、キャンバス	45.8×38.4	太地町立石垣記念館蔵
33	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アフリカにおける奴隸狩り)	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、ボード	29.2×33.2	太地町立石垣記念館蔵	79	石垣 栄太郎	スケッチ・クラス(リィスマン・ステュディオ)	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	56.4×71.8	和歌山県立近代美術館蔵
34	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アメリカ独立)	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、ボード	29.5×38.3	太地町立石垣記念館蔵	80	石垣 栄太郎	点々会資料				太地町立石垣記念館蔵
35	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画画廊(アメリカ独立革命か)	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、ボード	29.2×33.0	太地町立石垣記念館蔵	81	石垣 栄太郎	石垣栄太郎遺作展資料				太地町立石垣記念館蔵
36	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画習作か	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、紙	28.9×34.1	太地町立石垣記念館蔵	82	石垣 栄太郎	作品写真はがき、出品目録はか				和歌山県立近代美術館蔵
37	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所の壁画習作か	1935-37(昭和10-12)頃	鉛筆、紙	23.								

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
112	浜地 清松	静物	1922(大正11)	油彩、キャンバス	64.1×73.1	和歌山県立近代美術館 会員主査内
113	浜地 清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100×73	和歌山県立近代美術館 会員主査内
114	浜地 清松	「風景」	1912(大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
115	澤部 清五郎	「水車のある風景」	1912(大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
116	澤部 清五郎	紐育の花売り	1912(大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
117	作者不詳	「黄葉した木」	1912(大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
118	作者不詳	サンクスギビングデイ	1912(大正元)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
119	作者不詳	サンクスギビングの夜	1912(大正元)頃	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
120	作者不詳	「地下鉄車両の中」	1918(大正7)	水彩、紙	22.8×33.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
121	杉本、ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0	和歌山県立近代美術館 会員主査内
122	杉本、ヘンリー	寺院のみえるビーチー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6	和歌山県立近代美術館 会員主査内
123	杉本、ヘンリー	Longing (切望)	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	162.3×130.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
124	杉本、ヘンリー	Strange Home	1969(昭和44)	油彩、キャンバス	162.3×162.3	和歌山県立近代美術館 会員主査内
125	杉本、ヘンリー	Our Winter	1970(昭和45)	油彩、キャンバス	130.0×161.8	和歌山県立近代美術館 会員主査内
126	野田 英夫	少女	1932(昭和7)	リトグラフ、紙	32.0×21.8	和歌山県立近代美術館 会員主査内
127	国吉 康雄	乳しぶり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	和歌山県立近代美術館 会員主査内
128	国吉 康雄	サウスバーウィック、メイン州	1934(昭和9)	リトグラフ、紙	22.8×31.7	和歌山県立近代美術館 会員主査内
129	国吉 康雄	海岸の板敷遊歩道にて	1936(昭和11)	リトグラフ、紙	25.5×35.6	和歌山県立近代美術館 会員主査内



## 1-4. 物質と美術

期：12月21日(土)～平成26年2月11日(火・祝)  
場：展示室C(2階)  
催：和歌山県立近代美術館  
助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業  
容：作品の物質としての側面に着目し、素材から作品を見直すとともに、現代の美術が物質性  
を作品の主題としてきた側面を紹介した。

担当学芸員：宮本久宣

関連事業：  
・ワークショップ「古着でとらえる森の造形」 講師：中川佳宣(美術家) 1月12日(日)  
9:30～ 23名  
・共催：和歌山県立近代美術館友の会 協力：NPO法人 和歌山芸術文化支援協会  
・フロアレクチャー(学芸員による展示解説) 12月23日(月・祝) 10名、1月26日(日) 22名  
各日14:00～ 宮本久宣

印刷物：  
・ポスター(B2判)

- ・チラシ(A5判)・「人間と宇宙の美術」展と共に
- ・出品目録(A4判8頁)
- ・パンフレット(A5判変形判8頁)
- ・ワークショップ募集チラシ(A5判)

展示点数：62作家117点

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円)( )内は20名以上の団体料金  
高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

成果：作品も物質であるという、当たり前ではあるがふだんあまり意識しない側面を提示することで、多くの観客が現代の美術作品に近づくきっかけを与えることができた。またワークショップの開催により、物質を作品へと立ち上げる体験をする場を提供することができた。

関連記事：  
・「物質(モノ)と美術？」『わかやま探検ミュージアム』12・1月号vol.20、2013年12月1日  
発行、p.4

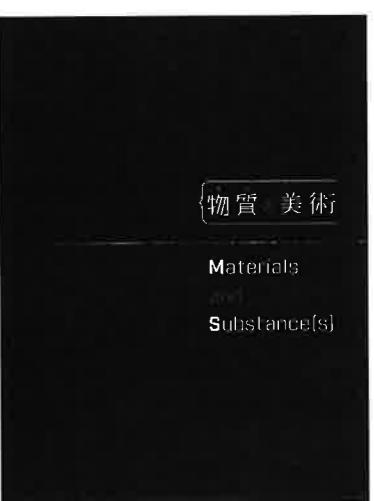
- ・「企画展「物質と美術」2月11日まで近代美術館」『わかやま新報』2014年1月8日、3面
- ・清水有香「どんな素材で表現するか 和歌山県立近代美術館「物質と美術」展」『毎日新聞』2014年2月5日夕刊、3面

情報掲載：  
・「物質(モノ)と美術」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50

- ・「物質(モノ)と美術」『紀州浪漫』冬号vol.47、2013年12月1日発行、p.19
- ・「古着を使ったワークショップ 近代美術館が参加募集」『産経新聞』2013年12月11日、23面(和歌山)
- ・「古着でワークショップ 近代美術館が参加募集」『わかやま新報』2013年12月13日、2面
- ・「物質と美術という側面から美術作品を考える」『ニュース和歌山』2013年12月21日、6面
- ・「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 物質(モノ)と美術」『ワカビー』1・2月号vol.53、2014年1月発行、p.8
- ・「art 和歌山県立近代美術館 物質(モノ)と美術」『NATTS』1月号vol.159、p.16
- ・「Materials and Substance [s]」『関西シーン kansaiscene』2014年1月号、p.30



ポスター



パンフレット



チラシ



ワークショップ チラシ

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
<b>彫刻と物質(モノ)</b>						
1	建畠 覚造	核	1956(昭和31)	セメント、鉄	h : 63.0×53.0×43.0	
2	植木 茂	モードス	1949(昭和24)	木	h : 57.0×27.0×20.0	
3	木村 賢太郎	話	1964(昭和39)	石	h : 74.8×46.0×43.9	
4	堀内 正和	うらがえる円筒 a	1960(昭和35)	鉄	h : 241.5×45.0×45.0	
5	豊福 知徳	円柱 I	1965(昭和40)	木	h : 296.0×49.0×49.0	
6	保田 春彦	斜面のある風景 二題	1973(昭和48)	ステンレススチール	h : 115.8×50.0×60.3	
7	土谷 武	178の嗅覚 a	1976(昭和51)	鉄	h : 30.5×82.5×12.2	
8	江口 週	飛翔のはじまり	1981(昭和56)	木	h : 204.0×58.0×54.0	
9	ノグチ, イサム	考える議長	1978(昭和53)	御影石、木	h : 27.5×23.5×30.0	
10	カロ, アンソニー	ライン川流域	1986-87(昭和61-62)	ブロンズ、真鍮	h : 100.0×88.5×37.0	
11	森口 宏一	作品	1981(昭和56)	ステンレススチール、スチール、スチールネット、メラミン樹脂焼付塗装	h : 240.0×120.0×50.0	
12	小清水 漸	花・赤い	1986(昭和61)	木、水銀朱、落葉、白大理石	h : 75.0×240.0×240.0	
13	野村 仁	内部構造:弦3	1996(平成8)	ガラス、大理石	h : 40.0×74.0×43.8	
14	北山 善夫	飴でもどうかね	1987(昭和62)	竹、紙、革	h : 69.0×214.5×61.0	
15	関島 寿子	盒	2003(平成15)	ツヅラフジ	h : 24.0×27.0×28.0	
16	関島 寿子	束の間 III	2008(平成20)	ジャスミン蔓、ケヤキ樹皮	h : 21.0×21.0×24.0	
17	眞板 雅文	Landscape #4	1994(平成6)	鉄、布、和紙、糸、紐	h : 38.0×164.0×22.0	
18	熊井 恭子	Folding	1998(平成10)	ステンレススチール線	サイズ可変	
19	今村 源	1998-3 あわシダ I	1998(平成10)	ステンレススチール、塗料	h : 60.0×65.0×70.0	
20	橋本 真之	発生期の頃	1994(平成6)	銅(鍍金)	h : 34.0×48.0×32.0	
21	西村 陽平	サバイバル・ツール(変換装置としての鬲)	1995(平成7)	陶	h : 37.0×22.0×19.0	
22	川島 慶樹	三色	1989(平成元)	木、鉄、顔料、アクリル絵具	h : 210.0×260.0×50.0	
23	鈴木 久雄	風化儀式-III	1983(昭和58)	鉄、白御影石	h : 35.4×59.8×59.9	
24	中川 佳宣	果実あつめ I	1989(平成元)	アクリル絵具、再生紙	h : 94.5×180.0×15.0	
<b>物質(モノ)化した記号</b>						
25	ジョーンズ, ジャスパー	旗	1960~69(昭和35~44)	鉛	48.2×53.4	
26	磯辺 行久	WORK 62-12	1962(昭和37)	油彩、紙、大理石粉、塗料、木	182.2×127.6	
27	森口 宏一	作品 B	1964(昭和39)	油彩、ラッカー、ポリエスチル樹脂他	180.7×104.3	
28	三木 富雄	E A R 301	1964(昭和39)	アルミニウム	h : 31.0×26.8×5.6	
29	三木 富雄	耳	1965(昭和40)	アルミニウム	h : 45.7×27.3×9.7	
30	三木 富雄	耳	制作年不詳	アルミニウム	h : 41.0×24.0×10.0	
31	リキテンシュタイン, ロイ	スイート・ドリームス、ベイビー！(おねんねしてな、ベイビー！)	1965(昭和40)	シルクスクリーン、紙	90.4×64.5	
32	バターソン, サイモン	大熊座	1992(平成4)	リトグラフ、紙	99.0×124.5	
33	建畠 覚造	ALARM	1972(昭和47)	ポリエスチル、アクリル絵具ほか	h : 211.5×81.0×148.4	
34	山田 光	陶面の中の数字	1976(昭和51)	陶	h : 53.5×34.0×7.0	
35	リンク, サイモン	アート・コロニーニュ1986年10月	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8	
36	高松 次郎	英語の単語	1970(昭和45)	オフセッティリトグラフ、紙	78.7×54.4	
37	森口 宏一	ボッティチェリ・ヴィナスの誕生・より	1967(昭和42)	シルクスクリーン、アクリル板、ステンレススチール	h : 87.9×134.4×12.8	
38	荒川 修作	最後の次に	1967(昭和42)	シルクスクリーン、紙	54.7×106.0	
39	荒川 修作	ムッシュー・テスト	1971(昭和46)	油彩、キャンバス	124.0×185.3	
40	三上 誠	経緯 曆	1968(昭和43)頃	顔料、紙、板	170.7×121.0	
<b>物質(モノ)としての絵画</b>						
41	アルマン	黄色のチューブ	1960(昭和35)	アクリル絵具、チューブ、合成樹脂	h : 44.7×25.0×6.0	
42	大野 俊嵩	Two Forms	1959(昭和34)	麻布、顔料、木屑、綿布	136.8×122.1	
43	野村 耕	無題	1961(昭和36)	紙型、顔料、板	182.1×60.0	
44	前川 強	作品	1963(昭和38)	塗料、麻布、綿布	162.5×130.5	
45	松谷 武判	作品-C	1961(昭和36)	油彩、カスガイ、セメント、合板	182.5×91.5	
46	彦坂 尚嘉	PWP41(ジャングルラブ)	1981(昭和56)	アクリル絵具、木	h : 230.0×171.6×16.5	
47	李 禹煥	点より	1980(昭和55)	岩彩、キャンバス	193.9×258.8	
48	井田 照一	Garden Project - Locus Sutra -For Four Corners-Garden Project No.75	1979(昭和54)～1983(昭和58)	リトグラフ、成形し泥染めした紙、石	109.0×75.2	
49	榎倉 康二	FIGURE B-No.3	1983(昭和58)	アクリル塗料、綿布	172.0×353.3	
50	野田 裕示	WORK 299	1987(昭和62)	アクリル絵具、木、キャンバス	229.5×187.0	
51	フォンタナ, ルーチョ	空間概念-期待	1964～65(昭和39～40)	塗料、キャンバス	61.0×50.0	個人蔵
52	原田 要	絵画の庭-平遠II	2002(平成14)	木、顔料、他	h : 82.0×95.0×232.0	
<b>既製の物質(モノ)</b>						
53～58	ジョーンズ, ジャスパー	《第1のエッティング集》	1967～68(昭和42～43)	エッティング、写真製版、紙	64.8×50.8	
		1 懐中電灯		エッティング、写真製版、紙	66.1×50.5	
		2 電球		エッティング、写真製版、紙	65.0×50.3	
		3 ビール罐		エッティング、写真製版、紙	64.5×50.5	
		4 絵筆		エッティング、写真製版、紙	65.8×50.5	
		5 旗		エッティング、写真製版、紙	66.2×51.0	
		6 数字		シルクスクリーン、紙	89.0×58.6	
59～68	ウォーホル, アンディ	《キャンベル・スープ II》	1969(昭和44)		89.1×53.6	
		オールドファッショ・ベジタブル(ビーフストック仕立て)			89.1×58.6	
		スコッチプロス(具だくさん肉入り)			89.0×58.6	
		アルファベットスープ(動物性食材不使用)			89.0×58.6	
		ニューアーヴィングランド風クラムチャウダー			89.0×58.6	
		チキンと蒸し団子			89.0×58.5	
		ホットドッグピーン(柔らか豆とフランクフルトライス入り)			88.0×58.6	

作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
ニーヴェルソン*	牡蠣のシチュー(高級バター仕立て)			89.0×58.7	
中西 夏之	丸パスタ入りトマトピーフ			89.0×58.6	
上田 薫	ゴールデン・マッシュルーム(スライスマッシュルームたっぷり)			89.0×58.6	
ポイル, マーク	チーズ			88.9×58.7	
ニーヴェルソン*, ルイーズ	北の星	1977~1982(昭和52~57)	黒彩色、木	h: 278.0×213.3×48.2	
中西 夏之	コンパクト・オブジェ(卵)	1962(昭和37)	ポリエステル樹脂、他	23.5×14.5×14.5	
上田 薫	スプーンのジャム B	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	181.9×227.3	
ポイル, マーク	黒いふち石の研究	1980~1981(昭和55~56)	彩色、ファイバーグラス	182.4×183.2	
三島 喜美代	バッケージ	1974(昭和49)	シルクスクリーン、陶 h: 26.0×36.5×27.0大/h: 13.5×23.0×22.0中/h: 9.5×12.5×14.5小		
吉田 克朗	Work 8	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	69.3×74.8	
吉田 克朗	No.11	1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	70.2×89.5	
木村 秀樹	Delta, Frosted glass, Cellophane tape 2	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙、ガラス	54.0×75.9	
木村 秀樹	Delta, Frosted glass, Cellophane tape 4	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙、ガラス	54.1×75.9	
木村 秀樹	Pencil 2-1	1974(昭和49)	シルクスクリーン、紙	75.5×107.1	
バラモデル	極楽百景 第八景 一新世界 八重勝 ニュー配達一トミ串(8点)	2007(平成19)	ラムダープリント	100.0×120.0	
バラモデル	トミカ(ダイカスト製ミニカー)、プライザー、ジオラママット、アルミ製トレイ、他	2007(平成19)	h: 5.0×25.0×19.0 h: 5.0×25.0×19.0 h: 5.0×25.0×19.0 h: 5.0×25.0×19.0 h: 5.0×30.0×25.0 h: 5.0×30.0×25.0 h: 5.0×30.0×25.0 h: 5.0×30.0×25.0		
大西 伸明	azuki	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.7×1.5×1.0	
大西 伸明	cyoko	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.7×7.5×16.5	
大西 伸明	cyoko arumi	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.7×7.5×16.5	
大西 伸明	denkyu	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 5.5×5.5×11.0	
大西 伸明	eakyappu	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.7×20.0×12.0	
大西 伸明	enpitu	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.8×16.5×0.8	
大西 伸明	garasu no hahen	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 14.1×22.0×0.1	
大西 伸明	goya	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 5.0×12.0×5.0	
大西 伸明	jisyaku	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.6×7.0×5.5	
大西 伸明	jyuen	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.1×2.3×2.3	
大西 伸明	kani	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 4.0×10.5×10.0	
大西 伸明	katorisenkou	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.5×11.0×10.6直徑	
大西 伸明	koppu L	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 7.5×7.2直徑	
大西 伸明	kuchinashi	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 1.8×5.7×1.7	
大西 伸明	owan	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 6.0×11.0×11.0	
大西 伸明	renga	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 4.8×9.6×9.6	
大西 伸明	serotepu	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 1.5×9.6直徑	
大西 伸明	suzuri	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 2.0×13.0×17.0	
大西 伸明	syake	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 1.5×16.0×9.0	
大西 伸明	tamago	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 4.0×4.0×5.5	
大西 伸明	tamagopakku	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 4.0×24.0×10.7	
大西 伸明	tougarashi	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 0.6×5.0×0.9	
大西 伸明	touki	2004(平成16)	エポキシ樹脂、アクリル絵具	h: 8.7×7.4×6.8	
藤 浩志	夢の鳥	2007(平成19)	ミクストメディア	h: 28.5×45.5×7.0	
藤 浩志	cross? animal ver.2	2003(平成15)	ミクストメディア	h: 42.0×30.5×9.5	
藤 浩志	cross? ネジ	2004(平成16)	ミクストメディア	h: 21.5×21.0×3.0	
太郎 千恵藏	MERAL	2002(平成14)	ワックス	h: 27.0×19.0×25.0	
君平	7.62MM 7色入	2007(平成19)	薬莢、クレヨンバステル	h: 7.5×21.0×21.0	



## 1-5. 版画について考える-101年目の宿題

会期：平成26年2月18日(火)～3月30日(日)  
 場所：展示室C(2階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 協助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業  
 成果：公益財団法人 朝日新聞文化財団  
 内容：1913(大正2)年、「大阪朝日新聞」に日曜附録として、見開き2面にわたる特集「版画展覧会」が掲載されて101年目を迎えたことを機に、明治以降の版画のおもしろさについて改めて考えた。

担当学芸員：植野比佐見  
 関連事業：・講演会「版画 このマージナルなもの」 3月2日(日) 14:00～ 講師：植野比佐見  
 (当館学芸員) 33名  
 ・講演会「刷りものの愉しみ」 3月16日(日) 14:00～ 講師：熊田司(当館館長) 32名  
 ・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説) 2月22日(土) 11名、3月21日(金・祝) 21名、3月30日(日) 23名 各日14:00～ 植野比佐見

印刷物：・ポスター(B2判)  
 ・チラシ(A5判)「モノクロームの世界」展と共通  
 ・リーフレット(A4判4頁)

展示点数：63作家181点、資料122点

入場料金：一般500円(400円)、大学生300円(250円)( )内は20名以上の団体料金

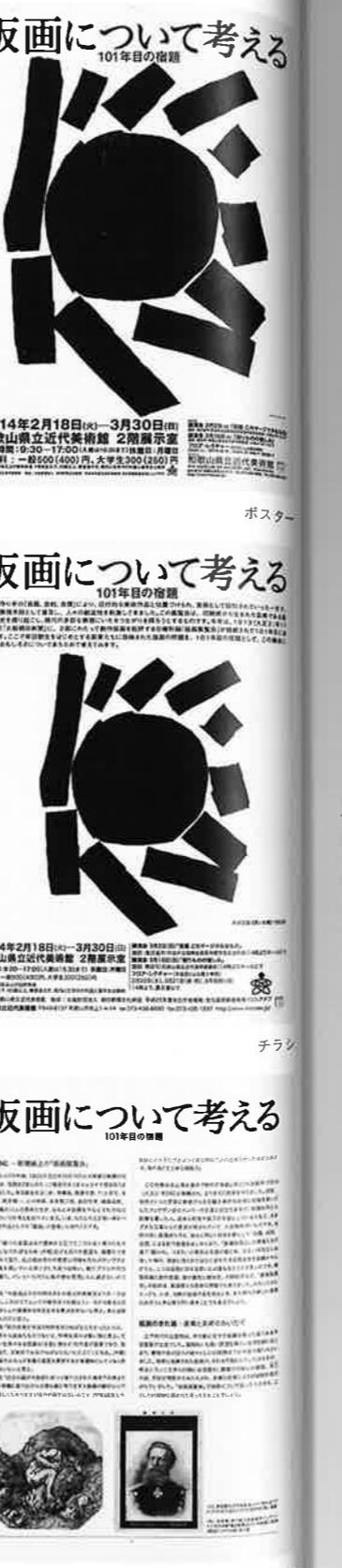
高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

成果：明治期に移入された新たな技術による印刷物を造形の視点から見直すことを出発点に、印刷技術と芸術性の両面から現代にいたるまでの日本における版画制作の歩みを見直すことができた。

関連記事：・「版画について考える」「わかやま探検ミュージアム」2・3月号vol.21、2014年2月1日発行、p.5  
 ・「版画の変遷 心に刷って！」和歌山 江戸末期からの300点」「読売新聞」2014年2月19日、33面(地域)  
 ・森本俊司「版画職人の超絶技巧 和歌山で「101年目の宿題」展」「朝日新聞」2014年3月14日夕刊、6面

情報掲載：・「版画について考える」「SAVVY」8月号、2013年6月22日発行、p.50  
 ・「版画について考える-101年目の宿題-版画の魅力を改めて考察する」「月刊ギャラリー2月号」2014年2月1日発行、p.47  
 ・「版画について考える」3月末まで近代美術館「わかやま新報」2014年2月20日、7面  
 ・「県立近代美術館 企画展 版画について考える」「和歌山政治経済新聞」2014年2月25日、1面  
 ・「WAKAYAMA 3月イベント情報 和歌山県立近代美術館【企画展】版画について考える」「朝日新聞」2014年2月25日、35面(第2和歌山)

・「版画的魅力に迫る 近代美術館で企画展」「ニュース和歌山」2014年2月26日、9面  
 ・「和歌山県立近代美術館 版画について考える」「NATTS」2014年3月号vol.161、p.16  
 ・「版画について考える 和歌山県立近代美術館」「電車・ウォーク」2014年3月号、p.23  
 ・「カルチャーインフォメーション 和歌山県立近代美術館 版画について考える-101年目の宿題-」「ワカピー」3・4月号vol.54、2014年3月発行、p.8  
 ・「ミュージアムガイド 和歌山県立近代美術館 版画について考える」「紀州浪漫」春号vol.48、2014年3月1日発行、p.19  
 ・「行ってみたい！展覧会・催し 版画について考える-101年目の宿題-」「NHKウイークリーステラ」(3/1-3/7) 2014年3月7日発行、p.66  
 ・「版画について考える-101年目の宿題-」「きのかわトクニュース」(和歌山東版) 2014年3月7日、4面  
 ・「版画について考える-101年目の宿題-」「ニュースせんなん」2014年3月8日、6面  
 ・「invitation exhibition 和歌山県立近代美術館 版画について考える-101年目の宿題-」「芸術新潮」3月号 2014年3月25日発行、p.125  
 ・「版画について考える-101年目の宿題-」県立近代美術館 人々の創造性を刺激 歴史を掘り起こし 多彩な表現へのつながり」「風潮タイムス」2014年3月25日、2面



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1	はじめに-新聞紙上の「版画展覧会」 北山清太郎 編集発行	『現代の洋画』23 版画号 『大阪朝日新聞』所収「版画展覧会」自筆原稿集	1914(大正3) 1913(大正2)	冊子 冊子	25.8×18.5×0.6 25.0×18.3×1.5	
2	岸田劉生ほか	[復刻] 魚見	1911(明治44)頃	木版、紙	14.3×16.7	
3	南 煉造(伊上凡骨)	舟おろし	制作年不詳	木版、紙	21.8×10.7	
4	南 煉造	『天地創造』より「石を噛む人」	1914(大正3)/1975(昭和50)刷り	銅版、紙	12.6×12.9	
5	岸田劉生	『天地創造』より「怒れるアグム」	1914(大正3)/1975(昭和50)刷り	銅版、紙	12.6×12.6	
6	岸田劉生	『天地創造』より「欲望」	1914(大正3)/1975(昭和50)刷り	銅版、紙	12.6×12.6	
7	岸田劉生	築地風景	1912(大正元)	木版、紙	16.3×23.0	
8	津田青楓(伊上凡骨)	[刻] 野上豊一郎『邦訳近代文学』	1913(大正2)	木版、紙(冊子)	18.8×12.8×3.1	個人蔵
9	津田青楓	鈴木三重吉『櫻』	1913(大正3)	木版、紙(冊子)	19.0×13.0×2.8	個人蔵
10	坂本繁二郎(伊上凡骨)	[刻] 『日本風景版画』第六輯筑紫之部 水縄山-小森野より望む	1918(大正7)	木版、紙	16.8×23.6	
11	坂本繁二郎(伊上凡骨)	[刻] 『日本風景版画』第六輯筑紫之部 火の海-沖の端より望む	1918(大正7)	木版、紙	17.0×24.0	
12	坂本繁二郎(伊上凡骨)	[刻] 『日本風景版画』第六輯筑紫之部 筑後川-久留米附近	1918(大正7)	木版、紙	16.7×23.8	
13	坂本繁二郎(伊上凡骨)	[刻] 『日本風景版画』第六輯筑紫之部 神の渕-玄海灘を遠望	1918(大正7)	木版、紙	12.5×18.5	
14	岡本帰一	風景	1914(大正3)	木版、紙	13.0×15.4	
15	岡本帰一	静物	1914(大正3)	木版、紙	14.0×15.2	
16	岡本帰一	夕の街路	1913(大正2)	木版、紙	29.2×19.0	
17	岡本帰一	花	制作年不詳	木版、紙	26.0×34.5	
18	岡本帰一	犬吠風景	1921(大正10)頃	石版、紙	26.0×34.5	
19	森田恒友					
20	版画のきた道-産業と美術のあいだ	松田緑山(二代玄々堂)、春燈斎、井上九臘ほか	幕末明治初年	銅版、紙(折帖)	11.2×17.2×2.0	
21	暮末期京都銅版貼文帖	松田緑山、桂淡水 [画・刻]	1867(慶応3)	木版、挿画:木版、銅版、紙(折本)	17.0×6.5×0.8	個人蔵
22	内田正雄『奥地誌略 二篇』より 3冊	松田緑山、打田霞山、大村霍峯 [刻]	1871(明治4)文部省刊	木版、挿画:木版、銅版、紙(冊子)	4: 25.8×18.2×1.4, 5: 25.8×18.3×1.7, 6: 25.8×18.2×1.5	個人蔵
23	内田正雄『奥地誌略 三篇』より 1冊	松田緑山(玄々堂)、中丸金峰、梅村翠山(慶岸堂) [刻]	1875(明治8)修静館刊	挿画:銅版、紙(冊子)	25.3×18.0×1.4	個人蔵
24	内田正雄、西村茂樹『奥地誌略 四篇』より 2冊	玄々堂、亀井至一、正田當廣、野邑重喜 [画]	1877(明治10)修静館刊	挿画:銅版、石版、紙(冊子)	10: 25.3×17.8×2.3, 11-上: 25.2×17.8×1.6	個人蔵
25	矢野龍溪『齐武名士 経国美談 前篇』	亀井至一 [画]	1883(明治16)矢野文雄刊(発行:報知新聞社、丸善書籍店)	挿画:銅版、石版、紙(冊子)	18.5×12.2×2.5	個人蔵
26	矢野龍溪『齐武名士 経国美談 後篇』再版	亀井至一 [画]	1884(明治17)矢野文雄刊(発行:報知新聞社、丸善書籍店、博聞本社、叢書閣)	挿画:石版、紙(冊子)	18.5×12.4×2.5	個人蔵
27	スコット氏原書 牛山鶴堂(良助)訳述『梅蕃余菴』再版 岡村政子 [画]	1887(明治20)春陽堂刊(初版:明治19年)	挿画:石版、紙(冊子)	19.5×12.8×2.2	個人蔵	
28	ピーコンスヒールド伯著 牛山鶴堂意訳『双鸞春話』岡村政子(推定) [画]	1887(明治20)春陽堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	19.7×12.3×2.0	個人蔵	
29	日本正教會翻訳『聖詠經』再刊 岡村政子(推定) [画]	1901(明治34)日本正教會刊(初刊:明治18年)	挿画:石版、紙(冊子)	21.8×15.8×2.0	個人蔵	
30	未廣鐵脇『雪中梅 上篇』	高橋節雄 [画]	1886(明治19)博文堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	18.9×13.2×1.3	個人蔵
31	未廣鐵脇『雪中梅 下篇』	高橋節雄 [画]	1886(明治19)博文堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	19.0×13.0×1.6	個人蔵
32	西村天団『層屋の窓 前篇』	山内貞郎(愚僕) [画]	1887(明治20)博文堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	19.0×12.7×1.5	個人蔵
33	西村天団『層屋の窓 後篇』	高橋節雄 [画]	1888(明治21)博文堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	19.5×12.7×1.7	個人蔵
34	狂居士『新瓶妓女苑 群芳新譜』再版 高橋節雄 [画]	1889(明治22)博文堂刊	挿画:石版、紙(冊子)	20.3×13.5×0.8	個人蔵	
35	福地櫻痴(源一郎)『増訂もしや草紙』訂正再版		1888(明治21)文海堂 [刊]	挿画:石版、紙(冊子)	18.5×12.7×1.6	個人蔵
36	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』1		1885(明治18)柴四朗刊(発行:博文堂)	挿画:石版、紙(冊子)	23.3×14.8×0.8	個人蔵
37	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』2 伝 浅井忠 [画]	1885(明治18)柴四朗刊(発行:博文堂)	挿画:石版、紙(冊子)	23.3×14.8×0.9	個人蔵	
38	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』4	1886(明治19)柴四朗刊(発行:博文堂)	挿画:石版、紙(冊子)	23.2×14.8×0.8	個人蔵	
39	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』5	1888(明治21)柴四朗刊(発行:博文堂)	挿画:石版、紙(冊子)	23.3×14.7×0.8	個人蔵	
40	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』6 山内貞郎(愚僕) [画]	1887(明治20)柴四朗刊(発行:博文堂)	挿画:石版、紙(冊子)	23.3×14.5×0.8	個人蔵	
41	東海散士(柴四朗)『佳人之奇遇』9 印藤真橋 [画]	1891(明治24)柴四朗刊(大壳 挑入:博文堂ほか)	挿画:石版、紙(冊子)	23.5×14.6×1.0	個人蔵	
42	文部省編輯局『高等小学校讀本』より 6冊 山本芳翠 [画] 合田清(生巧館) [刻]	1888-89(明治21-22)文部省編輯局刊(活版、挿画:木口木版、紙(冊子))	1: 23.0×15.3×1.0, 2: 22.5×15.1×1.1, 3: 22.8×15.2×1.2, 4: 22.7×15.4×1.0, 5: 22.8×15.5×1.3, 6: 22.9×15.6×1.5			
43	村井弦齋『桜の御所 下巻』	櫻井曉雲 [刻]	1894(明治27)春陽堂刊	口絵:木口木版、表紙:木版、紙(冊子)	22.3×15.0×1.0	個人蔵
44	志賀重昂『日本風景論』	種畠雪湖ほか [画]	1894(明治27)政教社刊	活版、挿画:木版、紙(冊子)	22.5×15.0×1.4	個人蔵
45	村上浪六『当世五人男のうち 上田 力』5版 水野年方 [画]	1901(明治34)青木嵩山堂刊	口絵、表紙、袋:木版、紙(冊子)	22.1×14.7×1.0	個人蔵	
46	幸田露伴『小説尾花集』再版 富岡永洗 [口絵]、福井月齋 [表紙画]	1895(明治28)青木嵩山堂刊(初版明治25年)	口絵、表紙:木版、紙(冊子)	22.0×14.6×1.3	個人蔵	
47	菊池幽芳『乳兄弟 後編』再版 鎌木清方 [画]	1904(明治37)春陽堂刊	口絵:木版、紙(冊子)	22.3×15.3	個人蔵	
48	小栗風葉『憂天地』	武内桂舟 [画]	1899(明治32)春陽堂刊	表紙、口絵:木版、紙(冊子)	22.5×14.8×1.3	個人蔵
49	姥川式胤『觀古因説 陶器の部』五巻 亀井至一、下國熙之助 [画]	1876-77(明治9-10)刊	石版、紙(冊子)	27.0×38.7×0.4	個人蔵	
50	中井芳瀧	『錦画新聞』	1875(明治8)	木版(手摺)、紙	24.7×18.0	個人蔵
51	中井芳瀧	『大阪錦画新聞』3	1875(明治8)	木版(手摺)、紙	25.0×17.9	個人蔵
52	長谷川貞信(二世)『大阪錦絵日々新聞紙』3	1875(明治8)	木版(手摺)、紙	24.5×17.7	個人蔵	
53	長谷川貞信(二世)『大阪錦絵日々新聞紙』41	1875(明治8)	木版(手摺)、紙	24.5×17.7	個人蔵	
54	月岡芳年『郵便報知新聞』601号					

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
68	大島 捨四郎	典侍柳原愛子君肖像	1882(明治15)	石版、紙	36.6×24.3	個人蔵	1904(明治37)	木版、紙	16.3×11.1				
69	星野 茂三郎	貴賤令嬢	1889(明治22)	石版、手彩、紙	37.5×27.3	個人蔵	1917(大正6)	木版、紙	30.0×24.5				
70	荒川 藤兵衛	入谷之朝顔	1889(明治22)	石版、紙	36.3×27.2	個人蔵	1918(大正7)	木版、紙	32.7×24.3				
71	熊澤 喜太郎	美女愛猫之図	1889(明治22)	石版、紙	36.3×26.4	個人蔵	1919(大正8)	石版、紙	26.2×34.0				
72	歌川 国鶴(二世)	咲かる花の姿見	1890(明治23)	石版、手彩、紙	38.5×27.0	個人蔵	1919(大正8)	石版、木版、紙	25.4×34.6				
73	有山 定次郎	九段靖国神社 同胞ノ愛	1891(明治24)	石版、紙	37.9×27.3	個人蔵	1914(大正3)	木版、紙	24.2×17.6				
74	有山 定次郎	風月堂ラベル 6種	明治20年代	石版、紙	10.5×13.7	個人蔵	制作年不詳	木版、紙	25.2×17.7				
75	東洋印刷株式会社	石印『風月堂乾蒸餅製造之要趣』	明治20-30年代	石版、紙	23.4×37.4	個人蔵	1914(大正3)	木版、紙	24.5×17.6				
76	水口臥龍館	「初田伴蔵 初田分店」引札	明治20年代頃	石版、紙	32.0×47.0	個人蔵	1915(大正4)	木版、紙	38.1×25.4				
77	中田 真矩(焦明堂)	「水陸貨物取扱處 八丸組」引札	明治10年代	銅版、紙	33.7×51.9	個人蔵	1916(大正5)	木版、紙	38.4×23.6				
78	中田 真矩(焦明堂)	「生糸白絹引廻 内海亀吉」引札	明治20年代	銅版、木版、紙	43.7×32.7	個人蔵	1910(明治43)	木版、紙	33.7×20.6				
79	中田 真矩(焦明堂)	『をぐら昆布 山本利助』引札	明治20年代	銅版、木版、紙	28.2×36.3	個人蔵	1915(大正4)	木版、紙	38.9×25.7				
80	志村 千卿	「一枝堂」明治17年略暦	1883(明治16)	銅版、紙	30.0×21.0	個人蔵	1915(大正4)	木版、紙	40.3×27.0				
81	志村 千卿	「田邊五兵衛」引札	1898(明治31)	石版、紙	37.5×25.9	個人蔵	1917(大正6)	石版、紙	30.5×45.2				
82	武田石版所	「攝津製油株式会社」引札	1909(明治42)以前	石版、紙	38.0×29.1	個人蔵	1917(大正6)	石版、紙	28.2×44.3				
83	武田石版所	「泉治事 福山商店」引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	32.0×48.0	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	29.4×40.5				
84	アルモ印刷合資会社	「米穀肥料 雑貨商 野中商店」引札	明治30年代	石版(アルミ版)、紙	34.1×47.6	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	39.5×28.5				
85	アルモ印刷合資会社	「海産物委託販売 的地孫四郎商店」引札	1894(明治27)	木版(機械刷)、紙	32.1×51.2	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	28.3×38.8				
86	林 基春	「板橋丸曲木桶杵木版巻并に廻漕店 増保井次郎」引札	1893(明治26)頃	木版(機械刷)、紙	23.3×34.3	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	39.4×28.9				
87	長谷川 貞信(二世)	『西村文三郎』引札	明治20年代	木版(機械刷)、紙	23.6×34.6	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	45.5×25.3				
88	記里	『田中喜平』引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	23.1×37.7	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	28.7×39.3				
89	川崎 巨泉	『日高又七』引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	23.3×34.7	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	43.1×18.2				
90	川崎 巨泉	『廣田米七』引札	明治20年代	木版(機械刷)、紙	23.6×34.1	個人蔵	1916(大正5)	石版、紙	41.0×26.0				
91	川崎 巨泉	『藤屋作右衛門』引札	1901(明治34)	木版(機械刷)、紙	64.9×24.7	個人蔵	1907(明治40)	冊子	31.5×23.0×0.1				
92	川崎 巨泉	『吳服太物商 日花金五郎商店』引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、エンボス、紙	64.9×24.7	個人蔵	1907(明治40)	冊子	31.0×23.2×0.2	個人蔵			
93	川崎 巨泉	「隼提灯販売商 小松伊助商店」ポスター	明治20年代頃	木版(手摺)、紙	64.9×24.7	個人蔵	1907(明治40)	冊子	31.0×22.8×0.2	個人蔵			
94	尾竹 國一(越堂)	『小川洋酒店』ポスター	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	69.3×23.2	個人蔵	1907(明治40)	冊子	31.5×21.7×0.2	個人蔵			
95	林 基春	「づつう膏 「浪花の梅」」引札	明治20年代	木版(手摺)、紙	47.1×30.2	個人蔵	1907(明治40)	冊子	31.2×23.0×0.2	個人蔵			
96	廣瀬 春孝	『たから松』引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	34.1×23.5	個人蔵	1908(明治41)	冊子	31.3×23.0×0.2	個人蔵			
97	林 基春	『生魚商魚久事 坂田久次郎』引札	1894(明治27)	木版(機械刷)、紙	44.8×33.2	個人蔵	1908(明治41)	冊子	31.4×23.2×0.1	個人蔵			
98	林 基春	『玉井園 井上瀧三郎』引札	明治20-30年代	木版(機械刷)、紙	34.0×23.4	個人蔵	1908(明治41)	冊子	26.5×23.1	個人蔵			
99	鈴木 菊斎(雷斎)	『小山利八』引札	明治20年代	木版(手摺)、紙	44.8×33.2	個人蔵	1909(明治42)	冊子	30.0×22.9×0.1	個人蔵			
100	小林 清觀	『東京昇榮舎大勉強』引札	明治20年代	石版、紙	44.0×31.3	個人蔵	1909(明治42)	冊子	31.1×23.2×0.1	個人蔵			
101	小林 清觀	『各紡績会社製糸大坂先所 岩田惣三郎』引札	明治30年代後半	石版、紙	33.2×49.2	個人蔵	1909(明治42)	冊子	31.3×23.2×0.1	個人蔵			
102	森 琴石(響泉堂)	天台宗總本山比叡山延暦寺略図	1880(明治13)	銅版、紙	35.2×46.0	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	45.6×32.0				
103	森 琴石(響泉堂)	有馬温泉炭酸水改良建築並市街写真 絵図	1883(明治16)	銅版、紙	37.3×55.5	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	42.0×52.0				
104	竹原 鼎(龍影堂)	出雲大社正座塗之図	1881(明治14)	銅版、紙	40.9×56.4	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.1×22.8				
105	石田 有年	近江国荒神山神社	明治10年代頃	銅版、紙	35.0×45.1	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	26.1×23.1				
106	石田 有年	速水春曉廻 四方春翠再画 日新堂刻 談山神社之図	1900(明治33)	銅版(石版転写か)	32.2×45.4	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.0×23.2				
107	清水 怪石(幽泉堂)	高野山真景大全國	1886(明治19)	銅版、紙	45.6×69.4	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.2×23.1				
108	細井 松夫	日光山真図	1887(明治20)	銅版、紙	60.0×80.8	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	26.1×23.1				
109	岡村 政子	『時事新報』5000号附録	1887(明治30)	石版、紙	48.6×33.1	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	26.6×23.2				
110	北澤 栄天	やまとひめとプリタニヤ『時事新報』6689号附録	1902(明治35)	石版、紙	47.9×32.7	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.2×23.1				
111	山内 恵僊	長閑『大阪朝日新聞』9633号附録	1909(明治42)	石版、紙	47.8×34.1	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.2×23.2				
112	山内 恵僊	『大阪朝日新聞』9998号附録	1910(明治43)	石版、紙	48.7×34.7	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	26.5×23.1				
113	和田 英作	朝日『大阪朝日新聞』12494号 附録	1916(大正5)	石版、紙	48.3×43.6	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	25.2×22.5				
114	和田 英作	平和『大阪朝日新聞』12189号 附録	1916(大正5)	石版、紙	48.0×34.3	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	29.2×22.1				
115	和田 英作	『大阪朝日新聞』12555号 附録	1916(大正5)	石版、紙	34.5×48.3	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	26.2×23.1				
116	『新約書伝』	森琴石(響泉堂) [画・刻]	1880(明治13)龍章堂刊	石版、紙	23.1×15.5×0.8	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	24.4×22.8				
117	ジュールス・ベルン氏原著 井上勤 訳述『九十七時二十分間 月世界旅行』再版 森琴石(響泉堂) [画・刻]	1886(明治19)三木佐助刊(初版:明治12年)	活版、挿画:銅版、紙(冊子)	18.6×12.5×2.0	個人蔵	1909(明治37)/1913(大正2)刷り	銅版、紙	139.0×99.8	個人蔵				
118	佐野元恭『和漢对照挿画 明治新用 文												

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
209	前田 藤四郎	時計	1932(昭和7)	リノカット、銅凸版、紙	26.5×34.0	
210	織田 一磨	感覺	1920(大正9)	石版、紙	20.7×24.6	
211	加藤 太郎	杉原正巳との『版画集』より 作品	1936(昭和11)頃	木版、紙	36.1×27.4	
212	加藤 太郎	杉原正巳との『版画集』より 作品	1938(昭和13)頃	木版、紙	36.1×23.5	
213	戸張 孤雁	『創作版画と版画の作り方』編集発行:戸張孤雁、発売:版画社 1922(大正11)	1922(大正11)	冊子	21.5×13.4×1.3	
214	永瀬 義郎	『版画を作る人へ』日本美術学院刊	1922(大正11)	冊子	19.8×14.0×10.8	
215	『詩と版画』1 旭正秀、日本創作版画協会編		1922(大正11)	冊子	30.5×22.8×0.2	
216	『詩と版画』2 旭正秀編、詩と版画社刊 表紙:恩地孝四郎		1923(大正12)	冊子	26.2×19.1×1.3	
217	『マヴィオ』2 表紙:村山知義「木版」		1924(大正13)	冊子	31.0×23.0×0.1	個人蔵
218	『マヴィオ』3 岡田豊隆「苦しめる神経痛」		1924(大正13)	冊子	31.1×23.3×0.2	個人蔵
219	萩原 恭次郎『死刑宣告』装丁:岡田鶴夫		1925(大正14)	リノカット、紙(冊子)	22.4×16.6×1.3	
220	『白と黒』37 料治熊太(朝鳴)編、白と黒社刊、表紙:谷中安規「髪模様」		1933(昭和8)	木版、紙(冊子)	29.8×22.3×0.4	
221	内田 百聞『王様の背中』装丁:谷中安規		1934(昭和5)	木版、紙(冊子)	22.6×15.7×1.5	個人蔵
222	木版、銅版、石版、孔版(謄写版)の材料と道具					
223	駒井 哲郎	『魔刻画』原版	1966(昭和41)	エッチング、ドライポイント、ルーレット、紙	27.3×16.7	
224	杉本 義夫	闇犬	1940(昭和15)頃	木版、紙	24.1×33.6	
225	新田 梅	卓上静物	1944(昭和19)	木版、紙	24.4×33.8c	
226	橋口 五葉	化粧の女	1918(大正7)	木版、紙	51.2×36.3	
227	橋口 五葉	京都三条大橋	1920(大正9)	木版、紙	28.4×44.5	
228	橋口 五葉	神戸之宵月	1920(大正9)	木版、紙	28.3×44.7	
229	橋口 五葉	鴨	1920(大正9)	木版、紙	24.2×38.0	
230	駒井 哲郎	足場	1942(昭和17)/1975(昭和50)刷	エッチング、紙	15.5×19.5	
231	駒井 哲郎	夢の推移	1950(昭和25)	メゾチント、紙(雁皮刷)	12.5×15.5	
232	駒井 哲郎	東の間の幻影	1951(昭和26)	アクアチント、エッチング、ドライポイント、紙	17.4×29.4	個人蔵
233	駒井 哲郎	星座	1962(昭和37)	アクアチント、ディープエッチング、紙	27.0×35.8	
234	駒井 哲郎	海底の祭	1954(昭和29)	メゾチント、ソフトグランド エッチング、ドライポイント、紙	23.8×17.2	
235	駒井 哲郎	魔刻画	1966(昭和41)	エッチング、ドライポイント、ルーレット、紙	26.9×16.6	
236	斎藤 清	唐招提寺、奈良(C)	1959(昭和34)	木版、紙	75.5×45.5	
237	斎藤 清	京の壁(A)	1960(昭和35)	木版、紙	48.6×78.8	
版画のひろがりー地域とジャンルと						
238	『日本孔版作品年鑑 1952』昭和謄写堂刊		1952(昭和27)	謄写版、紙(冊子)	25.0×18.3×1.6	個人蔵
239	『日本孔版作品年鑑 1953』昭和謄写堂刊		1953(昭和28)	謄写版、紙(冊子)	24.8×18.0×1.8	個人蔵
240	『昭和堂月報』23 昭和謄写堂刊		1950(昭和25)	謄写版、紙(冊子)	25.0×17.8×0.1	
241	『昭和堂月報』28 昭和謄写堂刊		1951(昭和26)	謄写版、紙(冊子)	25.0×17.8×0.1	
242	『昭和堂月報』39 昭和謄写堂刊		1952(昭和27)	謄写版、紙(冊子)	25.0×17.8×0.1	
243	『昭和堂月報』43 昭和謄写堂刊		1957(昭和32)	謄写版、紙(冊子)	24.8×17.8×0.1	
244	『孔版』68 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1950(昭和25)	謄写版、紙(冊子)	20.8×14.9×0.2	
245	『孔版』70 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1950(昭和25)	謄写版、紙(冊子)	20.9×15.0×0.2	
246	『孔版』72 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1950(昭和25)	謄写版、紙(冊子)	21.0×15.2×0.2	
247	『孔版』73 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1951(昭和26)	謄写版、紙(冊子)	21.0×15.6×0.2	
248	『孔版』76 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1951(昭和26)	謄写版、紙(冊子)	21.0×14.8×0.2	
249	『孔版』88 編集・印刷:若山八十氏、日本孔版研究所刊		1952(昭和27)	謄写版、紙(冊子)	21.0×15.2×0.2	
250	若山 八十氏 画文 無題、椿、かなかな、冬のかたち、モアレ、春信		1960年代	謄写版、紙	各17.0×11.0	個人蔵
251	若山 八十氏 風		1975(昭和50)	孔版、紙	48.1×34.2	
252	若山 八十氏 妖		1963(昭和38)	孔版、紙	42.0×54.4	
253	清水 武次郎 [少年]		1950(昭和25)頃	謄写版、紙	21.0×16.0	
254	清水 武次郎 白い花		1960(昭和35)	謄写版、紙	42.9×28.0	
255	岩根 豊秀 ひなげし		1951(昭和26)	謄写版、紙	12.0×12.1	
256	岩根 豊秀 彦根城の石垣		制作年不詳	謄写版、紙	35.5×24.6	個人蔵
257	本間 吉郎 加治川二流		1979(昭和54)	謄写版、紙	18.0×26.1	個人蔵
258	本間 吉郎 江東新橋遠望		1976(昭和51)	謄写版、紙	18.2×25.6	個人蔵
259	星 審一 あぢさい		1951(昭和26)	謄写版、紙	36.5×24.1	
260	福井 良之助 けし(2)		制作年不詳	謄写版、紙	26.7×39.3	
261	福井 良之助 静物		1969(昭和44)	謄写版、紙	21.6×40.7	
262	長谷川 潔 時・静物画		1969(昭和44)	メゾチント、紙	26.5×35.8	
263	長谷川 潔 アカリヨムの前の草花		1969(昭和44)	メゾチント、紙	26.6×35.5	
264	長谷川 潔 『竹取物語』		1933(昭和8)	エングレービング、ドライポイント(冊子)	31.6×24.4×3.5	
265	浜口 陽三 19と1つのさくらんぼ		1965(昭和40)	カラー・メゾチント、紙	23.4×53.7	
266	浜口 陽三 14のさくらんぼ		1966(昭和41)	カラー・メゾチント、紙	51.3×24.4	
267	浜田 知明 初年兵哀歌 便所の伝説		1951(昭和26)	メゾチント、紙	23.4×8.0	
268	浜田 知明 初年兵哀歌 銃架のかげ		1951(昭和26)	エッチング、アクアチント、紙	19.0×16.8	
269	浜田 知明 刑場A		1954(昭和29)	エッチング、アクアチント、紙	24.9×18.3	
270	浜田 知明 初年兵哀歌 歩哨		1951(昭和26)	エッチング、アクアチント、紙	29.6×20.7	
271	萩原 英雄 お伽の国 No.1		1966(昭和41)	木版、紙	61.2×98.4	
272	村井 正誠 月影		1966(昭和41)	石版、紙	67.0×50.6	
273	村井 正誠 風		1962(昭和37)	石版、紙	76.2×56.2	
274	村井 正誠 黒い太陽		1962(昭和37)	石版、紙	67.0×50.4	
275	諏訪 忠則 レインボー北斎 ポジションA		1970(昭和45)	シルクスクリーン、紙	94.5×140	個人蔵
276	横尾 忠則 切断された小指に掉げるバラード		1966(昭和41)	シルクスクリーン、紙	102.2×72.0	
277	横尾 忠則 腰巻お仙		1966(昭和41)	シルクスクリーン、紙	102.7×72.0	
278	横尾 忠則 第6回東京国際版画ビエンナーレ展		1968(昭和43)	シルクスクリーン、紙	107.8×75.8	
279	井田 照一 Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - "Stone, Paper and Stone" 1976(昭和51)		石版、紙(両面刷)	95.3×62.7		
280	井田 照一 Surface is the Between - Between Vertical and Horizon - Floor, Paper and Four Stones 1976(昭和51)		木版、石版、紙(両面刷)	145.5×101.5		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
281	山田 弘一 Push (ボルトB)		1985(昭和60)	シルクスクリーン、アルミニウム板	130.0×105.6×3.6	
282	ピアス、パトリシア アンネ APPROACHING RED		1988(昭和63)	コラグラフ、手彩他、紙	91.4×196.8	
283	木村 秀樹 冬のライオン		1986(昭和61)	シルクスクリーン、キャンバス	140.3×199.9	
284	小林 敬生 蘇生の刻-群舞-		1992(平成4)	木口木版、コラージュ、紙	167.3×260.2	
285	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 1 中村禹平(1916-1943) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
286	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 2 吉田二三男(1914-1944) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
287	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 3 尾田龍馬(1919-1944) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
288	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 4 結城久(1913-1944) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
289	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 5 久保克彦(1918-1944) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
290	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 6 町井邦夫(1924-1945) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
291	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 7 長岡義尚(1915-1941) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×15.2	
292	太田 三郎 POST WAR 56 無言館 8 渡辺武(1916-1945) 自画像		2001(平成13)	レーザープリント、紙	28.5×	

## 2-1. コレクション展 2013-夏

会期：6月8日(土)～9月1日(日)  
 会場：展示室A(1階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
 内容：季節に合わせて水辺の風景などを描いた作品による「夏の便り」と、和歌山ゆかりの作家を中心に近代日本美術の秀作を展示する「和歌山ゆかりの作家と近現代の美術」という2つのテーマを設けて作品を紹介した。

担当学芸員：植野比佐見

印刷物：出品目録(A4判6頁)

展示点数：58作家98点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

特集展示「瑛九：紙上の仕事」と共通

成果：展示を「夏の便り」から始め、水辺の景色や夏の草花、風物を切り口に、作品を新たな視点から紹介することができた。後半では近代の日本美術を追ながら、特集展示で取り上げた瑛九の同時代の作品を重点的に紹介し、相互に理解を深める機会となった。

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	
<b>夏の便り</b>													
1	ドラン、アンドレ	戸外での食事	制作年不詳	油彩、キャンバス	27.1×24.2	個人蔵	48	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
2	恩地 孝四郎	海の女	1912(明治45/大正元)	油彩、キャンバス	45.0×33.3		49	岸田 利生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
3	古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0		50	保田 龍門	村の娘	1916(大正5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	
4	村井 正誠	パンチュール No. 3	1929-33(昭和4-8)	油彩、キャンバス	113.5×194.5		51	木下 孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
5	村井 正誠	パンチュール No. 2	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	100.2×80.0		52	佐伯 純三	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)	油彩、キャンバス	73.3×53.9	
6	村井 正誠	水浴	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	98.8×80.8		53	ルオー、ジョルジュ	サーカスの娘	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	9.2×9.3	
7	川口 軌外	地維	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	155.5×195.5		54	村井 正誠	ポウトレ・アラブ	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	72.6×60.8	
8	川口 軌外	夏の海	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	65.7×267.0		55	高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0	
9	福岡 道雄	流れ木	1992(平成4)	黒色強化ポリエステル	102×135×60.0	個人蔵	56	神中 純子	妙義山	1918(大正7)頃	油彩、キャンバス	60.8×50.0	
10	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2		57	林 武	神戸風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61.0	
11	岡 康之助	燈台	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	65.0×80.5	個人蔵	58	萬 鉄五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
12	村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	145.3×112.1		59	猪 伊之助	ブザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
13	岡田 謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189.0×155.5		60	佐伯 純三	下落合風景	1926(昭和元)頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	
14	堺 浩哉	水の肌へ-83.7	1983(昭和58)	アクリル、岩彩、オイルスティック、キャンバス	227.1×162.4×6.1		61	佐伯 純三	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.5×53.0	
15	裕 伊之助	矢車草	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	61.0×50.3		62	鳥海 青児	蘇州風景	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	89.6×145.8	個人蔵
16	田中 恒吉	すずらん	1912(明治45)	油彩、板	22.2×15.8		63	村井 正誠	アラブの窓	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	80.1×196.5	
17	田中 恒吉	[ダリヤ]	1912(大正元)	油彩、板	33.0×23.4		64	高井 貞二	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	
18	安井 曾太郎	素焼壺にダリア	1924(大正13)	油彩、キャンバス	55.0×46.2	個人蔵	65	菅井 淩	夜の風景	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	77.5×195.5	
19	三岸 好太郎	バラの静物	1928(昭和3)頃	油彩、キャンバス	45.5×38.0	個人蔵	66	建島 大夢	子供	1917(大正6)/1994(平成6) プロンズ	高さ: 91.5		
20	中川 一政	薔薇	1966(昭和41)	油彩、キャンバス	41.0×37.0		67	建島 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)/銘年不明(生前铸造) プロンズ	高さ: 161.0		
21	浜地 清松	花	1921(大正10)	油彩、キャンバス	91.6×73.5		68	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	プロンズ	20.3	
22	川口 軌外	蓮	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	40.8×53.0		69	松本 埼介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
23	川口 軌外	桃	1935(昭和10)頃	油彩、キャンバス	33.0×53.0		70	山本 正道	遺跡の見える風景	1976(昭和51)	プロンズ	22.5×96.5×40.5	
24	川口 軌外	ひまわり	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	72.0×90.9		71	柳原 義達	道標・鶴	1978(昭和53)	プロンズ	57.0×66.0×27.5	
25	田辺 竹次	ひまわり	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	50.0×61.0		72	柳原 義達	道標・鳩	1973(昭和48)	プロンズ	41.0×52.0×28.0	
26	ボーシャン、アンドレ	エキゾチックな花	1949(昭和24)	油彩、ボード	65.0×80.7		73	村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
27	保田 龍門	コオニユリのある風景	1912(大正元)頃	油彩、キャンバス	38.2×46.0		74	村井 正誠	聚落	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	80.5×233.0	
28	田中 恒吉	南國	制作年不詳	油彩、板	33.0×23.6		75	佐伯 純三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	
29	建島 覚造	CLOUD 5	1980(昭和55)	木	133.5×70.7×109.5		76	佐伯 純三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	
30	土谷 武	平たい虫	1978(昭和53)	鉄	50.0×120.0×140.0		77	佐伯 純三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
31	井田 黒一	Garden Project - Locus Sutra - Layer of Garden-Morning in Summer	1987(昭和62)	ミクストメディア(成形し泥染めした紙、裏面に墨、古い着物、織物、石、焼けた布)	198.0×122.0×7.0		78	佐伯 純三	オーブル・セルヴィアトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	
32	秋岡 美帆	ゆれるかげ	1990(平成2)	ネコプリント、紙	154.6×213.5		79	シガル、ジョージ	セガル、ジョージ 煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
33	福岡 道雄	蛾 I	1972(昭和47)	黒色強化ポリエステル	227.0×209.0×33.0	個人蔵	80-85	李 禹煥	都市の記憶より 1~6	1989(平成元) リトグラフ、紙	1: 80.0×60.1、2: 59.6×80.0、3: 80.5×60.0、4: 80.2×60.0、5: 60.0×80.0、6: 59.9×80.0		
34	稗田 一穂	羽化	1959(昭和34)	顔料、紙	155.3×112.3		86	山口 長男	連	1965(昭和40)	油彩、板	182.2×364.3	
35	野長瀬 晚花	五月の庭	1956(昭和31)	顔料、紙	103.1×163.2		87	川上 力三	遍路者	1988(昭和63)	陶	52.0×38.0×39.5	
36	下村 良之介	雨の断層	1976(昭和51)	紙粘土、顔料、紙	123.0×162.5		88	泉 茂	Painting (DS2008)	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	153.3×259.7	
37	狩野 光雅	雨後	1936(昭和11)	顔料、絹	175.0×229.1		89	泉 茂	しゃも	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	65.2×48.5	
38	川端 龍子	雷雨	1936(昭和11)	顔料、墨、紙(二曲一双屏風)	173.0×342.0		90	加藤 正	空ろなる真昼(王国)	1951(昭和26)	油彩、キャンバス	91.0×91.1	
39	土谷 武	蟬I	1981(昭和56)	鉄	67.0×198.0×74.0		91	鍾嶋 吉彦	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953(昭和28)	油彩、ガッシュ、紙	91.2×91.2	
40	保田 龍門	少年	1912(大正元)	油彩、キャンバス	45.8×60.6		92	鍾嶋 吉彦	鐵骨とクレーンと人と	1954(昭和29)	油彩、板	116.5×91.6	
41	原 勝四郎	婦人像	1953(昭和28)	油彩、厚紙	72.6×60.4		93	吉原 英雄	たわむれ	1956(昭和31)	油彩、板	129.9×91.0	
42	川口 軌外	日傘と人	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	117.0×91.0		94	池田 鶴寿夫	骨を持つ人(C)	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	72.8×57.2	
43	玉置 正敏	汗	1980(昭和55)	油彩、キャンバス	181.5×227.4		95	古家 玲子	トラピスティヌ	1952-54(昭和27-29)	油彩、キャンバス	100.0×52.5	
44	稗田 一穂	夏去る	1980(昭和55)	顔料、紙	94.1×172.3		96	内間 俊子	スベニール	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	49.9×72.5	
45	稗田 一穂												



## 2-2. 特集展示「瑛九：紙の上の仕事」

期：6月8日(土)～9月1日(日)

場：展示室B(1階)

催：和歌山県立近代美術館

助：平成25年度 文化庁地域・文化芸術創造イニシアチブ事業

容：多彩な活動を行った瑛九のフォトデッサンや版画など、紙を基底材に制作された作品を紹介し、併せて瑛九と交流のあった芸術家、特に中心になって結成したデモクラート美術家協会の作家たちの作品を紹介した。

担当学芸員：宮本久宣

関連事業：・講演会「瑛九版画の魅力-制作者の視点から-」7月21日(日)14:00～

講師：田島直樹(筑波大学芸術系准教授、版画家)12名

・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説)7月14日(日)8名、7月15日(月・祝)

11名 各日14:00～

印 刷 物：・チラシ(A5判・香山小鳥：ゆめの日のかけ)と共通

・リーフレット(A5判16頁)

・出品目録(A4判2頁)

展示点数：20作家98点、資料17点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

「コレクション展2013-夏」と共通

成 果：近年関西地域ではまとまって紹介されることの少ない瑛九の業績を改めて紹介する機会を提供できた。また戦後の関西の美術界に与えた影響を再確認する機会となった。

関連記事：・「瑛九 リトグラフや写真紹介 県立近代美術館 ゆかりの作家40点も」『読売新聞』

2013年6月30日、34面(和歌山)

・「不思議な造形世界「瑛九：紙の上の仕事」展」『わかやま新報』2013年7月5日、2面

情報掲載：・「展覧会INFORMATION 和歌山県立近代美術館「瑛九：紙の上の仕事」展」『つくりびと』2013年6月号No.15、p.11

・「瑛九-紙の上の仕事」『朝日新聞』2013年6月6日、30面(和歌山)

・「不思議な造形世界 8日～「瑛九：紙の上の仕事」展 近代美術館』『わかやま新報』2013年6月7日、2面

・「特集展示 瑛九：紙の上の仕事」『和歌山政治経済新聞』2013年6月15日、1面

・「コレクション展2013夏 特集展示 �瑛九：紙の上の仕事」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50

・「和歌山県立近代美術館 特集展示「瑛九：紙の上の仕事」」「ニュースせんなん」2013年7月13日、5面

・「展覧会スケジュール 和歌山県立近代美術館 瑛九 紙の上の仕事」『版画芸術』2013夏No.160、2013年6月1日発行、p.115

・「展覧会INFORMATION 和歌山県立近代美術館「瑛九：紙の上の仕事」展」『つくりびと』2013年8月号No.16、p.11

**Q Ei: Works on Paper**  
瑛九：紙の上の仕事



2013.6.8 [土]～9.1 [日]  
和歌山県立近代美術館  
チラシ

**瑛九：紙の上の仕事**  
Q Ei: Works on Paper



和歌山県立近代美術館

チラシ

リーフレット

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
	瑛九(1911～1960) ペーパーワーク／デッサン					
1		作品C	1935(昭和10)	不透明水彩、紙、コラージュ	34.8×31.7	
2		[失題]	1937(昭和12)	鉛筆、紙	28.4×23.7	個人蔵
		[失題]	1958(昭和33)	インク、紙	24.3×18.2/38.1×27.2	
	フォト・デッサン					
3		いのり	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	27.8×22.0	
4		犬と女	1950(昭和25)	ゼラチン・シルバー・プリント	21.9×28.1	
5		愛撫	1951(昭和26)	ゼラチン・シルバー・プリント	26.3×21.9	
6		[失題]	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	20.2×25.2	
7～15		瑛九フォト・デッサン作品集『真昼の夢』 散歩【表紙】 廻転盤 夜の子供たち かえろ、かえろ 会話 秋のソナタ 食卓 眠りの中の白い馬 丘の歴史	1951(昭和26)	ゼラチン・シルバー・プリント [オリジナルをガラス乾板に焼き付けて複写]	11.1×13.7/26.5×19.2 [たとう] 10.6×14.0/26.5×18.8 11.1×14.0/26.5×18.8 10.9×13.5/26.5×18.8 11.0×15.0/26.5×18.8 14.0×11.1/26.5×18.8 10.8×13.6/26.5×18.8 11.0×14.1/26.5×18.8 11.0×13.8/26.5×18.8	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
<b>エッチング</b>						
16~21	瑛九エッティング集『小さい悪魔』 [表紙] 背中合わせ ヴァイオリン 眼 散歩	1952(昭和27)	エッティング、紙	個人蔵		
22	せまい道	1952(昭和27)	エッティング、紙	9.0×10.0/40.0×28.0 [たとう]	14.4×12.9/31.9×23.6	
23	母	1953(昭和28)	エッティング、紙	29.0×23.5/37.8×28.0	個人蔵	
24	人魚の恋	1953(昭和28)	エッティング、紙	23.6×31.0/29.4×39.8		
25	ゴーストトップ	1953(昭和28)	エッティング、紙	36.2×25.8/44.0×30.5		
26	顔B	1953(昭和28)	エッティング、紙	26.5×36.2/29.5×38.5	個人蔵	
27	小さな人魚	1954(昭和29)	エッティング、紙	36.2×26.5/38.5×29.5	個人蔵	
28	鳥と動物	1955(昭和30)	エッティング、紙	28.5×23.7/37.8×28.4	個人蔵	
<b>リトグラフ</b>						
29	母子	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	22.5×20.6/54.2×38.0		
30	海辺	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	36.3×25.5/39.4×27.6		
31	裏庭	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	52.0×37.4/60.2×44.4	個人蔵	
32	森のバレー	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	39.4×24.5/56.1×37.7		
33	林の会話	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	37.8×23.6/54.3×38.4		
34	リンゴの木	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	39.6×30.8/54.5×38.5	個人蔵	
35	いたずら	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	45.9×30.5/54.4×38.4		
36	めがね	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	36.9×23.6/54.2×38.4	個人蔵	
37	少年	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	46.5×30.7/54.2×38.2		
38	鳥の芝居	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	37.3×51.7/49.5×66.0		
39	夜の白	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	36.0×22.2/54.0×38.1		
40	旅人 [墨刷] 墨	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	36.6×52.0/38.5×54.4		
41	旅人	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	37.1×52.0/49.0×65.7		
42	森の中	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	40.0×25.0/54.6×38.5	個人蔵	
43	街	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	39.6×25.0/54.6×38.5	個人蔵	
44	渡り鳥	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	38.0×23.2/54.5×38.4	個人蔵	
45	春のおとずれ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	51.0×40.0/65.7×50.3		
46	雲	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	35.5×51.2/49.4×65.5		
47	海底	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	36.3×53.0/66.8×48.4		
48	舞台のビエロ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	51.5×40.7/65.8×49.8		
49	鳥のソナタ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	38.9×24.8/54.6×38.5		
50	鐘のひびき	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	38.1×25.5/54.7×38.6		
51	シグナル	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	38.8×25.0/54.5×38.6	個人蔵	
52	赤い鳥	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	38.2×26.0/54.5×38.4	個人蔵	
53	離陸	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	42.9×29.7/54.5×38.5		
54	春の水面	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	45.6×30.4/54.3×38.2		
55	鳥のピアノ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	36.5×22.4/54.4×38.6		
<b>資料</b>						
56	《舞踏会の夜》原版	1957(昭和32)	ジンク板	32.5×22.6/42.1×29.6		
57	版画集『瑛九・銅版画 SCALE I』より《顔B》	1953(昭和28)/1974(昭和49)刊行	エッティング、紙	27.2×36.3/37.4×49.0		
<b>書籍・雑誌類</b>						
58	「瑛九フォト・デッサン大阪展」[リーフレット] (梅田画廊、1951年)			個人蔵		
59	『CAMERA』372号(アルス、1952年7月)	[瑛九「フォトグラムの作り方」掲載]		個人蔵		
60	『アトリエ』336号(アトリエ出版社、1955年2月)	[瑛九「フォト・デッサン」掲載]		個人蔵		
61	『リビングデザイン』4号(美術出版社、1955年4月)	[瑛九「印画紙の夢」掲載]		個人蔵		
62	『みづゑ』596号(美術出版社、1955年4月)	[瑛九「今年の課題など」掲載]		個人蔵		
63	瑛九・島崎清海『やさしい銅版画の作り方』(門書店、1956年8月)			個人蔵		
<b>瑛九ゆかりの人びと</b>						
64	オノサト・トシノブ 二つの円 緑・赤	1959(昭和34)	リトグラフ、紙	31.0×49.3/37.8×56.2		
65	木水 育男 私は彼女の眼が驚異に満ちるようにしたい	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	45.5×30.3/54.5×38.4	個人蔵	
66	木水 育男 [失題]	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	45.1×30.0/55.0×39.5	個人蔵	
67	木水 育男 [失題]	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	45.4×30.2/55.0×39.7	個人蔵	
68~74	『スフィンクス』瀧口修造の詩による版画集	1954(昭和29)	冊子体[表紙デザイン:山城隆一]	29.6×24.5 [たとう]		
北川 民次	地球創造説		エッティング、紙	8.7×6.7/29.5×47.9		
瑛九	5月のスフィンクス		エッティング、紙	17.8×11.8/29.5×48.0		
泉 茂	睡魔		エッティング、紙	16.9×14.4/29.5×47.9		
加藤 正	岩石は笑った		エッティング、紙	11.9×12.0/29.4×48.3		
利根山 光人	妖精の距離		リトグラフ、紙	18.8×11.7/29.5×48.5		
青原 俊子	魚の慾望		木版、紙	16.2×15.7/21.1×16.9		
森 啓	[失題]	1956(昭和31)	インク、紙	27.8×20.1	個人蔵	
森 啓	作品	1957(昭和32)	不透明水彩、紙	53.9×37.8		
泉 茂	さまよえるオランダ人	1954(昭和29)	エッティング、紙	36.3×29.9/42.8×39.6		
泉 茂	祭	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	54.1×41.2/71.0×86.4		
泉 茂	ひるね	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	48.0×39.0/60.0×46.0		
吉田 利次	《浜の男》下図	1959(昭和34)頃	コンテ、水彩、紙	49.9×38.2		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
81~87 高井 義博						
81	高井 義博	高井義博エッティング第一集『荒地の中にたっている』	1955(昭和30)	エッティング、紙	9.4×6.9/40.5×28.8 [たとう]	個人蔵
82		[表紙]		エッティング、紙	12.9×14.4/17.9×22.0	
83		原子時代		エッティング、アクアチント、紙	12.0×18.2/18.0×24.0	
84		アプレの愛情		エッティング、アクアチント、紙	18.2×11.4/25.0×18.1	
85		箱庭の人間		エッティング、アクアチント、紙	18.2×11.6/25.0×17.5	
86		孤独な女		エッティング、アクアチント、紙	18.3×12.0/24.5×18.2	
87		休日の日どこかで		エッティング、紙	18.3×9.4/25.0×17.9	
88 山中 嘉一						
88	山中 嘉一	二つの像	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	43.0×28.0/54.9×38.5 個人蔵	
89	山中 嘉一	ノスクルジア	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	43.0×26.3/46.0×29.0	
90	山中 嘉一	女神	1958(昭和33)	リトグラフ、紙	56.5×38.0/63.7×45.5	
91	松井 裕	楽士	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	29.7×20.0/36.0×25.2	
92	松井 裕	小さなデモン	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	40.2×55.9/49.3×64.3	
93	吉原 英雄	鳥寄せ	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	38.8×28.2/46.5×34.0	
94	吉原 英雄	きりきり舞い	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	55.5×45.3/69.1×54.6	
95	吉原 英雄	火の鳥	1957(昭和32)	エッティング、紙	36.2×20.0/41.6×23.6	
96	加藤 正	愛しあっている二人は殺された(ローゼンバーグ夫妻に捧ぐ)	1953(昭和28)	エッティング、紙	41.5×53.7/51.0×70.1	
97	加藤 正	街に夕陽が落ちる	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	40.2×25.7/56.5×38.6	
98	加藤 正	風の塔	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	70.5×45.5/75.0×56.0	
99	磯辺 行久	バイロットの夢	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	60.7×44.6/76.8×54.3 個人蔵	
100	磯辺 行久	危険な探索	1956(昭和31)	リトグラフ、紙	18.6×17.9/24.1×21.4	
101	鏡唱	ひまわり男女	1954(昭和29)	ドライポイント、紙	55.0×40.5/64.7×51.8	
102	鏡唱	ジャイアンツ	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	54.0×40.5/64.0×49.5	
103	利根山 光人	鉄骨	1955			

## 2-3. コレクション展 2013-秋

会期：9月14日(土)～12月1日(日)  
 会場：展示室A(1階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
 内容：「和歌山ゆかりの作家と近現代の美術」、「アメリカの戦後美術」のコーナーを設けて作品を紹介するとともに、特集展示で取り上げた香山小鳥の友人達による「田中恭吉とその周辺の絵画」の3部で構成した。

担当学芸員：宮本久宣

印刷物：出品目録(A4判6頁)

展示点数：72作家103点

入场料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内在学中の外国人留学生は無料

特集展示「香山小鳥：ゆめの日のかけ」と共に

成果：同時期に開催された「誕生120年記念 石垣栄太郎展」や、特集展示と関連したコーナーを設置することで、それぞれの展示についての理解を深めるとともに、同時代の美術表現の広がりや多様性を紹介することができた。

関連記事：・「展覧会紹介」JCOM(10月21日～10月27日「Hometown ウィークリー」にて放送) 2013.10.08

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1	神中 糸子	海岸風景	1888-1892(明治21～25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	
2	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
3	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代と推定)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
4	保田 龍門	少年	1912(明治45/大正1)	油彩、キャンバス	45.8×60.6	
5	岸田 勉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
6	萬鉄五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0	個人蔵
7	古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0	
8	曾宮 一念	青色の静物	1926(大正15)	油彩、キャンバス	60.5×45.3	個人蔵
9	佐伯 祐三	下落合風景	1926(大正15/昭和元)頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	
10	木下 孝則	女優の像	1926(大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
11	建畠 夢	懇ふ女	1925(大正14)/1970(昭和45)铸造	ブロンズ	高さ113.0	
12	梅原 鶴三郎	静浦(口野)風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1	
13	燕島 武二	大王崎	1930(昭和5)頃	油彩、板	22.0×14.9	個人蔵
14	青山 熊治	雪の馬	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	201.2×362.5	個人蔵
15	保田 龍門	光明皇后賜療	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	190.0×557.8	
16	山名 貢義	[源氏物語図屏風]	1887(明治20)頃	顔料、絹(六曲一双屏風)	本紙12面各128.0×47.5	
17	下村 観山	白描 魔降図	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6	
18	下村 清時	太子像	1921(大正10)	顔料、木(浮彫)	101.5×59.2	
19	坂井 芳泉	明光浦雄賀祭之図	1929(昭和4)	顔料、紙(六曲一双屏風)	一隻107.0×261.0	
20	坂井 芳泉	勿来閑	制作年不詳	顔料、絹	113.0×32.2	
21	窪本 一洋	岬	1938(昭和13)	顔料、絹(二曲一隻屏風)	141.5×200.0	
22	狩野 光雅	草刈の笛	制作年不詳(昭和初期)	顔料、絹	153.0×56.7	
23	山口 蓬春	宇津の山	制作年不詳	顔料、絹	128.5×41.2	個人蔵
24	保田 龍門	すさのおの命／大國主命とすせり姫	1942(昭和17)	木(樟)	44.5×71.0×17.0	
25	植木 茂	モードス	1949(昭和24)	木	57.0×27.0×20.0	
26	保田 春彦	伝説	1957(昭和32)	木	99.5×36.5×39.2	
27	高井 貞二	建設	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	188.0×129.0	
28	原 勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、厚紙	59.9×71.7	
29	松本 埃介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
30	須田 国太郎	風景	1950(昭和25)頃	油彩、キャンバス	49.8×60.5	
31	岡 康之助	燈台	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	65.0×80.5	個人蔵
32	小林 和作	山湖の秋	制作年不詳	油彩、キャンバス	80.5×99.8	個人蔵
33	伊谷 賢蔵	秋の静物	1954-55(昭和29-30)	油彩、キャンバス	80.3×60.6	個人蔵
34	熊谷 守一	白のはだか	1960(昭和35)	油彩、板	15.9×22.1	個人蔵
35	ブルーデル、エミール=アントワーヌ	看護婦-アルコルタ夫人	1917(大正6)	ブロンズ	高さ70.0	個人蔵
36	ルノワール、ピエール=オーギュスト	苺	制作年不詳	油彩、キャンバス	19.8×21.2	個人蔵
37	梅原 龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
38	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
39	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代[准定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0	
40	保田 龍門	読書	1921(大正10)	油彩、キャンバス	65.5×53.0	
41	ロート、アンドレ	ミルマンドの城壁	制作年不詳	油彩、キャンバス	33.0×24.0	
42	東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46.0×38.0	
43	裕 伊之助	アザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
44	木下 義謙	カーニュ風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	62.0×73.2	
45	児島 善三郎	カーニュ風景	1926(大正15/昭和元)	油彩、キャンバス	60.0×72.0	個人蔵
46	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
47	川口 軌外	ボヘミアン	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	117.0×80.7	
48	里見 勝藏	マグム Y.S.	1924(大正13)	油彩、キャンバス	64.7×53.0	個人蔵
49	グラマンク、モーリス・ド	風景	制作年不詳	油彩、キャンバス	38.0×45.5	個人蔵
50	佐伯 祐三	オワーズ河周辺風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.5×53.0	
51	佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1	
52	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	
53	佐伯 祐三	ボスターとロウソク立て	1925(大正14)	油彩、キャンバス	45.5×53.6	
54	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	
55	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	
56	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
57	木下 孝則	赤衣の女	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	72.9×53.2	
58	木下 雅子	肘つく女	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	72.8×61.0	
59	島村 三七雄	カジノ・ド・パリの踊り子	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	80.5×65.0	
60	麻生 三郎	巴里風景	1938(昭和13)	油彩、板	33.0×40.9	個人蔵
61	村井 正誠	ゴルフジュアンの朝	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	145.3×112.	
62	デュフィ、ラウル	コンポティエのある静物	1940(昭和15)頃	油彩、キャンバス	65.2×81.2	
63	藤田 利治	鳥と少女	制作年不詳	油彩、キャンバス	46.5×33.0	個人蔵
64	菅井 淩	雷神	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	162.6×130.7	
65	田淵 安一	作品	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.8×162.0	
66	今井 俊満	蝕	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	130.8×191.5	
67	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×122.	
68	泉 茂	Painting (DF1005)	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	161.5×130.5	
69	建畠 覚造	テラコッタB	1954(昭和29)	テラコッタ	25.0×20.0×9.0	
70	末松 正樹	拓かれた土地	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	131.8×196.7	
71	ヴィアラ、クロード	コンポジション	1988(昭和63)	アクリル、布	295.0×346.0	

アメリカの戦後美術						
72	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
73	ラウシェンバーグ、ロバート	自由の女神	1983(昭和58)	葉書、シルクスクリーン、紙	90.7×61.2	個人蔵
74	ウェッセルマン、トム	シースケープ#8	1966(昭和41)	アクリル、キャンバス	172.9×106.8	
75	ローゼンクイスト、ジェームズ	スペース・ダスト	1989(平成元)	リトグラフ、コラージュ、紙	169.0×267.5	
76	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	高さ264.6×359.9×270.4	
77	バスキア、ジャン=ミッシェル	無題	1983(昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	146.0×192.0	
78	クロース、チャック	自画像	1983(昭和58)	ペーパーバーレフ、キャンバス	137.2×101.6	
79	クルーガー、バーラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
80	ノグチ、イサム	空虚	1971(昭和46)/1979(昭和54)铸造	ブロンズ	高さ116.0	

田中恭吉とその周辺の絵画						





<tbl\_r cells="7" ix="5" maxcspan="1

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
ライトコート						
112	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ60.0×127.5×451.2	
113	ノグチ、イサム	雲の山	1982(昭和57)	酸化処理した鉄	高さ176.0×113.0×71.8	
屋外						
114	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	高さ208×335×305	
115	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	高さ250.0×1000.0×360.0	
116	建島 覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	高さ270.0×170.0×75.0	
117	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999(平成11)	銅、鉄	高さ200.0×500.0×500.0	



## 2-4. 特集展示 没後100年「香山小鳥：ゆめの日のかけ」

会期：9月14日(土)～12月1日(日)  
会場：展示室B(1階)  
主催：和歌山県立近代美術館  
助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
内容：創作版画の草創期に重要な活動を行なながら、広く知られることなく早世した香山小鳥の没後100年を記念し、友人であった田中恭吉と恩地孝四郎の尽力によって今日に伝えられた作品のすべてを展示した。

担当学芸員：井上芳子

印刷物：  
・チラシ(A5判)・「瑛九：紙の上の仕事」展と共に  
・リーフレット(A4判8頁)  
・出品目録(A4判6頁)

展示点数：12作家62点、資料28点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
「コレクション展2013-秋」と共通

成果：遺族の調査を行い、遺されていた油彩画《浅草玉乗り》を紹介した。また立命館大学図書館の協力で香山が関係した文芸誌『歓楽』を展示紹介した。田中恭吉や恩地孝四郎との交友や北原白秋への傾倒ぶり、木下李太郎や伊上凡骨の影響も展示によって示した。資料的価値の高いリーフレットを製作し一般来館者に配布できた。

関連記事：  
・「没後100年 香山小鳥：ゆめの日のかけ」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50  
・「美と遊ぶ 繊細な内面描く創作版画「香山小鳥」展 和歌山県立近代美術館」「産経新聞」2013年9月20日夕刊、7面  
・「木版画や油彩で香山小鳥の世界 近代美術館特集展示」『読売新聞』2013年9月28日、33面  
・「香山小鳥 ゆめの日のかけ」展 和歌山県立近代美術館 近代版画に刻んだ制作熱 飯田出身 早世作家の足跡見直す』『信濃毎日新聞』2013年10月4日、13面  
・「夭折の版画家 香山小鳥 没後100年 わずか21年の人生 魂込めた木版画」『産経新聞』2013年10月17日、27面

情報掲載：  
・「所蔵作品の中から120点紹介 コレクション展一秋 没後100年記念「香山小鳥展」も」『わかやま新報』2013年10月16日、3面  
・「竹久夢二や田中恭吉ら交流のあった版画家 没後100年 香山小鳥：ゆめの日のかけ」『らくり』11月号vol.013、2013年10月20日発行、p.17  
・「和歌山県立近代美術館 没後100年 香山小鳥：ゆめの日のかけ」『NATTS』2013年11月号、vol.157、p.16  
・「和歌山県立近代美術館 特集展示『没後100年 香山小鳥：ゆめの日のかけ』『ワカビー』11・12月号vol.52、2013年11月発行、p.8

香山小鳥：ゆめの日のかけ  
Kayama Kotori: Vestiges of Fleeting Dreams



2013.9.14(土)～12.1(日)  
没作版画の創始期に重要な活動を行なった香山小鳥(1892-1919)。  
奥友だちの田中恭吉と恩地孝四郎によって、其の版画や版画家等が今日に伝えられました。  
没後100年を記念し、そのすべてを公現します。

開館時間 9時～17時(最終受付16時)  
休館日 月曜日(祝日除く)、12月29日～1月1日  
料金 一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金  
和歌山県立近代美術館  
〒590-0046 和歌山県和歌山市御幸町1番地  
TEL 073-442-0067 FAX 073-442-0068 E-mail: <http://www.wanmei.or.jp>

チラシ

香山小鳥：ゆめの日のかけ



リーフレット

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
<b>「月映」の特別な仲間</b>						
1	香山 小鳥	習作(公刊『月映』VI)	1912(大正元)年頃	彫/1915(大正4)年5月5日発行 木版(機械刷)、紙、冊子体	14.9×11.8/18.5×13.7	
2	田中 恭吉	「香山小鳥のこと」草稿	1915(大正4)年2月頃	インク、紙	16.5×10.3/23.3×15.1	
3	田中未知(恭吉)	「ゆめの日のかけ」扉ページ(公刊『月映』VI)	1915(大正4)年5月5日発行	印刷、紙	9.2×5.5/13.8×9.7	
4~5	藤森 静雄	『月映社作品小聚』4 リーフレット(2点)	1915(大正4)	木版、紙	9.2×5.5/13.8×9.7	
6~7	香山 小鳥	風景(表・裏)	1911(明治44)	油彩、板	22.7×14.6/39.4×33.4	
<b>作品としての絵葉書</b>						
8	田中 恭吉	恩地孝四郎あて葉書「六月。」	1912(明治45)年6月3日付	インク、紙	12.2×18.4/14.1×18.9	
9	恩地 孝四郎	田中恭吉あて葉書(大変なんだといふ気持)	1912(明治45)年6月6日消印	インク・色鉛筆、紙	14.0×18.9	
10	久本 信男(DON)	恩地孝四郎あて葉書(画は出来ないんです)	1912(明治45)年6月14日消印	インク・水彩、紙	14.0×18.9	
11	久本 信男(DON)	恩地孝四郎あて葉書(もうわたしはかえりますから)	1912(明治45)年6月14日消印	インク、紙	14.0×18.9	
12	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(何だか気抜の体)	1912(明治45)年6月19日付	インク・彩色、紙	10.2×14.7/14.1×19.0	
13	水島 翔保布	『モザイク』創刊号 表紙	1912(明治45)年5月1日発行	印刷、紙、冊子	個人蔵	
14	在田 桶	『モザイク』第4号 表紙	1912(大正元)年8月1日発行	印刷、紙、冊子	個人蔵	
15	恩地 孝四郎	『桜さく国 紅桃の巻』表紙	1912(明治45)年3月21日発行	印刷、紙、冊子	25.5×18.8	
16	竹久 夢二	久本信男あて葉書	1911(明治44)年10月3日付	インク・色鉛筆、紙	14.5×9.0	
17	香山 小鳥	浅草玉乗り/ダヌンツイオ像	1912(大正元)	油彩、板	31.2×123.1/33.1×123.1	個人蔵
18	竹久 夢二ほか	『都会スケッチ』	1911(明治44)年6月26日発行	印刷、紙、冊子	個人蔵	
19	竹久 夢二	『昼夜帶』	1913(大正2)年12月1日初版発行	印刷、紙、書籍	個人蔵	
20	竹久 夢二	『中学世界』第14巻第14号 「都会通信」	1911(明治44)年10月24日印刷納本	印刷、紙、冊子	個人蔵	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
21	竹久 夢二	『中学世界』第14巻第11号 「都会通信」	1911(明治44)年8月24日印刷納本	印刷、紙、冊子		個人蔵
22	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(赤い梅を拾った)	1912(明治45)年7月3日付	インク・着彩、紙	14.0×19.0/2.5×15.8	
23	香山 小鳥	土岡泉あて葉書(みきあげのひととき)	1912(明治45)年7月3日付	インク・着彩、紙	10.5×14.9/14.2×18.9	
24	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(いくたりかくて捨てにしいく夏)	1912(明治45)年7月6日付	インク・着彩、紙	11.8×17.4/14.2×18.9	
25	香山 小鳥	土岡泉あて葉書(いくたりをかくて捨てにしいく夏)	1912(明治45)年7月8日消印	インク・着彩、紙	12.7×15.4/14.1×8.9	
26	香山 小鳥	土岡泉あて葉書(こんなにおそくなっていますみません)	1912(明治45)年7月14日付	インク・着彩、紙	2.4×16.2/14.1×19.0	
北原白秋の影響						
27	北原 白秋	『朱葉(ザムボア)』2巻7号 表紙	1912(明治45)年7月1日発行	印刷、紙、冊子		個人蔵
28	北原 白秋	『抒情小曲集 おもひで』欄画『Pierrotの思ひ出』	1911(明治44)年6月5日初版/1911(明治44)年7月10日再版	印刷、紙、書籍	個人蔵	
29	北原 白秋	『抒情小曲集 おもひで』挿画『幼年の日』	1911(明治44)年6月5日初版発行/1911(大正8)年12月1日 13版発行	印刷、紙、書籍	個人蔵	
30	北原 白秋	『抒情歌集 桐の花』扉画	1913(大正2)年1月25日発行	印刷、紙、書籍		個人蔵
31	恩地 孝四郎	田中恭吉あて葉書(今かって来たサンボアの扉画もよかったです)	1912(明治45)年3月4日消印	インク、紙	14.2×19.0	
32	香山 小鳥	風景	1912(大正元)頃	彩色、紙	11.4×18.2/19.6×28.6	
33	田中 恭吉	山本俊一あて葉書「六月」	1912(明治45年)6月18日消印	インク、紙	8.5×8.9/14.0×9.0	
34	田中 恭吉	詩画集『鶯脣の後』	1912(明治45)	インク、紙	16.6×11.1	
美術学校を去る						
35	香山 小鳥	土岡泉あて葉書(学校はソマミ出されました)	1912(明治45)年7月27日付	彩色、紙	13.3×8.3/14.2×9.1	
36	香山 小鳥	土岡泉あて葉書	1912(大正元)年7月30日付	インク、紙	13.5×8.6/14.2×9.3	
37	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書「TATSUMAKI」	1912(大正元)年8月4日付	インク、紙	13.3×8.3/14.3×9.1	
38	香山 小鳥	土岡泉あて葉書	1912(大正元)年8月12日付	インク・彩色、紙	12.1×7.2/14.1×9.1	
39	香山 小鳥	田中恭吉あて葉書	1912(大正元)年8月26日付	彩色、紙	5.2×5.4/14.2×9.0	
40	香山 小鳥	土岡泉あて葉書	1912(大正元)年9月4日付	彩色、紙	13.5×5.9/14.5×9.1	
41	香山 小鳥	田中恭吉あて葉書	1912(大正元)年9月4日付	インク・彩色、紙	7.3×13.3/9.3×14.4	
42	香山 小鳥	詩集『お前は何處から』	1912(大正元)	インク・着彩、紙	13.6×15.7/20.2×111.8	
43	香山 小鳥	『歓楽』10月詩歌号 表紙	1912(大正元)年10月上旬~中旬発行	印刷、紙、冊子	22.3×15.4×0.4	立命館大学図書館蔵
44	香山 小鳥	La nuit d'automne [La nuit d'automne]	1912(大正元)	インク・彩色、紙	8.7×11.5/15.6×12.7	
45	香山 小鳥	田中恭吉あて葉書	1912(大正元)年9月14日付	モノタイプ・手彩、銀箔、紙	8.5×7.4/14.0×9.1	
伊上凡骨に弟子入り						
46	香山 小鳥	竹久夢二あて葉書(こんなものをこしらへました)	1912(大正元)年10月6日付	木版・墨書き、紙	7.3×6.2/14.0×9.0	
47	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(毎日コツコツだ)	1912(大正元)年10月6日付	木版・墨書き、紙	7.2×6.2/14.1×9.0	
48	香山 小鳥	EX-LIBRIS たとう	1912(大正元)頃	木版、紙	5.8×4.6/19.9×26.1	
49	香山 小鳥	EX-LIBRIS(試し振り)	1912(大正元)頃	木版、紙	5.8×4.7/14.5×8.5	
50	香山 小鳥	EX-LIBRIS 下絵	1912(大正元)頃	インク、紙	5.7×4.5/6.7×5.5	
51	香山 小鳥	EX-LIBRIS	1912(大正元)	木版、紙	5.8×4.6/8.5×7.2	
52	香山 小鳥	木立/ EX-LIBRIS	1912(大正元)	木版、紙	14.0×7.9/24.5×9.8	
53	香山 小鳥	EX-LIBRIS		木版、紙	6.1×4.8/14.2×8.5	
54	黒田 清輝(水彩画)、伊上 凡骨(彫)	銚子写生の内(『光風』1号)	1905(明治38)年5月3日発行	木版、紙、冊子		
55	黒田 清輝(水彩画)、伊上 凡骨(彫)	銚子写生の内(『光風』2号)	1905(明治38)年7月3日発行	木版、紙、冊子		
56	長原 孝太郎(水彩画)、伊上 凡骨(彫)	朝詣(『光風』3号)	1905(明治38)年9月5日発行	木版、紙、冊子		
57	藤島 武二(画)、伊上 凡骨(彫)	『毒草』表紙、巻頭画	1904(明治37)年5月29日発行	木版、紙、冊子		
58	木下 垣太郎(画)、伊上 凡骨(彫)	戯曲集『和泉屋染物店』函貼画	1912(明治45)年7月10日発行	木版、紙、書籍	個人蔵	
59	木下 垣太郎(画)、伊上 凡骨(彫)	『朱葉(ザムボア)』2巻9号 広告	1912(大正元)年9月1日発行	木版、紙、冊子	個人蔵	
60	木下 垣太郎(画)、伊上 凡骨(彫)	『東京景物詩 及びその他』口絵 「初夏の遊楽」	1913(大正2)年7月1日初版/1913(大正2)年9月15日再版発行	木版、紙、書籍	個人蔵	
61	木下 垣太郎(画)、伊上 凡骨(彫)	戯曲集『南蛮寺門前』紙箱表題画	1914(大正3)年7月15日初版発行	印刷、紙、書籍	個人蔵	
62	木下 垣太郎(画)か、伊上 凡骨(彫)	小説集『唐草表紙』箱貼画	1915(大正4)年2月10日初版発行	印刷、紙、書籍	個人蔵	
小鳥のサインがない作品						
63	[香山 小鳥] 若き女			モノタイプ、紙	6.9×6.9/14.3×9.2	
64	[香山 小鳥] 少女			モノタイプ、紙	5.0×4.4/12.4×9.0	
65	[香山 小鳥] 風景			木版、紙	10.0×14.5/15.4×18.2	
66	[香山 小鳥] 裸婦のいる風景	1912(大正元)頃		木版、紙	17.3×11.8/33.1×24.0	
67	[香山 小鳥] 女	1912(大正元)頃		木版、紙	8.2×11.6/13.1×19.2	
68	[香山 小鳥] 風景			木版、紙	7.8×11.4/13.2×19.4	
69	[香山 小鳥] みつめる	1912(大正元)頃		木版、紙	18.1×11.7/27.6×17.6	
70	[香山 小鳥] 男の首			木版、紙	11.2×7.4/16.8×12.4	
71	[香山 小鳥] 卓上静物			鉛筆・彩色、紙	14.2×11.2/18.7×13.2	
72	[香山 小鳥] 恩地孝四郎あて葉書	1912(大正元)年10月18日消印		インク・彩色、紙	13.5×8.7/14.4×9.5	
病に倒れる						
73	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(とに角に床をたんて見た)	1912(大正元)年11月3日消印	インク・彩色、紙	5.4×3.3/14.0×9.0	
74	香山 小鳥	田中恭吉あて葉書(いくら病んで)	1912(大正元)年11月8日消印	インク・彩色、紙	4.4×3.9/14.2×9.0	
75	香山 小鳥	田中恭吉あて年賀状	1913(大正2)年1月1日消印	木版、紙	12.0×8.1/14.2×9.1	
76	香山 小鳥	恩地孝四郎あて年賀状	1913(大正2)年1月1日消印	木版、紙	12.0×8.1/14.2×9.1	
77~79	香山 小鳥	花瓶と花(年賀状試し刷り) 3点	1912(大正元)年末	木版、紙	12.0×8.1/14.3×9.0 12.0×8.1/14.2×9.2 11.8×8.1/16.1×15.9	
80	香山 小鳥	版木(木立)	木		15.1×12.0	
81	香山 小鳥	木立(回覧雑誌『密室』6)	1912(大正元)頃/1913(大正2)年12月2日発行	木版、紙	15.2×11.8/16.6×13.5	

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
82	香山 小鳥	風景(回覧雑誌『密室』6)	1912(大正元)頃/1913(大正2)年12月2日発行	木版、紙	15.0×11.8/18.6×13.7	
83	香山 小鳥	深川の冬	1912(大正元)年11月~12月頃	木版、紙	24.7×18.0/26.4×19.6	個人蔵
84	香山 小鳥	愁	1913(大正2)	木版、紙	12.5×8.6/14.1×9.2	
85	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書	1913(大正2)年1月19日付	インク・彩色、紙	8.1×5.8/14.1×9.0	
86	香山 小鳥	竹久夢二・竹久たまきあて葉書	1913(大正2)年3月4日付	インク、紙	5.4×5.2/14.1×8.9	
親友への思い						
87	田中 恭吉	恩地孝四郎あて葉書「もののけの黒くしづかにそふごとし」	1913(大正2)年7月26日消印	インク、紙	14.1×9.0	
88	田中 恭吉	『密室』6 「余録より」	1913(大正2)年12月12日発行	インク、紙		
89	田中 恭吉	『密室』7 「ある男の日記より」	1914(大正3)年1月14日発行	インク、紙		
90	恩地孝四郎	『版画の美』『純正美術』2巻7号	1922(大正11)年7月1日発行	冊子		
91	恩地孝四郎	『日本の現代版画』	1943(昭和28)年発行	書籍		



## 2-5. コレクション展 2013/14-冬

会期：12月17日（火）～平成26年2月23日（日）  
 会場：展示室A（1階）  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
 内容：「和歌山ゆかりの作家と近現代の美術」、筆触の表現に焦点をあてた「溶け込む抽象」、衣服の表現に着目した「人と衣服」、特集展示に関連した「版の表情」の4コーナーを設け、作品を紹介した。  
 担当学芸員：青木加苗  
 印刷物：出品目録（A4判6頁）  
 展示点数：68作家101点

入場料金：一般340円（270円）、大学生230円（180円）（ ）内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料

特集展示「人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」と共通

成果：和歌山ゆかりの作家を軸とした近代美術の秀作を紹介するとともに、ジャンルにとらわれないテーマ設定によるコーナーを設け、収蔵作品の新たな魅力を紹介することができた。

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1	国吉 康雄	乳しづり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5					
2	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0					
3	石垣 栄太郎	スケッチクラス	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	56.4×71.8					
4	杉本, ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0					
5	杉本, ヘンリー	寺院のみえるビーエー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6					
6	杉本, ヘンリー	秋のパリ	1965(昭和40)	油彩、キャンバス	140×130	個人蔵				
7	浜地 清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.2×82.1					
8	浜地 清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100×73					
9	村井 正誠	アカデミヤ・ベル・アルチ	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	81.0×130.6					
10	保田 龍門	パンとニンフ	1945(昭和20)	テラコッタ	31.5×36.5×18.0					
11	玉置 正敏	洪水と男	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	162.0×391.5					
12	青井 済	夜の風景	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	77.5×195.5					
13	難波田 龍起	作品A	1964(昭和39)	油彩、ろう、キャンバス	90.3×181.1					
14	川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2					
15	山田 正亮	Work E-265	1986-87(昭和61-62)	油彩、キャンバス	194.0×194.2					
16	堀 浩哉	水の肌へ-83.7	1983(昭和58)	アクリル、岩彩、オイルスティック、キャンバス	227.1×162.4					
17	杉金 直	♪と題して	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	162.3×193.7					
18	タビエス、アントニ	三幅對	1988(昭和63)	エッチング、紙	199.2×297.2					
19	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6					
20	岡田 謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189.0×155.5					
21	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
22	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
23	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
24	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
25	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
26	建島 覚造	儀式(小)	1972(昭和47)	アルミニウム、ステンレス、皮	64.0×51.0×40.7					
27	シーガル ジョージ	赤いシャツの3人：ふたりが正面、ひとりが背面：ブルージーンズ・シリーズ	1975(昭和50)	エッチング、アクアチント、紙	100.0×200.0 個人蔵					
28	シーガル ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4					
29	松本 琢介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵				
30	龜井 玄兵衛	加茂の娘	1948(昭和23)	顔料、紙	197.4×152.0					
31	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
32	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
33	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
34	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
35	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
36	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
37	建島 覚造	儀式(小)	1972(昭和47)	アルミニウム、ステンレス、皮	64.0×51.0×40.7					
38	シーガル ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4					
39	松本 琢介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵				
40	龜井 玄兵衛	加茂の娘	1948(昭和23)	顔料、紙	197.4×152.0					
41	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
42	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
43	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
44	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
45	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
46	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
47	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
48	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
49	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
50	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
51	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
52	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
53	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
54	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
55	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
56	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
57	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
58	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
59	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
60	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
61	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
62	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
63	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
64	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
65	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
66	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
67	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
68	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロンズ	高さ66.0	個人蔵				
69	シャーマン、シンディ	無題 #131	1983(昭和58)	Cプリント	241.5×115.0					
70	ヴァン・ドンゲン、キース	黒い服の婦人	1910年代 [推定]	油彩、キャンバス	144.5×113.0					
71	建島 大夢	若き日の北村西望	1911(明治44)頃／鉄造年不明	ブロンズ	19.0×8.0×7.0					
72	岡本 信治郎	脱衣のイメージ着衣のイメージ	1963(昭和38)	油彩、キャンバス	162.3×130.7					
73	宮本 三郎	脱衣	制作年不明	油彩、キャンバス	45.5×27.5					
74	マンズー、ジャコモ	[衣を脱ぐ]	制作年不詳	ブロン						

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
ライトコード						
111	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-1995(平成 6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
112	ノグチ、イサム	雲の山	1982(昭和57)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8	
屋外						
113	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994(平成 6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	
114	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレススチール	250.0×1000.0×360.0	
115	建島 貢造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270.0×170.0×75.0	
116	北尾 博史	アシモトノセカイ	1999(平成11)	銅、鉄	200.0×500.0×500.0	



## 2-6. 特集展示「人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」

期：12月17日(火)～平成26年2月23日(日)

場：展示室B(1階)

催：和歌山県立近代美術館

助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業

容：版画による独自の表現を追求してきた3人の作家の仕事を、描かれた世界と人間の関わりという視点から紹介した。

担当学芸員：奥村泰彦

- 関連事業：・講演会：吹田文明(版画家) 1月13日(月・祝) 14:00～ 36名
- ・講演会：長岡國人(版画家) 1月25日(土) 14:00～ 28名
- ・フロア・レクチャー(学芸員による展示解説) 1月25日(水) 8名、1月4日(土) 7名、2月23日(日) 2名 各日14:00～

奥村泰彦

- 印刷物：・チラシ(A5判)・「物質と美術」展と共通)  
・出品目録(A4判4頁)、パンフレット(A5判変形6頁)

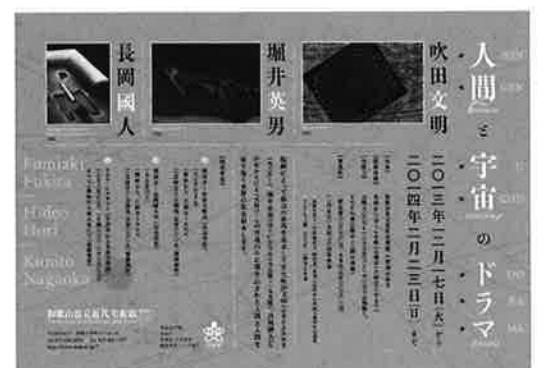
展示点数：3作家 88点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金  
高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
「コレクション展 2013/14-冬」と共通

成 果：各作家の作品をまとめて紹介することで、技法や表現の独自性と同時に共通する点を浮き彫りにすることことができた。また、作家による講演会を開催し、現在の表現に至った経緯についても紹介することができた。

- 関連記事：・「人間と宇宙のドラマ 近代美術館 2月23日まで 版画3作家を特集」『わかやま新報』2013年12月25日、3面  
・「自然や宇宙のファンタジー 和歌山 吹田、堀井、長岡氏が版画展」『読売新聞』2014年1月8日、28面(地域)  
・中島由記子「関西美術探訪 阪大美学研究室〈586〉版画展「人間と宇宙のドラマ」」冊の文庫本読み解く気分で『大阪日新聞』2014年2月4日、10面  
・「展覧会紹介」JCOM(「Hometown ウィークリー」にて放送)  
・「展覧会紹介」テレビ和歌山(12月17日18:00-放送)

- 情報掲載：・「人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」『SAVVY』8月号、2013年6月22日発行、p.50  
・「和歌山県立近代美術館 人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」『帝國芸術新聞』平成26年新春特別号、5面  
・「和歌山県立近代美術館 コレクション展 2013/14-冬 特集展示 人間と宇宙のドラマ：吹田文明・堀井英男・長岡國人」『電車&ウォーキング』2014年1月号、p.1



チラシ



パンフレット

No.	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
長岡 國人					
1	HORIZONT/MASA	1971(昭和46)	銅版、紙	34.5×49.3	
2	HORIZONT/TAMAKI	1972(昭和47)	銅版、紙	49.2×39.3	
3	HORIZONT/RANG II	1972(昭和47)	銅版、紙	39.3×49.2	
4	HORIZONT/MISOOON I	1972(昭和47)	銅版、紙	39×49.5	
5	HORIZONT/MON	1972(昭和47)	銅版、紙	34.3×49.2	
6	HORIZONT/MISOOON III	1972(昭和47)	銅版、紙	38.8×49.3	
7	HORIZONT/GAND VII	1973(昭和48)	銅版、紙	49.2×64	
8	ISEKI/PY I	1974(昭和49)	銅版、紙	39.4×49.3	
9	ISEKI/PY V	1975(昭和50)	銅版、紙	39.3×49.5	
10	ISEKI/PY=PLN	1975(昭和50)	銅版、紙	39.4×49.6	
11	ISEKI/PY = PII	1976(昭和51)	銅版、紙	39.5×49.6	
12	ISEKI/PY XVIII	1978(昭和53)	銅版、紙	39.7×49.8	
13	ISEKI/PY XVII 黒色版	1978(昭和53)	銅版、紙	39.7×49.8	
14	ISEKI/PY XVII 第一ステートプリント／黒色版	1978(昭和53)	銅版、紙	39.7×49.8	
15	ISEKI/PY XVII	1978(昭和53)	銅版、紙	39.4×49.5	
16~26	ASAMA	1980-81(昭和55-56)			写真：長岡國人
1			写真、紙	24.4×30.0	
2			銅版、紙	19.3×25.6	
3			写真、紙	19.5×26.8	
4			銅版、紙	19.3×25.6	
5			銅版、紙	19.5×26.7	
6			銅版、紙	19.3×25.6	

No.	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
7			写真、紙	19.5×26.7	
8			銅版、紙	19.3×25.7	
9			写真、紙	19.4×26.8	
10			銅版、紙	19.4×25.8	
11			写真、紙	19.4×26.7	
27	ISEKI/PY XXVI	1981(昭和56)	銅版、紙	39.5×49.8	
28	ISEKI/PY XXVIII	1981(昭和56)	銅版、紙	39.6×49.5	
29	ISEKI/PY XXXI	1981(昭和56)	銅版、紙	39.6×52.8	
30~35	Homage to 6 Japanese Nobel Prize Winners				
No.1		1986(昭和61)	銅版、紙	49.2×39.0	
No.2		1986(昭和61)	銅版、紙	39.5×49.5	
No.3		1986(昭和61)	銅版、紙	49.0×39.0	
No.4		1986(昭和61)	銅版、紙	39.2×49.3	
No.5		1987(昭和62)	銅版、紙	39.4×49.6	
No.6		1987(昭和62)	銅版、紙	49.6×39.4	

#### 堀井 英男

36	仮装 No.2	1966(昭和41)	銅版、ステンシル、紙	21.0×22.8
37	仮装 No.6	1966(昭和41)	銅版、紙	21.0×17.0
38	仮装 No.8	1967(昭和42)	銅版、ステンシル、紙	31.0×42.0
39	旅役者 No.3	1969(昭和44)	銅版、ステンシル、紙	57.0×42.0
40	透視窓 No.7	1971(昭和46)	銅版、紙	31.5×42.0
41	透視窓 No.9	1971(昭和46)	銅版、紙	42.0×31.0
42	透視窓 No.11	1971(昭和46)	銅版、紙	17.0×42.0
43	閉ざされた部屋 No.7	1974(昭和49)	銅版、紙	36.5×23.0
44	虚構の部屋 No.1	1975(昭和50)	銅版、紙	42.5×58.0
45	魔に憑かれて	1976(昭和51)	銅版、紙	47.0×36.5
46	白い顔	1980(昭和55)	銅版、紙	27.0×36.5
47	小鳥を飼う人	1980(昭和55)	銅版、紙	31.0×42.5
48	二つの像	1980(昭和55)	銅版、紙	42.5×31.0
49	静止する像	1980(昭和55)	銅版、紙	18.5×25.5
50	magic room 82-4	1982(昭和57)	銅版、紙	42.5×57.5
51	magic room 82-5	1982(昭和57)	銅版、紙	42.5×58.0
52	magic room 82-9	1982(昭和57)	銅版、紙	42.5×58.0
53	magic room 82-11(ABCD)	1982(昭和57)	銅版、紙	42.5×58.0
54	magic room 82-13	1982(昭和57)	銅版、紙	35.0×58.0
55	magic show	1983(昭和58)	銅版、紙	15.5×13.0
56	或る記憶のそとで 87-1	1987(昭和62)	銅版、紙	42.5×58.0
57	magic room 84-5	1984(昭和59)	銅版、紙	58.0×42.5
58	記憶の外で 89-1	1989(平成元)	銅版、コラージュ、紙	58.0×42.5
59	記憶の外で 89-4	1989(平成元)	銅版、ステンシル、紙	58.0×42.5
60	中国幻想 91-1	1991(平成3)	銅版、紙	21.2×15.3

#### 吹田 文明

61	開かれた世界	1967(昭和42)	木版、紙	60.2×90.0
62	銀河系No.2	1967(昭和42)	木版、紙	49.0×78.9
63	機械と群集中より逃れる	1958(昭和33)	木版、紙版、紙	60.5×72.0
64	鳥と眼球体	1958(昭和33)	木版、紙版、紙	60.1×45.8
65	人	1958(昭和33)	木版、紙	60.5×45.5
66	形	1961(昭和36)	木版、紙	33.3×26.2
67	夜の記憶	1962(昭和37)	木版、紙	10.1×26.1
68	夜の構図	1964(昭和39)	木版、紙	60.3×45.5
69	河	1965(昭和40)	木版、紙	45.0×60.1
70	青い十字	1965(昭和40)	木版、紙	74.4×61.5
71	初雪	1966(昭和41)	木版、紙	73.8×60.7
72	菊	1968(昭和43)	木版、紙	90.5×60.4
73	虹は花の色を盗んで咲く	1968(昭和43)	木版、紙	60.2×73.0
74	雨のあと	1970(昭和45)	木版、紙	90.5×61.0
75	tide 潮	1970(昭和45)	木版、紙	91.5×60.7
76	銀河	1974(昭和49)	木版、紙	92.1×60.8
77	球形の詩	1974(昭和49)	木版、紙	59.8×72.7
78	聖なる日 B	1977(昭和52)	木版、紙	92.0×61.0
79	花と花	1979(昭和54)	木版、紙版、紙	69.0×59.4
80	銀河の創世	1982(昭和57)	木版、紙	68.5×60.0
81	赤い星	1983(昭和58)	木版、紙	68.1×59.5
82	南に散りし友に捧ぐII(戦後50年の鎮魂詩)	1995(平成7)	木版、紙版、紙	87.7×60.1
83	南の夜明け(戦後50年の鎮魂詩III)	1994(平成6)	木版、紙版、紙	91.3×60.1
84	南に散りし友に捧ぐ(戦後50年の鎮魂詩)IV	1996(平成8)	木版、紙	67.9×59.1
85	さらば十字星	1997(平成9)	木版、紙	60.0×91.1
86	宇宙華	1998(平成10)	木版、紙版、紙	87.8×60.0
87	矢羽根飛ぶ A	2003(平成15)	木版、金箔、紙	60.1×89.7
88	僕のワインレッドの手縫のセーター	2008(平成20)	木版、紙	89.7×60.3



## 2-7. コレクション展 2014-春

会期：平成26年3月1日(土)～3月30日(日) [5月25日(日)]  
 会場：展示室A(1階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
 内容：「和歌山ゆかりの作家と近代の美術」、同時期に開催する企画展、特集展示に関連づけた「現代の彫刻から」、「色・いろいろ」の3つのテーマを設け、作品を紹介。

担当学芸員：宮本久宣

印刷物：出品目録(A4判6頁)

展示点数：58作家69点

入场料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金

高校生以下、65歳以上、障害者、県内在学中の外国人留学生は無料

特集展示「モノクロームの世界」と共通

成果：和歌山ゆかりの作家を軸とした近代美術の秀作を紹介するとともに、同時期に開催する企画展と関連する作品を展示することで、相互の理解を深める機会を設けることができた。

関連記事：・「色彩・技法 光る芸術 県立近代美術館 県ゆかりの作家 油彩画など」『読売新聞』2014年4月11日、24面

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
和歌山ゆかりの作家と近代の美術						
1	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
2	梅原 龍三郎	小川(ブルターニュ風景)	1909(明治42)	油彩、キャンバス	24.6×32.4	個人蔵
3	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	個人蔵
4	山下 新太郎	臥婦	制作年不詳(1910年代と推定)	油彩、キャンバス	79.5×140.7	個人蔵
5	下村 清時	亀置物	制作年不詳	木	12.3×21.5×6.2大／10.2×19.3×5小	
6	建島 大夢	おゆのつかれ	1913(大正2)/1970(昭和45)鑄造	ブロンズ	高さ68.0	
7	建島 大夢	魔法使いの女	1923(大正12)/鑄造年不明	ブロンズ	高さ45.3	
8	岸田 勉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	個人蔵
9	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.3	
10	萬鉢五郎	残雪	1915(大正4)	油彩、キャンバス	50.0×60.6	個人蔵
11	保田 龍門	村の娘	1916(大正5)	油彩、キャンバス	82.4×66.9	
12	林 義明	伊豆大島小景	1915(大正4)	油彩、キャンバス	45.8×60.9	
13	国枝 金三	島の四月	1917(大正6)	油彩、キャンバス	65.2×80.4	
14	川端 龍子	草	制作年不詳(大正期)	顔料、金泥、絹	128.5×36.5	
15	速水 御舟	竹生図	1928(昭和3)	顔料、絹	124.8×41.2	個人蔵
16	山元 春翠	春溪雨後図	制作年不詳	顔料、絹	131.5×41.8	個人蔵
17	山口 八九子	月ヶ瀬梅	1921(大正10)頃	顔料、絹	144.0×55.9	
18	野長瀬 晚花	和樂	制作年不詳	顔料、絹	136.0×41.6	個人蔵
19	堂本 印象	春日	制作年不詳	顔料、紙	44.3×53.0	個人蔵
20	日高 昌克	春爛漫図	1958(昭和33)	墨、紙	44.2×43.1	個人蔵
21	福田 平八郎	紅梅	制作年不詳	顔料、紙	34.0×43.0	個人蔵
22	稗田 一穂	鳥	1949(昭和24)	顔料、紙	112.1×161.4	
23	亀井 玄兵衛	石と木	1960(昭和35)	顔料、紙	123.6×166.6	
24	東山 越夷	行く春	1968(昭和43)	顔料、紙	72.0×81.0	個人蔵
25	保田 龍門	すさのおの命／大国主命とすせり姫	1942(昭和17)	木(樟)	高さ44.5	
26	国吉 康雄	乳しづり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
27	裕 伊之助	アザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	50.1×60.8	
28	林 武	神戸風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス	45.8×61.0	
29	木下 孝則	後向の裸女の習作	1925(大正14)	油彩、キャンバス	100.1×80.3	
30	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
31	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	個人蔵
32	児島 善三郎	カーニュ風景	1926(大正15／昭和元)	油彩、キャンバス	60.0×72.0	個人蔵
33	佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2	個人蔵
34	佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.3×60.8	
35	佐伯 祐三	オブセルヴァトワール附近	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	73.2×91.8	
36	佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3	個人蔵
37	保田 龍門	アンドレの首	1922(大正11)	ブロンズ	高さ20.3	
38	建島 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)/鑄造年不明(生前鑄造)	ブロンズ	高さ161.0	
39	浜地 清松	赤い帽子	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	100.0×73.0	
40	青山 義雄	K夫人肖像(木下雅子像)	1930(昭和5)頃	油彩、キャンバス	80.6×61.0	
41	原 勝四郎	画工像	1932(昭和7)	油彩、厚紙	65.0×52.6	
42	村井 正誠	パンデュール(赤い帽子)	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	72.5×90.9	
43	高井 貞二	想ひを	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	112.5×145.8	
44	ヘンリー・杉本	寺院のみえるビーエー村	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	80.4×100.6	
45	松本 純介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	個人蔵
46	三岸 節子	捕らえられた鳥	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	72.7×91.0	個人蔵
47	岡 鹿之助	燈台	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	65.0×80.5	個人蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
48	原 精一	ブルターニュの女	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	80.3×60.6	個人蔵
49	理代の彫刻から	ムーア、ヘンリー 3つの立っている像のマケット	1952(昭和27)	ブロンズ	高さ25.0	
50	ムーア、ヘンリー 建築の背景の横たわる像 III	1967(昭和42)	リトグラフ、紙	24.3×30.5		
51	ヘップワース、バーバラ 絃を張った円板(太陽)	1969(昭和44)	ブロンズ、紐	高さ48.0		
52	ノグチ、イサム 空虚	1971(昭和46)/1979(昭和54)鑄造	ブロンズ	高さ116.0		
53	戸谷 成雄 森	1986(昭和61)	木、アクリル	高さ220.0×476.0×30.0		
54	ニーヴェルスン、ルイーズ 北の星	1977-82(昭和52-57)	黒彩色、木	高さ278.0×213.3×48.2		
55	シーガル、ジョージ 煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	高さ264.6		
56	アーリントン、エドワード あなたに名前がなかったら	1991(平成3)	ブロンズ、写真	ブロンズ: 高さ35.3／額: 81.1×65.6		
57	色・いろいろ	Mr. & Mrs. Rainbow noppo RV	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	141.8×50.4	
58	アレシシスキー、ピエール ブリズム	1988(昭和63)	エッティング、アクリント、紙	179.8×89.2		
59	宇佐美 圭司 水族館の中の水族館 No.2	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	185.2×276.0		
60	ロスコ、マーク 赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6		
61	グリーン、アラン 3つと4つ	1989(平成元)	油彩、キャンバス	155.6×160.6		
62	ヴァザルリ、ヴィクトル ピソール	1978(昭和53)	アクリル、キャンバス	141.0×112.2		
63	建島 朔弥 アイルコンボネット-1	1991(平成3)	木、アクリル絵具	高さ68.0×148.0×140.0		
64	グドナソン、トキル 無題	1992(平成4)	写真	186.0×126.8		
65	グドナソン、トキル 無題	1992(平成4)	写真	186.2×127.0		
66	グドナソン、トキル 無題	1992(平成4)	写真	183.0×124.8		
67	村井 正誠 風の中の除幕式	1968(昭和43)	油彩、キャンバス	194.5×259.8		
68	ジャッド、ドナルド 無題	1988(昭和63)	アルミニウム	高さ30.0×210.4×30.0		
69	野田 裕示 WORK 214	1984(昭和59)	アクリル絵具、ボード、木、綿布、麻布	166.0×116.2		
展示室外の作品						
70	エントランス、展示ホール周辺		1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304.0×760.0	
71	ステラ、フランク ラッカ III	2000(平成12)	ビニール接着剤、鉛筆、キャンバス	197.0×291.0	個人蔵	
72	松谷 武判 波動	2004(平成16)	陶	高さ130.0×125.0×136.0		
73	秋山 陽 META-VOID	1984(昭和59)	鉄	高さ113.0×119.5×120.0		
74	鈴木 久雄 単錐台-II	1994(平成6)	ブロンズ、黒花崗岩	高さ22.0×43.5×27.0		
75	保田 春彦 新作のためのエスキース I	1963(昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5		
76	グレコ、エミリオ 病人を看護する	2013(平成25)	竹、アクリル、牛革、糸、蜜蠟	高さ88.5×16.8×16.8	個人蔵	
77	中川 佳宣 fruits, root or head	2013(平成25)	木、綿布、アクリル、糸、蜜蠟	高さ46.8×36.8×16.8	個人蔵	
78	中川 佳宣 segment (Oshima)	1999(平成11)	油彩	170.0×1020.0	作者の厚意により保存	
79	北條 吉彦 山並-senkoushu(鮮光朱)					
80	2階ホワイエ フラナガン、パリー ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兎	1989(平成元)	ブロンズ	高さ230.0×187.0×128.0		
81	ライトコート 保田 春彦 聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	高さ60.0×127.5×451.2		
82	ノグチ、イサム 雲の山	1982(昭和57)	酸化処理した鉄	高さ176.0×113.0×71.		

## 2-8. 特集展示「モノクロームの世界」

会期：平成26年3月1日(土)～3月30日(日) [5月25日(日)]  
 会場：展示室B(1階)  
 主催：和歌山県立近代美術館  
 補助：平成25年度 文化庁地域発・文化芸術創造イニシアチブ事業  
 内容：白と黒のみで表現された版画と写真作品を通して、限られた要素で作品が表現する内容について見直すことを試みた。

担当学芸員：青木加苗  
 関連事業：フロア・レクチャー(学芸員による展示解説) 3月9日(水) 13名、4月12日(土) 8名、5月4日(日・祝) 10名、5月17日(土) 5名 各日14:00～ 青木加苗

印刷物：  
 ・チラシ(A5判)・「版画について考える」と共通  
 ・パンフレット(変型A5判8頁)  
 ・出品目録(A5判4頁)

展示点数：18作家96点

入場料金：一般340円(270円)、大学生230円(180円)( )内は20名以上の団体料金  
 高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料  
 「コレクション展 2014春」と共通

成果：白と黒に制限された表現を丁寧に見ることで、それぞれの技法特性を深く観察する機会を供し、新たな美術作品の楽しみ方を提示することができた。

関連記事：  
 池上司「展覧会「モノクロームの世界」展 白黒に表現超えた神聖性」  
 「日本経済新聞」2014年3月18日、16面

・「モノクロームの世界」「わかやま探検ミュージアム」2・3月号vol.21、2014年4月1日発行、p.5

・「白と黒 シンプルな奥深さ 和歌山 国内外画家や写真家100点」『読売新聞』2014年4月9日、26面

・田中公康「カメラの西本 田中さんのやっぱり写真は楽しい! vol.267 モノクロームの世界」「わかやま新報」2014年5月3日、6面

情報掲載：  
 ・「モノクロームの世界」「SAVVY」8月号、2013年6月22日発行、p.50  
 ・「モノクロームの世界」「きのかわトーキュース 和歌山東版」2014年3月7日、4面

・「The Realm in Monochrome」「関西シーン kansaiscene」2014年4月号、p.31  
 ・「モノクロームの世界」「月刊 書道界4月号」、2014年4月15日発行、p.47

・「和歌山県立近代美術館 特集展示 モノクロームの世界」「NATTS」2014年5月号vol.163、p.16  
 ・「特集展示 モノクロームの世界」「コレクション展 2014春」5月25日まで 県立近代美術館で各展を関連させて 版画と写真のモノクローム 3コーナーでコレクション紹介」「黒潮タイムス」2014年5月25日、2面



No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
<b>黒と闇</b>						
1	浜口 陽三	ざくろ	1957(昭和32)	メゾチント、紙	29.4×34.3	
2	長谷川 潔	ヴォルクスの村	1927(昭和2)	メゾチント、紙	20.0×28.1	
3	長谷川 潔	小鳥と胡蝶	1961(昭和36)	メゾチント、紙	26.4×36.1	
4	長谷川 潔	静物画、仮装したる狐(フィンランド童話)	1965(昭和40)	メゾチント、紙	36.0×26.7	
5	駒井 哲郎	夢の始まり	1949(昭和24)	アクアチント、ドライポイント、紙	9.4×12.8	
6	駒井 哲郎	小さな幻影	1950(昭和25)	アクアチント、エッチング、ドライポイント、紙	5.5×13.0	
7	駒井 哲郎	詩画集『マルドロオルの歌』より「老いたる海」	1951(昭和26)	エッチング、紙	冊子26.2×18.2×1.9	
8	浜田 知明	風景	1953(昭和28)	エッチング、紙	35.4×29.0	
9	浜田 知明	初年兵哀歌 歩哨	1954(昭和29)	エッチング、アクアチント、紙	23.3×15.7	
10	浜田 知明	人	1956(昭和31)	エッチング、アクアチント、紙	28.4×15.7	
11	浜田 知明	狂った男	1962(昭和37)	エッチング、アクアチント、紙	35.8×28.8	
12~14	ルオー、ジョルジュ	《ミセレーレ》より 「冬、大地の愈えぬ病」 「われを信ずるものは、死すとも生きん」 「高慢と無信仰のこの暗き時、見守りつづける地の果ての聖母」	1948(昭和23)刊行 1922(大正11) 1923(大正12) 1927(昭和2)	銅版、紙 銅版、紙 銅版、紙	51.4×36.6 57.6×43.4 58.8×43.2	
<b>黒のテクスチャ</b>						
15~21	李禹煥	版画集『廃墟へ』	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.7×39.4	
		廃墟へ 1	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.1×39.0	
		廃墟へ 2	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.5×39.5	
		廃墟へ 3	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.7×39.4	
		廃墟へ 4	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.8×39.5	
		廃墟へ 5	1986(昭和61)	ドライポイント、紙		

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
21	クレー、パウル	廃墟へ 6	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.2×39.0	
22	クレー、パウル	廃墟へ 7	1986(昭和61)	ドライポイント、紙	49.2×39.9	
23	クレー、パウル	情熱の園	1913(大正2)	エッチング、紙	9.3×14.2	
24	クレー、パウル	小さな世界	1914(大正3)	エッチング、紙	14.5×9.7	
25	高浜 利也	純粹の探求	1953(昭和28)	ドライポイント、印刷、紙 各シート38.0×50.9/冊子38.5×26.0×3.0		
26	高浜 利也	G1	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
27	高浜 利也	G2	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
28	高浜 利也	G3	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
29	高浜 利也	G4	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
30	高浜 利也	G5	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
31	高浜 利也	G6	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
32	高浜 利也	G7	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
33	高浜 利也	G8	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
34	高浜 利也	G9	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
35	高浜 利也	G10	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
36	高浜 利也	G11	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
37	高浜 利也	G12	1994(平成6)	エッチング、アクアチント他、紙	36.2×26.7	
38	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 1	1991(平成3)	木版、紙	40.5×30.5	
39	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 2	1991(平成3)	木版、紙	24.9×6.7	
40	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 3	1991(平成3)	木版、紙	39.6×27.3	
41	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 4	1991(平成3)	木版、紙	4.7×20.9	
42	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 5	1991(平成3)	木版、紙	39.9×26.6	
43	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 6	1991(平成3)	木版、紙	29.8×40.0	
44	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 7	1991(平成3)	木版、紙	30.5×40.7	
45	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 8	1991(平成3)	木版、紙	40.9×30.5	
46	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 9	1991(平成3)	木版、紙	29.4×40.3	
47	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 10	1991(平成3)	木版、紙	20.1×10.1	
48	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 11	1991(平成3)	木版、紙	36.9×24.8	
	ゴームリー、アントニー	BEARING LIGHT 12	1991(平成3)	木版、紙	6.5×12.8	
<b>白と透明</b>						
49	浜口 陽三	スペイン風油入れ	1954(昭和29)	メゾチント、紙	28.8×28.5	
50~55	中西 夏之	版画集『白いクサビ一日射の中で』	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.8×62.4	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で A	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.9×62.4	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で B	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.8×62.4	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で C	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.9×62.9	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で D	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.8×62.3	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で E	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.9×62.3	
	中西 夏之	白いクサビ一日射の中で F	1987(昭和62)	エッチング、ドライポイント、紙	50.9×62.3	
56	白木 ゆり	Sonic(A)	1998(平成10)	エッチング、ドライポイント、紙	83.9×120.2	
57	白木 ゆり	Sonic(C)	1998(平成10)	エッチング、ドライポイント、紙	84.3×120.5	
58	白木 ゆり	Sound -10	1999(平成11)	エッチング、ドライポイント、紙	174.0×117.0	
59~62	児玉 靖枝	ambientlight - rose(4点)	2000(平成12)	ガッシュ、紙	各28.0×29.8	
63~67	名和 晃平	Element #1~#5	2002(平成14)	シルクスクリーン、紙	各76.0×57.0	
<b>光を捉えて</b>						
68	中西 信洋	Layer Drawing #005 焼け跡-紙	2004(平成16)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
69	中西 信洋	Layer Drawing #008 胡椒	2004(平成16)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
70	中西 信洋	Layer Drawing #025 実	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
71	中西 信洋	Layer Drawing #031 葉	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
72	中西 信洋	Layer Drawing #035 八角	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
73	中西 信洋	Layer Drawing #039 紙くず	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
74	中西 信洋	Layer Drawing #042 並木	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
75	中西 信洋	Layer Drawing #044 犬毛1	2005(平成17)	スライド、ライトボックス	5.0×5.0×4.2	
76						



## 特別事業

### 1 第67回和歌山県美術展覧会(県展)

主 催: 和歌山県

共 催: 和歌山県教育委員会、和歌山県立近代美術館、和歌山県美術家協会、  
毎日新聞社和歌山支局、(財)和歌山県文化振興財団、橋本市、新宮市、上富田町

賛 賛: 公益財団法人 大桑教育文化振興財団

本展会期: I期(日本画・書・工芸) 10月31日(木)~11月4日(月)

II期(洋画・写真・彫塑) 11月6日(水)~11月10日(日)

本展会場: 展示室C(2階)

※華道ならびにマスターズ展は、10月31日(水)~11月10日(日)に県民文化会館で開催  
した。

内 容: 第67回和歌山県美術展覧会(県展)を開催した。

印 刷 物: ポスター(B2判)、チラシ(A4判)、出品目録(A4判30頁)

応募点数: 433名506点

展示点数: 公募部門295点

(洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑部門の入選、入賞作品263点、審査員等の作品32点)を展示した。

入場料金: 無料

関連事業: •ギャラリートーク 11月2日(土)、11月9日(日)

•アートワークショップ 8月4日(日) 県民文化会館会議室101 講師: 橋本和明氏

•ミュージアムコンサート 11月3日(日) ~ヴァイオリンとコントラバスとピアノの三重奏~ 出演: Wa・corda(わ・こるだ)

### 2 和歌山県文化表彰50周年記念展

主 催: 和歌山県

会 期: 11月23日(土)~12月8日(日)

会 場: 展示室C(2階)

内 容: 和歌山県文化表彰が50周年を迎えることを記念し、美術分野の歴代個人受賞者の作品を展示した。

印 刷 物: ポスター(B2判)、チラシ(A4判)、出品目録(A4判4頁)

展示点数: 70名95点

関連事業: ミュージアムコンサート 11月23日(土) 出演: 中西俊哉(ヴァイオリン/平成18年度きのくに芸術新人賞)

入場料金: 無料



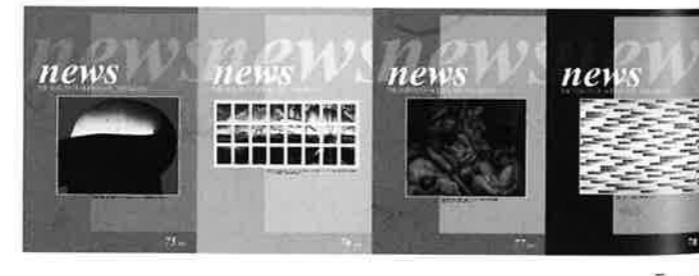
出品目録

## 1 広報活動

- ・美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等を理解し、活用してもらうためにカレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
- ・展覧会ごとに、ポスター、チラシ等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関など約2,300カ所に配布した。
- ・県内外の新聞社、放送局、出版社等約150カ所に事業案内を送付し(うち約130カ所にメールによるプレスリリース)、報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- ・展覧会ごとに教育記者クラブにて資料提供を行い、県内の新聞社、放送局に事業案内の報道、掲載を依頼した。
- ・県発行の広報誌『県民の友』に、毎月事業案内を掲載した。
- ・『わかやま探検ミュージアム』(季刊・県内全小学校4~6年生に配布)に展覧会紹介記事を掲載した。
- ・地元放送局制作の番組取材に協力し、展覧会等の紹介を行った。
  - ・和歌山放送(制作:和歌山県教育委員会)『教育広報ラジオ番組「定期便 教育の窓」「企画展「なつやすみの美術館3『美術の時間』」～展覧会を通じた学校と美術館の連携～』(7月13日放送)
  - ・テレビ和歌山『あっと! テレわか NEWSスタイル』[「なつやすみの美術館3『美術の時間』」(8月14日放送)
  - ・テレビ和歌山『あっと! テレわか NEWSスタイル』[「文化の秋～近代美術館で石垣栄太郎展 開催中」(10月3日放送)
  - ・NHK和歌山『あすのWA!』[「きらり紀州人: 太地町に生まれ米国で1920年代から40年代にかけてニューヨークを中心に活躍した画家の石垣栄太郎。県立近代美術館奥村一郎学芸員にその画業を聞く」(10月11日放送)
- ・ホームページで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- ・メールマガジンを発行し、美術館で開催されるさまざまな展覧会及びプログラムへの参加をよびかけるとともに、美術館に親しんでもらうきっかけとした。(2007(平成19)年4月1日第1号発行。2014(平成26)年3月31日現在、第78号まで発行、登録読者数466名)
- ・和歌山県職員に対し電子掲示板、府内メール等で展覧会の案内をした。
- ・泉州・紀北ミュージアムネットワークを通じた広報活動を行った。

## 2 刊行物の発行

- ・2013(平成25)年度展覧会カレンダー(6.1×10.5cm、巻き5ヶ月折、10頁)
- ・展覧会に関する出品目録、ポスター、チラシ、案内はがき等(各展覧会報告の項を参照)
- ・2012(平成24)年度年報(平成26年2月28日刊行、A4判104頁)
- ・2013(平成25)年度 学校と先生のための美術館利用案内
- ・和歌山美術館教育研究会ニュースレター Vol.1(2013年3月29日発行)、Vol.2、Vol.3
- ・和歌山県立近代美術館ニュース(年4回発行)



No.75(平成25年7月1日発行、A4判8頁)

表紙:元永定正《無題》1967年  
奥村泰彦:日本の絵画の五十年  
井上芳子:「版画・図案・オブジェ」  
宮本久宣:瑛九《旅人》について  
植野比佐見:ワークショップ「はじめての賸写版」から  
佐竹誠/編:青木加苗:ゴールデンウィークは美術館へ→  
Museum Calendar  
メールマガジンのご案内  
友の会案内  
友の会版画プレゼント(出原司さんからのメッセージ)

No.76(平成25年11月1日発行、A4判8頁)

表紙:佐藤時啓 Gleaning Lightシリーズより《The Bridge》2005年  
青木加苗:今年の「なつやすみ」を総まとめ なつやすみの美術館3「美術の時間」より  
青木加苗:アーティスト・トーク 佐藤時啓 -ワークショップ 光とあそぼう!  
宮本久宣:講演会「瑛九版画の魅力 -制作者の視点から-」  
講師 田島直樹(筑波大学芸術系准教授、版画家)  
浜田拓志:大規模災害への対応 進む情報共有  
今年の版画プレゼントは、安井寿磨子さん。  
Museum Calendar  
メールマガジンのご案内  
友の会案内

No.77(平成26年1月4日発行、A4判8頁)

表紙:石垣栄太郎《群像》1935年  
熊田司:石垣栄太郎 -生誕120年、本貫の地で考えたこと  
奥村泰彦:人間と自然のドラマ 吹田文明・堀井英男・長岡國人 展  
奥村泰彦:美術館と学校教育 なかしょうミュージアムをお手伝い  
井上芳子:香山小鳥 ゆめの日のかけ 拾遺  
教育普及課:和歌山県美術館研究会ニュースレター  
友の会事務局 松原:平成25年度 友の会美術鑑賞ツアー  
Museum Calendar  
メールマガジンのご案内  
友の会案内



No.78(平成26年3月31日発行、A4判8頁)

表紙:李禹煥《点より》1980年  
宮本久宣:モノでしかないモノを作る 中川佳宣の潮岬での展示と美術館でのワークショップから  
浜田拓志(編):「和歌山県立近代美術館・博物館 建築の魅力をさぐる」(講演会抄録)  
植野比佐見:版画について考える たとえば、画家・村井正誠の場合  
青木加苗:不思議なモノと美術館  
Museum Calendar  
メールマガジンのご案内  
友の会案内



美術館教育研究会ニュースレター

## 3 講演会などの開催

- ・各展覧会に際して講演会や解説会、ワークショップなどを開催した。(「展覧会事業」の各展覧会の項を参照)
- ・ゴールデンウィークは美術館へ→(4月27日~5月6日)  
ゴールデンウィーク中に講演会や鑑賞ワークショップ、バックヤードツアーなどのイベントを集中して開催した。

4月28日(日)「版画・図案・オブジェ」(前年度より継続)プロアレクチャー(井上芳子、4名参加)  
4月29日(月・祝)「コレクション展 2013-春」(前年度より継続)鑑賞ワークショップ(奥村泰彦、6名参加)  
5月4日(土・祝)「コレクション展 2013-春」(前年度より継続)プロアレクチャー(奥村一郎、4名参加)  
5月6日(月)「バックヤードツアー」(奥村泰彦、20名参加)

\*テレビ和歌山(5月6日18時からのニュース)にて放送

\*ほかに「日本の絵画の五十年」展関連事業2件(「展覧会事業」の項を参照)

・「風土記まつり」への参加(10月20日)

和歌山県立紀伊風土記の丘主催の同行事に参加し、子ども向けのワークショップ、出張ミュージアムショップの運営を行った。

## 4 学校教育・社会教育活動との連携

### 1. 学校・団体観賞への協力

- ・施設利用の浸透を図り、学校教育との連携を深め、団体での来館に際して事前に要望のあった場合には担当者・教員との打ち合わせを行い、必要に応じて館賞用補助プリントを作成するなどの活動を行った。

団体種別	美術館による対応有		自由鑑賞	
	件数	参加人数	件数	参加人数
一般	9件	188名	3件	62名
教員	14件	229名	0件	0名
大学	49件	334名	0件	0名
高等学校	14件	253名	1件	38名
中学校	62件	792名	10件	42名
小学校	32件	1059名	2件	42名
幼稚園	1件	93名	0件	0名
その他(特別支援学校など)	4件	59名	1件	35名
計	185件	3007名	17件	378名
総計	202件	3385名		

・和歌山大学教育学部との連携

和歌山大学教育学部、同附属小学校・中学校と連携して展覧会を課題とした鑑賞、制作、指導法の策定に取り組んだ。

2. 教員を対象とした研究会の開催

教員を対象とする研究会を以下のように開催した。

・和歌山市美育協会鑑賞指導研究会

和歌山市美育協会に協力し、鑑賞に関する研修会を開催した。

8月9日(木)、120名

・和歌山美術館教育研究会

学校教員との協力体制の強化を目的とした研修会を継続して開催した。中学校からの夏休み中の宿題での来館を呼びかけ、期間中の展示の概要紹介、前年までの事例紹介、宿題を出す際の課題等について情報を交換する場を設けた。結果、市内では4校を除く全ての中学校から来館があった。夏休み後は成果の紹介と、各校での通常の授業報告などを行い、会合を続けた。

第18回：4月20日(土) 17名

第19回：5月11日(土) 10名

第20回：5月25日(土) 7名

第21回：6月29日(土) 14名

第22回：9月14日(土) 6名

第23回：11月16日(土) 6名

第24回：平成26年1月18日(土) 10名

計7回、延70名

3. インターンシップ、職場体験学習などの受入

・文部科学省の推進するキャリア教育の一環として、教育委員会並びに各学校の取り組んでいるインターンシップ、職場体験学習等を受け入れた。

受入件数	人 数	日 数	延 人 数
高校生3校	13名	8日	35名
中学生14校	41名	41日	120名
計17件	54名	49日	155名

4. 博物館実習生の受入

・大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間：8月33(金)～8月9日(木) (計6日間) \* 6日(月)の休館日をのぞく

5. エキスパート職員派遣事業の実施

・エキスパート職員派遣事業により県内の学校に出向いて授業を行った。

11月8日：海南市立中野上小学校(奥村泰彦)

2014年2月21日：和歌山市立加太小学校(奥村泰彦)

受 入 校	受 入 人 数
大阪教育大学	1名
関西学院大学	1名
神戸大学	1名
帝塚山学院大学	2名
計4大学	計5名

6. ボランティア活動の受入

・ボランティアグループ「虹」の会員および個人参加者により、図書資料の仕分け、データ入力、配架等が行われた。(受入人数：登録者21名、延143名)

・和歌山大学ミュージアムボランティア

和歌山大学教育学部・和歌山県教育委員会連携協定に基づくボランティアを受け入れ、図書整理等が行われた。

登録ボランティア：1名 13日

7. その他、施設利用など

・「県警音楽隊のそがれコンサート」 主催：和歌山県警察音楽隊 場所：アプローチプラザ

6月14日(金)、6月28日(金)、7月12日(金)、7月26日(金)、8月9日(金)、8月23日(金)、約300名

・「ミュージアムクリフ映画会」 主催：和歌山県BBS連盟 場所：アプローチプラザ

7月26日(金)、約30名

・第18回「名月に舞う」 主催：和歌山文化協会 場所：アプローチプラザ周辺

9月21日(土)、約250名

・「関西博物館連盟例会」 主催：関西博物館連盟 場所：2階ホール

10月2日(水)、3日(木)、約20名

・第12回「秋のシャンソンカーニバル」 主催：和歌山シャンソン友の会 場所：アプローチプラザ

10月6日(日)、約100名

・「秋の憩いイベント：ミュージアムコンサート金管五重奏「ズーラシアンプラス」」 主催：和歌山ロータリークラブ、美術館友の会 場所：アプローチプラザ周辺

11月2日(土)、約700名

・「わかやま出会いの広場 婚活イベント」 主催：和歌山県福祉保健部福祉保健政策局子ども未来課 場所：展示室ほか

12月18日(水)、39名

8. 和歌山県立近代美術館友の会

楽しみながら美術に親しみ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、当館の活動に支援を受けるとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

1. 会員の現状

一般会員 233名、学生会員 2名、賛助会員 8名、名誉会員 7名 計250名

2. 助成事業の実績

友の会は、会員に対して美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対して助成を行っている。

(1)展覧会入場者延人数 340人

(2)図録購入 2冊

3. 展覧会への協力

『なつやすみの美術館3「美術の時間」』展の展示、『石垣栄太郎』展図録制作、『物質と美術』展ワークショップ開催にそれぞれ協力した。

4. 主催事業

(1)版画プレゼント

安井寿磨子氏制作の版画(4種類)の中から1点を会員にプレゼントした。

9月28日(土)

講演会 2階ホール 14時～15時 約40名参加茶話会 1階応接室 15時～16時 約40名参加

(2)美術鑑賞ツアーの開催

10月20日(日) 82名参加 佐川美術館「平山郁夫展 絲綢之路・悠久の旅路」展、「吉左衛門×上原美知子 染織+樂吉左衛門 陶・茶入 土田半四郎 仕服」／滋賀県立近代美術館 特別展「柳宗悦展 暮らしへの眼差し」、常設展「人物の表現カオス(渾沌)とコスマス(秩序)、2016年3月16日(日) 45名参加 大和文華館 特別企画展「竹の美」展／奈良県立万葉文化館 三瀬夏之介 風土の記「かぜつちのき」展

(3)講演会の開催

「和歌山県立近代美術館・博物館 建築の魅力をさぐる」

講師：吉田行雄氏(DNA建築・デザインネットワーク)、長谷川勉氏(株式会社黒川紀章建築都市設計事務所 名古屋・東海事務所所長) 2016年2月1日(土)

2階ホール 14時～15時30分 約90名参加

(4)美術館の情報提供

美術館が発行するミュージアムカレンダー、美術館ニュース、各展覧会のチラシなどを会員に配布した。

5. 共催事業

和歌山ロータリークラブ主催のミュージアムコンサート金管五重奏「ズーラシアンプラス」に協力した。

11月2日(土)

和歌山県立近代美術館アプローチプラザ 14時～15時40分 約700名参加

## 協力事業

### 1 「「もっと、光を」ドキドキ少年撮影隊ミュージアム編 Part 3/ 繋がりから活動へ」への協力(前年度より継続)

日 時：7月27日、28日

主 催：NPO法人 和歌山芸術文化支援協会(wacss)

助 成：花王・コミュニティミュージアム・プログラム2012

印 刷 物：報告書(A4判12頁、差込み1葉)

協力内容：7月27日に、佐藤時啓氏によるアーティスト・トークを美術館ホールにて開催。翌28日に体験型作品を用いたワークショップを、美術館エントランスにて実施した。両日の事業は、当館の展覧会「なつやすみの美術館3『美術の時間』」の関連事業として位置づけた。また報告書の編集に協力した。

### 2 「森のちからIV」への協力

日 時：11月～12月

主 催：NPO法人 和歌山芸術文化支援協会(wacss)

協力内容：串本に作家を招いて滞在制作と発表を行う活動に協力した。田辺市中辺路町近露で実施された当事業の第一回目に参加し、それをきっかけに串本町に移住した作家、林憲昭氏にも協力を得て、滋賀県在住の作家、中川佳宣氏を招いて、2名が協力して制作、ワークショップ、発表を行った。

### 3 和歌山大学教育学部附属中学校研究授業への協力

日 時：11月7日(木)

協力内容：美術館外構を用いたパフォーマンスによる研究授業に協力した。

## 作品貸付

下記14件の展覧会に総計41点の作品貸付を行った。

### 1 「BLACKS ルイーズ・ニーヴェルスン、アド・ラインハート、 杉本博司」[前年度より]

貸付期間：2013(平成25)年1月18日～4月26日

主 催：DIC株式会社

会期・会場：2月2日～4月14日 DIC川村記念美術館

作 品：ルイーズ・ニーヴェルスン《空のザグII》  
1974(昭和49)

ルイーズ・ニーヴェルスン《北の星》  
1977-82(昭和52-57)

### 2 「近代日本画と工芸の流れ 1868-1945」[前年度より]

貸付期間：2013(平成25)年1月31日～6月1日

主 催：国際交流基金、ローマ日本文化会館、  
京都国立近代美術館、ローマ国立近代美術館

会期・会場：2月26日～5月5日 ローマ国立近代美術館

作 品：野長瀬晩花《島の女》1916(大正5)頃

### 3 「生誕120年 木村荘八展」[前年度より]

貸付期間：2013(平成25)年3月12日～9月6日

主 催：各開催美術館、中日新聞社(東京新聞)

会期・会場：3月23日～5月19日 東京ステーションギャラリー

5月25日～7月7日 豊橋市美術博物館

7月13日～8月25日 小杉放菴記念日光美術館

作 品：高須光治《自画像》1915(大正4)

### 4 「清水達三日本画展」[前年度より]

貸付期間：2013(平成25)年3月20日～4月10日

主 催：和歌山県

会期・会場：3月30日～4月3日 和歌山県民文化会館展示室

作 品：清水達三《枯木灘》2001(平成13)

清水達三《波涛》2002(平成14)

### 5 「関西コレクションズ」[前年度より]

貸付期間：2013(平成25)年3月26日～7月26日

主 催：国立国際美術館、朝日新聞社

会期・会場：4月6日～7月15日 国立国際美術館

作 品：マーク・ロスコ《赤の上の黄褐色と黒》

1957(昭和32)

トム・ウェッセルマン《シースケープ#8》

1966(昭和41)

チャック・クロース《自画像》1983(昭和58)

バー・バラ・クリーガー《無題(私を覚えていて)》

1988(昭和63)

シンディ・シャーマン《無題(#132)》1984(昭和59)

ドナルド・ジャッド《無題》1988(昭和63)

### 6 「オオサカがとんがっていた時代」

貸付期間：2013(平成25)年4月16日～7月20日

主 催：大阪大学総合学術博物館

会期・会場：4月27日～7月6日 大阪大学総合学術博物館

作 品：建畠覚造《作品Aの8》1950(昭和25)

泉茂《目》1955(昭和25)

### 7 「モネ・ユトリロ・佐伯と日仏絵画の巨匠たち」

貸付期間：2013(平成25)年7月23日～9月13日

主 催：企業文化交流委員会

会期・会場：8月7日～9月1日 ホテルオークラ東京

作 品：佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925(大正14)

### 8 「ゲンビ New era for creations 現代美術懇談会の軌跡

1952-1957

貸付期間：2013(平成25)年10月8日～12月6日

主 催：芦屋市立美術博物館

会期・会場：10月19日～11月24日 芦屋市立美術博物館

作 品：杉山英行《個型》1957(昭和32)

杉山英行《スクラップ》1958(昭和33)

林康夫《作品(弧)》1955(昭和30)

### 9 「日本画家が描いた西洋風景 滞欧作を中心として」

貸付期間：2013(平成25)年10月15日～2014(平成26)2月7日

主 催：稻沢市荻須記念美術館、笠岡市立竹喬美術館

会期・会場：10月26日～12月8日

稻沢市荻須記念美術館

12月14日～2014(平成26)年1月26日

笠岡市立竹喬美術館

作 品：野長瀬晩花《スペインの田舎の子供》1924(大正13)

野長瀬晩花《風景スケッチ帳》1922(大正11)頃

### 10 「昭和モダン 絵画と文学 1926-1936」

貸付期間：2013(平成25)年10月18日～2014(平成26)1月17日

主 催：兵庫県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

会期・会場：11月2日～12月29日 兵庫県立美術館

作 品：高井貞二《機械》1931(昭和6)頃

高井貞二《感情の遊離》1932(昭和7)

高井貞二《煙》1933(昭和8)

高井貞二《抒情》1937(昭和12)

川口軌外《地維》1932(昭和7)

### 11 「あなたの肖像 工藤哲巳回顧展」

貸付期間：2013(平成25)年10月18日～2014(平成26)年6月27日

主 催：国立国際美術館、東京国立近代美術館、

青森県立美術館

会期・会場：11月2日～2014(平成26)年1月19日

国立国際美術館

2014(平成26)年2月4日～3月30日

東京国立近代美術館

2014(平成26)年4月14日～6月8日

青森県立美術館

作 品：工藤哲巳

## 調査・研究・発表活動および对外協力活動

《未来と過去の間での遺伝染色体による綾取り》  
1979(昭和54)

12 「靈と艶をもとめて 村上華岳展」  
貸付期間: 2014(平成26)年1月15日～3月30日  
主 催: 笠岡市立竹喬美術館  
会期・会場: 2014(平成26)年2月1日～3月16日  
笠岡市立竹喬美術館  
作品: 村上華岳《仲秋月明之図》1937(昭和12)〔受託作品〕

13 「本物を超えて」  
貸付期間: 2014(平成26)年2月12日～4月3日  
主 催: 福井市美術館  
会期・会場: 2014(平成26)年2月22日～3月23日 福井市美術館  
作品: 鳴剛《無題F》1982(昭和57)  
上田薰《スプーンのジャムB》1975(昭和50)

14 「ア・ターブル！ ご飯だよ！」  
貸付期間: 2014(平成26)年2月18日～5月20日  
主 催: 三重県立美術館  
会期・会場: 2014(平成26)年3月1日～5月6日  
三重県立美術館  
作品: 山本容子《Asparagus Paradise》1977(昭和52)  
山本容子《Ping Pong Pineapple》1977(昭和52)  
山本容子《Joke Juice Journey》1977(昭和52)  
山本容子《Asparagus Guy》1977(昭和52)  
駒井哲郎《調理場》1958(昭和33)  
浜口陽三《朝食》1956(昭和31)  
深沢幸雄《めし》1956(昭和31)  
折元立身《BREAD-MAN (TWO PERSON)》  
1992(平成4)  
パラモデル《トミ串》2006(平成18)  
パラモデル《トミ串》2006(平成18)  
大西伸明《Cyoko》2004(平成16)  
大西伸明《Syake》2004(平成16)

### 浜田拓志

- ・第6回全国美術館会議 東日本大震災復興対策委員会(4月26日、国立西洋美術館)
- ・全国美術館会議 東日本大震災美術館・博物館総合調査(6月18日～21日)
- ・全国美術館会議 東日本大震災文化財レスキュー事業記録集分科会第3回会合(7月17日、兵庫県立美術館)
- ・第7回全国美術館会議 東日本大震災復興対策委員会(9月27日、国立西洋美術館)
- ・全国美術館会議 東日本大震災文化財レスキュー事業記録集分科会第4回会合(10月10日～11日、岩手県立美術館)
- ・平成25年度田辺市立美術館協議会・作品選定委員会(11月11日、田辺市立美術館)
- ・平成25年度高知県立美術館資料収集審査会(1月9日、高知県立美術館)
- ・平成25年度兵庫県立美術館審美委員会(1月10日、兵庫県立美術館及び横尾忠則現代美術館)
- ・第68回姫路市美術展審査(1月12日、姫路市立美術館)
- ・平成25年度第2回高知県立美術館資料収集審査会(2月27日、高知県立美術館)
- ・執筆: 機関誌『NEWS』No.75「版画・図案・オブジェ」No.77「香山小鳥 ゆめの日のかけ」拾遺」
- ・第22回わかやまソフトウェア・CGコンテスト審査員(2014年1月11日、和歌山市サーチラボ)
- ・「生誕120年 田中恭吉展」(2012)企画および論文にて、第25回倫雅美術奨励賞受賞

- ・公益財団法人 堀江オルゴール博物館理事

### 井上芳子

- ・特集展示「版画・図案・オブジェ」を担当、プロアレクチャー(前年度より継続/49頁参照)
- ・特集展示「香山小鳥: ゆめの日のかけ」を担当、パンフレット執筆編集(33頁参照)
- ・執筆: 機関誌『NEWS』No.75「版画・図案・オブジェ」No.77「香山小鳥 ゆめの日のかけ」拾遺」
- ・第22回わかやまソフトウェア・CGコンテスト審査員(2014年1月11日、和歌山市サーチラボ)
- ・「生誕120年 田中恭吉展」(2012)企画および論文にて、第25回倫雅美術奨励賞受賞

### 植野比佐見

- ・「版画について考える-101年目の宿題」展を担当、講演会およびプロアレクチャー(18頁参照)
- ・「コレクション展 2013一夏」を担当(24頁参照)
- ・執筆: 機関誌『NEWS』No.76「大規模災害への対応 進む情報共有」、No.78「和歌山県立近代美術館・博物館 建築の魅力をさぐる」(講演会抄録)
- ・執筆: 機関誌『NEWS』No.75「ワークショップ「はじめての贋写版」から」、No.78「版画について考える たとえば、画家・村井正誠の場合」
- ・講演: 「蝸牛工房」の仕事 贋写印刷から版画へ(第10回版画史研究会にて、5月11日、東京古書会館)
- ・非常勤講師: 「贋写版の冒険 卓上印刷機から始まったアート」および贋写版実技講座(2014年2月6日～7日、金沢美術工芸大学)
- ・所蔵作品状態調査および保存環境調査、環境管理指導(2014年3月19日、和歌山県立新宮高等学校)
- ・外部原稿執筆: 「作家解説」『近代日本版画家名覧』(版画堂webページ)

### 奥村泰彦

- ・「日本の絵画の五十年」を担当、リーフレット執筆編集、プロアレクチャー、アーティスツ・トーク(6頁参照)
- ・特集展示「人間と宇宙のドラマ: 吹田文明・堀井英男・長岡國人」を担当、プロアレクチャー(39頁参照)
- ・執筆: 機関誌『NEWS』No.75「日本の絵画の五十年」、No.77「人間と自然のドラマ 吹田文明・堀井英男・長岡國人展」、「美術館と学校教育 なかしあうミュージアムをお手伝い」
- ・「コレクション展2013一春」にて鑑賞ワークショップ、4月29日
- ・外部原稿執筆: 「作品解説/チャック・クロス」『美の饗宴 関西コレクションズ』図録(国立国際美術館、2013年4月)
- ・講義: 「博物館実習」講座(4月25日、近畿大学)
- ・「第67回和歌山県美術展覧会」印刷物制作業務企画コンペ審査(6月5日)
- ・「ごぼう商工祭2013」美術鑑賞教室「20世紀の美術について」(6月9日、御堂会館)
- ・大阪市プロポーザル審査、6月21日
- ・公益財団法人 脇村獎学会研究会「第18回学芸員研究会」(学校教育との連携)(8月12日)
- ・歯・口に関する図画・ポスターコンクール審査(9月5日、和歌山県歯科医師会)
- ・対談: 「時代と自分-80年代に20代だった私たち」『起源を歩く-Jomonと原田要の庭』展(10月8日、京都造形芸術大学芸術館)
- ・講義: 「美術館よもやま話」(11月18日、和歌山信愛女子短期大学)
- ・エキスパート職員派遣: (11月8日、海南省立中野上小学校/2014年2月21日、和歌山市立加太小学校)

- ・公益財団法人 堀江オルゴール博物館理事

### 奥村一郎

- ・「生誕120年記念 石垣栄太郎」展を担当、図録編集および執筆「石垣栄太郎旧蔵資料からみえるもの ～「生誕120年記念 石垣栄太郎展」に寄せて」、講演会「石垣栄太郎の生涯と作品」およびプロアレクチャー、こどもギャラリートーク(11頁参照)
- ・「コレクション展 2013一春」を担当(前年度より継続/49頁参照)
- ・外部原稿執筆: 「作品解説/シンディ・シャーマン」『美の饗宴 関西コレクションズ』図録(国立国際美術館、2013年4月)
- ・外部原稿執筆: (福田道宏と共に)「小千谷 東忠あて大亦觀風書簡 一」『広島女学院大学国際教養学部紀要』第1号(2014年3月)
- ・講演: 「歴史講座 No.4 石垣栄太郎と生誕120周年記念特別展について」(9月26日、太地町公民館)
- ・講演: 「石垣栄太郎展について」(10月3日、関西博物館連盟幹事会および第153回例会にて、和歌山県立近代美術館)
- ・番組制作協力: 「文化の秋～近代美術館で石垣栄太郎展 開催中」『あと! テレわか』テレビ和歌山(10月3日18:00-)
- ・番組制作協力: 「きらり紀州人: 太地町に生まれ米国で1920年代から40年代にかけてニューヨークを中心に活躍した画家の石垣栄太郎。県立近代美術館奥村一郎学芸員にその画業を聞く』『あすのWA!』NHK和歌山放送局

## 収集事業

(10月11日18:10-)

- ・インタビュー再録協力：『戸谷成雄 彫刻と言葉 1974-2013』(ヴァンジ彫刻庭園美術館、2014年3月10日)【『森のなかで』図録(2007)より】

宮本久宣

- ・「物質と美術」展を担当、リーフレット執筆編集、フロアレクチャー(15頁参照)
- ・特集展示「瑛九：紙の上の仕事」を担当、パンフレット執筆編集、フロアレクチャー(27頁参照)
- ・「コレクション展 2013-秋」を担当(30頁参照)
- ・「コレクション展 2014-春」を担当(42頁参照)
- ・執筆：機関誌『NEWS』No.75「瑛九《旅人》について」、No.76「講演会「瑛九版画の魅力 ー制作者の視点からー」 講師 田島直樹(筑波大学芸術系准教授、版画家)」、No.78「モノでしかないモノを作る 中川佳宣の潮岬での展示と美術館でのワークショップから」
- ・外部原稿執筆：「作品解説／トム・ウェッセルマン《シースケープ #8》」「美の饗宴 関西コレクションズ」図録(国立国際美術館、2013年4月)
- ・外部原稿執筆：「作品解説／トム・ウェッセルマン《シースケープ #8》」「朝日新聞」大版版(2013年5月20日)
- ・外部原稿執筆：「作品解説／原田直次郎《騎龍観音》」など10編『日本美術全集』16巻「激動期の美術」(小学館、2013年10月)
- ・全国美術館会議 東日本大震災美術館・博物館総合調査(6月18日-21日)

青木加苗

- ・「なつやすみの美術館3：美術の時間」展を担当、フロアレクチャーおよびこどもギャラリートーク(8頁参照)
- ・「コレクション展 2013/14-冬」を担当(36頁参照)
- ・特集展示「モノクロームの世界」を担当(44頁参照)
- ・執筆：機関誌『NEWS』No.75「ゴールデンウィークは美術館へ→」(編)、No.76「今年の「なつやすみ」を総まとめ なつやすみの美術館3「美術の時間」より」、アーティスト・トーク 佐藤時啓-ワークショップ 光とあそぼう!」、No.78「不思議なモノと美術館」
- ・平成26年度和歌山県職員募集案内パンフレット、ホームページ及びポスター制作業務プロポーザルにおける企画案審査員(10月4日)
- ・外部原稿執筆：「2013年度美術館活動助成 和歌山県立近代美術館「なつやすみの美術館」展を契機とする美術館を拠点とした学校・地域の連携プログラム」『美連協ニュース』(No.118/2013年5月号)
- ・外部原稿執筆：「作品解説／ドナルド・ジャッド《無題》」、「作品解説／バーバラ・クルーガー《無題(私を覚えていて)》」「美の饗宴 関西コレクションズ」図録(国立国際美術館、2013年4月)
- ・番組制作協力：「企画展「なつやすみの美術館3『美術の時間』」～展覧会を通じた学校と美術館の連携～」『教育広報ラジオ番組「定期便 教育の窓」』和歌山県教育委員会(7月13日19:30-19:45)
- ・番組制作協力：「なつやすみの美術館3『美術の時間』」「あっと! テレわか NEWSスタイル』テレビ和歌山(8月14日18:00-18:56)
- ・口頭発表：第36回美術科教育学会奈良大会「美術館を拠点とした学校・地

### 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- |     |   |
|-----|---|
| 日本画 | 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち                        |
|     | 2. 野長瀬晚花を軸とする国画創作協会の作家たち                        |
| 洋画  | 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち               |
|     | 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち               |
|     | 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち           |
| 版画  | 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画 |
| 彫刻  | 7. 本県にゆかりのある建畠寛造、保田春彦を軸とする現代彫刻                  |
| その他 | 8. 戦後美術   |
|     | ア バンリアル美術協会                                     |
|     | イ 走泥社   |
|     | ウ デモクラート美術家協会                                   |
|     | エ 具体美術協会  |
|     | 9. 現代の美術  |
|     | 10. 海外の美術                                       |

### 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿

- |      |                        |
|------|------------------------|
| 榎本長治 | 会社社長                   |
| 酒井哲朗 | 前福島県立美術館館長             |
| 建畠 哲 | 京都市立芸術大学学長・埼玉県立近代美術館館長 |

### 第36回美術作品選定委員会

- 日 時：平成26年3月5日(水) 午後1時より開催  
 出 席：榎本長治委員、酒井哲朗委員、建畠哲委員  
 内 容：購入候補作品ならびに受贈候補作品について、受け入れの妥当性について協議を行った。

### 2013(平成25)年度収蔵作品点数

- |      |       |
|------|-------|
| 購入作品 | 10点   |
| 受贈作品 | 52点   |
| 購入資料 | 1点    |
| 受贈資料 | 2802点 |

## 2013(平成25)年度

### 購入作品

各作品の作者名、制作年、技法、材質、寸法(cm)、特記なき平面作品はイメージサイズ)、台帳番号を作者名50音順、制作年の順に配列



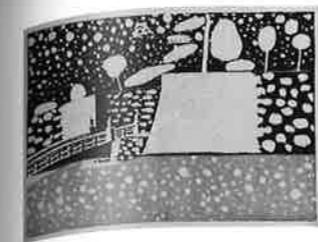
1. 池田 满寿夫 IKEDA Masuo  
表面A  
1957(昭和32)  
エッチング、アクアチント、紙  
30.3×23.1  
[10709]



2. 池田 满寿夫 IKEDA Masuo  
表面B  
1957(昭和32)  
エッチング、紙  
32.8×26.3  
[10710]



3. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
あさあけ  
1914(大正3)  
木版、紙  
13.8×10.0  
[10713]



4. 岩根 豊秀 IWANE Toyohide  
雪  
不詳  
賸写版、紙  
24.7×35.5  
岩根順子氏寄贈  
[10718]



1. 平和記念公園「原爆の子の像」(広島)  
[10747-1]



2. 平和記念公園  
「韓国人原爆犠牲者慰靈碑」(広島)  
[10747-2]



4. 恩地 孝四郎 ONCHI Koshiro  
失題  
1917(大正6)頃  
木版、紙  
29.3×23.4  
[10714]



5. 小林 徳三郎 KOBAYASHI Tokusaburo  
妙義山之秋  
1918(大正7)  
油彩、キャンバス  
40.8×31.8  
[10708]



6. 神中 糸子 JINNAKA Itoko  
妙義山之秋  
1918(大正7)  
油彩、キャンバス  
73.0×100.4  
[10715]



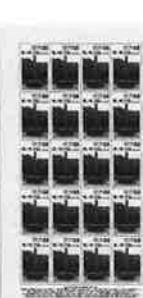
7. 首宮 一念 SOMIYA Ichinen  
青色の静物  
1926(大正15)  
油彩、キャンバス  
60.5×45.3  
[10750]



3. 平和記念公園「咲三吉詩碑」(広島)  
[10747-3]



4. 大久野島「毒ガス障害死没者慰靈碑」  
(広島)  
[10747-4]



5. 平和公園「原子爆弾落下中心の碑」  
(長崎)  
[10747-5]



6. 平和公園  
「乙女の像と長崎刑務所浦上刑務  
支所跡」(長崎)  
[10747-6]



8. 德力 富吉郎  
TOKURIKI Tomikichiro  
[建物のある風景]  
不詳  
木版、紙  
15.7×21.3  
[10711]



9. 德力 富吉郎  
TOKURIKI Tomikichiro  
[水路のある風景]  
不詳  
木版、紙  
14.8×20.5  
[10712]



10. 保田 春彦 YASUDA Haruhiko  
父の像  
1951(昭和26)／2013(平成25)鋳造  
ブロンズ  
木版、紙  
高さ65.0  
[10749]



7. 平和公園「松尾あつゆきの句碑」  
(長崎)  
[10747-7]



8. 沖縄戦「平和の礎」(沖縄)  
[10747-8]



9. 沖縄戦「沖縄師範健児之塔」(沖縄)  
[10747-9]



10. 沖縄戦「韓国人慰靈塔」(沖縄)  
[10747-10]

## 2013(平成25)年度 寄贈作品

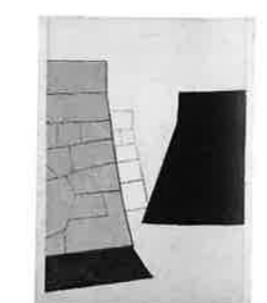
各作品の作者名、制作年、技法、材質、寸法(cm)、台帳番号を作者名50音順、制作年の順に配列



1. 石井 柏亭 ISHII Hakutei  
白瀬圓月嵐  
1953(昭和28)  
顔料、紙  
44.0×54.6  
新井一令氏寄贈  
[10746]



2. 岩根 豊秀 IWANE Toyohide  
月明の彦根城  
1951(昭和26)  
孔版、紙  
27.0×38.2  
岩根順子氏寄贈  
[10717]



3. 岩根 豊秀 IWANE Toyohide  
彦根城の石垣  
不詳  
賸写版、紙  
35.5×24.6  
岩根順子氏寄贈  
[10716]



11. 沖縄戦「魂魄之塔」(沖縄)  
[10747-11]



12. 沖縄戦「ひめゆりの塔」(沖縄)  
[10747-12]



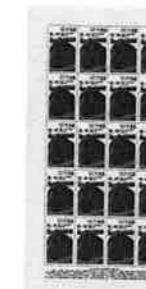
13. 沖縄戦「小桜の塔」(沖縄)  
[10747-13]



14. 知覧「特攻隊慰靈碑」(鹿児島)  
[10747-14]



15. 出陣学徒壮行の地の碑(東京)  
[10747-15]



16. 戦没プロ野球選手「鎮魂の碑」(東京)  
[10747-16]



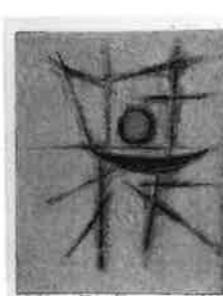
17. 移動劇団さくら隊「鎮魂の碑」(東京)  
[10747-17]



18. 满蒙開拓団殉難者の碑(東京)  
[10747-18]



34. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
海の陽 B  
1970(昭和45)  
孔版、紙  
34.1×28.1  
作者寄贈  
[10720]



35. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
海の陽 C  
1970(昭和45)  
孔版、紙  
34.1×28.1  
作者寄贈  
[10721]



36. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
海の陽 D  
1970(昭和45)  
孔版、紙  
34.1×28.1  
作者寄贈  
[10722]



37. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
夜の時間  
1972(昭和47)  
孔版、紙  
42.7×28.0  
作者寄贈  
[10723]



19. 千鳥ヶ淵戦没者墓園(東京)  
[10747-19]



20. 慰盤碑哀しみの東京大空襲(東京)  
[10747-20]



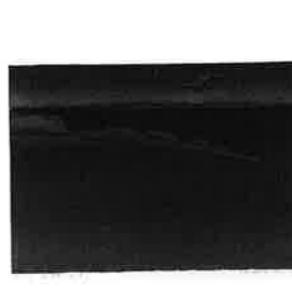
25. 香山 小鳥 KAYAMA Kotori  
浅草玉乗り／ダヌンツィオ像  
1912(大正元)  
油彩、板  
33.1×23.1  
戸幸忠氏寄贈  
[10742]



38. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
希望  
1972(昭和47)  
孔版、紙  
43.1×30.0  
作者寄贈  
[10724]



39. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
雲の記憶(越路)  
1975(昭和50)  
孔版、紙  
30.2×42.5  
作者寄贈  
[10725]



40. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
雲の記憶(岬)  
1975(昭和50)  
孔版、紙  
30.2×42.5  
作者寄贈  
[10726]



41. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
青の記憶(にじ)  
1975(昭和50)  
孔版、紙  
42.6×29.9  
作者寄贈  
[10727]



26. 川口 軌外 KAWAGUCHI Kigai  
[潮岬]  
1965(昭和40)頃  
油彩、キャンバス  
52.5×45.6  
橋本重治氏寄贈  
[10743]



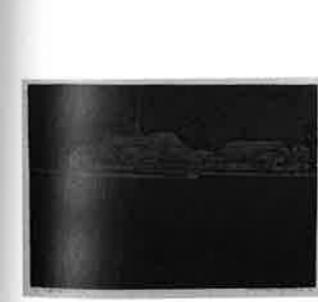
27. 川口 軌外 KAWAGUCHI Kigai  
[静物]  
不詳  
油彩、キャンバス  
40.5×53.2  
橋本重治氏寄贈  
[10744]



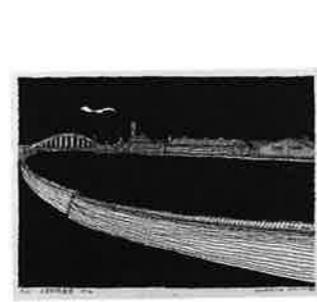
28. 木下 克巳 KINOSHITA Katsumi  
燈下  
1941(昭和16)  
油彩、キャンバス  
57.5×69.5  
小関洋治氏寄贈  
[10740]



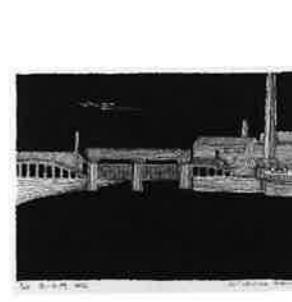
29. 木下 克巳 KINOSHITA Katsumi  
海  
1962(昭和37)  
油彩、キャンバス  
89.0×70.5  
小関洋治氏寄贈  
[10741]



42. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
信濃川暮色  
1978(昭和53)  
孔版、紙  
30.0×42.1  
作者寄贈  
[10728]



43. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
江東新橋遠望  
1976(昭和51)  
贋写版、紙  
18.2×25.6  
作者寄贈  
[10729]



44. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
赤い水門  
1976(昭和51)  
贋写版、紙  
18.1×25.7  
作者寄贈  
[10730]



45. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
一つ雲  
1976(昭和51)  
贋写版、紙  
18.1×25.7  
作者寄贈  
[10731]



30. 木下 克巳 KINOSHITA Katsumi  
群像  
1967(昭和42)  
油彩、キャンバス  
160.8×95.8  
小関洋治氏寄贈  
[10739]



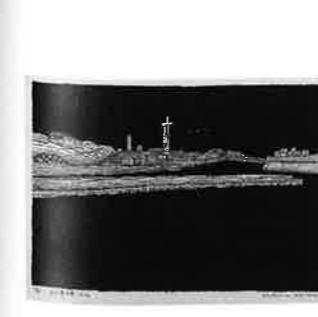
31. 堀 香子 HORI Kyoko  
あまねく その指で  
2011(平成23)  
陶  
33.0×34.0×36.0  
田中恒子氏寄贈  
[10748]



32. 堀 浩哉 HORI Kosai  
Paper Painting  
1992(平成4)頃  
アクリル絵具、墨、岩絵具、和紙  
25.3×12.8  
田中恒子氏寄贈  
[8731]



33. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
海の陽 A  
1970(昭和45)  
孔版、紙  
34.0×28.2  
作者寄贈  
[10719]



46. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
外川港夕景  
1976(昭和51)  
贋写版、紙  
18.1×25.8  
作者寄贈  
[10732]



47. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
加治川二流  
1979(昭和54)  
贋写版、紙  
18.0×26.1  
作者寄贈  
[10733]



48. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
川に沿って  
1984(昭和59)  
贋写版、紙  
17.8×26.0  
作者寄贈  
[10734]



49. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
北海の朝  
1986(昭和61)  
贋写版、紙  
17.9×25.9  
作者寄贈  
[10735]



50. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
ある中学校の首夏  
1990(平成2)  
贈写版、紙  
18.0×26.1  
作者寄贈  
[10736]



51. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
荒川に沿う  
1991(平成3)  
贈写版、紙  
17.9×25.9  
作者寄贈  
[10737]



52. 本間 吉郎 HONMA Kichiro  
川口にて働きし...  
2002(平成14)  
贈写版、紙  
18.0×25.1  
作者寄贈  
[10738]

## 2013(平成25)年度 購入資料

各作品の作者名、制作年、技法、材質、寸法(cm、特記なき平面作品はイカゲン)、台帳番号を作者名50音順、制作年の順に配列



1. 田中 恭吉ほか著画  
萩原朔太郎著「月に吠える」初版  
1917(大正6)年2月15日発行  
書籍  
20.1×14.0×2.8

## 2013(平成25)年度 受贈資料

作家名アルファベット順→制作年の順に配列

No.	作者名	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	備考
1~32	岩根 豊秀	資料(岩根順子氏寄贈)				
	岩根 豊秀	「鳥居本養鶏組合」ポスター	1930(昭和5)頃	贈写版、紙	39.2×27.3	
	岩根 豊秀	第21回滋賀県贈写美術研究会案内	1930年代	贈写版、紙	14.2×9.2	
	岩根 豊秀	第34回滋賀県贈写美術研究会案内	1930年代	贈写版、紙	14.2×9.2	
	岩根 豊秀	毛糸製品の洗濯の仕方	1930年代	贈写版、紙	12.0×8.8	
	岩根 豊秀	「金龜食堂納涼食堂船会員募集」ポスター	1932(昭和7)	贈写版、紙	40.2×27.0	
	岩根 豊秀	「金龜食堂」ポスター	1932(昭和7)	贈写版、紙	55.0×39.5	
	岩根 豊秀	「電車バス連絡時刻表」ポスター	1933(昭和8)頃	贈写版、紙	54.9×39.4	
	岩根 豊秀	サンライズスタヂオ挨拶状	1934(昭和9)	贈写版、紙	14.3×9.1	
	岩根 豊秀	1934年以後の贈写版材料界の展望	1934(昭和9)	贈写版、紙	12.0×8.2×0.3	
	岩根 豊秀	サンライズスタヂオ封筒	1934(昭和9)頃	贈写版、紙	28.1×11.4	
	岩根 豊秀	サンライズスタヂオ封筒	1934(昭和9)頃	贈写版、紙	13.7×17.2	
	岩根 豊秀	雑感	1935(昭和10)	贈写版、紙	26.4×18.4	
	岩根 豊秀	贈写用品説明書	1935(昭和10)	贈写版、紙	23.1×13.1	
	岩根 豊秀	贈写用品説明書	1935(昭和10)	贈写版、紙	23.1×13.1	
	岩根 豊秀	最高標準用品説明書	1935(昭和10)	贈写版、紙	13.7×9.8	
	岩根 豊秀	カレンダー飾り絵	1935(昭和10)	贈写版、紙	19.0×27.2	
	岩根 豊秀	『贈写版』リーフレット	1935(昭和10)頃	贈写版、紙	8.4×9.9	
	岩根 豊秀	第12回滋賀県贈写美術研究会案内	1935(昭和10)年5月9日	贈写版、紙	14.2×9.2	
	岩根 豊秀	1937年カレンダー	1937(昭和12)	贈写版、紙	55.3×26.4	
	岩根 豊秀	近江鉄道時刻表	1942(昭和17)年10月	贈写版、紙	13.4×6.5	
	岩根 豊秀	ヤマト洋裁研究所手芸部案内書	1947(昭和22)頃	贈写版、紙	18.4×12.8	
	岩根 豊秀	表紙絵(桃花)	1947(昭和22)頃	贈写版、紙	27.1×19.4	
	岩根 豊秀	表紙絵	1947(昭和22)頃	贈写版、紙	27.4×19.3	
	岩根 豊秀	『杉の澤』創刊号表紙	1947(昭和22)頃	贈写版、紙	27.4×19.3	
	岩根 豊秀	「井伊大老劇発表会」ポスター	1950(昭和25)	贈写版、紙	38.4×27.2	
	岩根 豊秀	彦根外映研究会案内	1950(昭和25)年1月	贈写版、紙	14.2×9.2	
	岩根 豊秀	サンライズ封筒	1950年代	シルクスクリーン、紙	13.7×17.2	
	岩根 豊秀	サンライズ封筒	1950年代	贈写版、紙	9.7×14.4	
	岩根 豊秀	サンライズ工房領収書	1950年代	贈写版、紙	13.3×17.8	
	岩根 豊秀	SUNRISE案内	1951(昭和26)頃	贈写版、紙	25.7×35.6	
	岩根 豊秀	サンライズ封筒	1970年代	シルクスクリーン、紙	11.4×22.0	
	岩根 豊秀	メニュー	不詳	贈写版、紙	27.4×19.3	
33~2797	建畠覚造資料(建畠嘉氏寄贈)					主として鉛筆、紙
	建畠覚造	資料2765点(ドローイング2712点+制作用資料53点)				
2798~2801	美術館友の会プレゼント用版画(和歌山県立近代美術館友の会寄贈)					
	安井寿磨子	春開く	2013(平成25)	エッチング、手彩色、紙	9.8×10.2	
	安井寿磨子	夏の樹	2013(平成25)	エッチング、手彩色、紙	10.0×10.0	
	安井寿磨子	ちぎれる秋	2013(平成25)	エッチング、手彩色、紙	10.2×8.9	
	安井寿磨子	冬の器	2013(平成25)	エッチング、手彩色、紙	10.2×9.5	
2802	父の像(台帳番号10749)原型(保田春彦氏寄贈)					
	保田春彦	父の像(石膏原型)	1951(昭和26)	石膏	高さ65.0×53.0×28.0	

## 図書資料収集

2013(平成25)年度購入

### 逐次刊行物(定期購読)

12タイトル77冊

- 1 『アサヒカメラ』 12冊
- 2 『イラストレーション』 4 冊
- 3 『近代画説』 1 冊
- 4 『芸術新潮』 2 冊
- 5 『新建築』 12冊
- 6 『西洋美術研究』 1 冊
- 7 『版画芸術』 3 冊
- 8 『美術研究』 2 冊
- 9 『美術手帖』 20冊
- 10 『美術フォーラム21』 12冊
- 11 『+81』 4 冊
- 12 『炎芸術』 4 冊

### 単行書 58冊

- ・浅井和春 [編] 『日本美術全集』 第3巻、小学館、2013年
- ・荒川正明 [編] 『日本美術全集』 第10巻、小学館、2013年
- ・有山輝雄 『海外観光旅行の誕生』 吉川弘文館、2002年
- ・飯野正仁 『戦時下日本美術年表: 1930→1945』 藝華書院、2013年
- ・石井祐子 『コラージュの彼岸 一マックス・エルンストの制作と展示』 ブリュッケ、2014年
- ・石垣綾子 『石垣綾子—私の爪あと』 (人間の記録 (76)) 日本図書センター、1998年
- ・石垣綾子(マツイ・ハル) 『想いなき波—私の二つの世界—』 未来社、1990年
- ・泉武夫 [編] 『日本美術全集』 第5巻、小学館、2014年
- ・稻賀繁美 『絵画の臨界: 近代東アジア美術史の桎梏と命運』 名古屋大学出版会、2014年
- ・岡本伸之 『観光学入門—ポスト・マス・ツーリズムの観光学』 有斐閣、2001年
- ・加藤薰 『ティエゴ・リベラの生涯と壁画』 岩波書店、2011年
- ・川戸道昭／榎原貴教 『図説絵本・挿絵大事典』 第1巻(図説 日本の児童書四〇〇年)、大空社／ナダ出版センター、2008年
- ・川戸道昭／榎原貴教 『図説絵本・挿絵大事典』 第2巻(絵本・挿絵画家事典あ～そ)、大空社／ナダ出版センター、2008年
- ・川戸道昭／榎原貴教 『図説絵本・挿絵大事典』 第3巻(絵本・挿絵画家事典た～わ)、大空社／ナダ出版センター、2008年
- ・北澤憲昭 [ほか] 『美術の日本近現代史—制度・言説・造型』 東京美術、2014年
- ・北澤憲昭 『境界の美術史』 [新装版]、ブリュッケ、2000年
- ・北澤憲昭 『「日本画」の転位』 [新装版]、ブリュッケ、2003年
- ・木下直之 『銅像時代 もうひとつの日本彫刻史』 岩波書店、2014年

ザイン』 国書刊行会、2004年

- ・日比嘉高 『ジャパニーズ・アメリカ 移民文学・出版文学・収容所』 新曜社、2014年
- ・宮下誠 『越境する天使パウル・クレー』 春秋社、2009年
- ・森美術館 『六本木クロッシング2013 アウト・オブ・ダウト—来るべき風景のために』 平凡社、2013年
- ・森美術館 [監修] 『アンディ・ウォーホル展: 永遠の15分』 美術出版社、2014年
- ・保田龍門／保田春彦 『保田龍門・保田春彦往復書簡: 1958-1965』 武蔵野美術大学出版局、2013年
- ・安村敏信 [編] 『日本美術全集』 第13巻、小学館、2013年
- ・山口康男 『日本のアニメ全史: 世界を制した日本アニメの奇跡』 テン・ブックス、2004年
- ・山下裕二 [編] 『日本美術全集』 第16巻、小学館、2013年
- ・山下裕二／高岸輝 [編] 『日本美術史』 美術出版社、2014年
- ・山中弘 『宗教とツーリズム—聖なるものの変容と持続—』 世界思想社、2012年
- ・山本勉 [編] 『日本美術全集』 第7巻、小学館、2013年
- ・陸偉榮 『中国の近代美術と日本—20世紀日中関係の一断面—』 大学教育出版、2007年
- ・綿田稔 『漢画師?雪舟の仕事』 ブリュッケ、2013年

### 逐次刊行物ほか 70冊

- ・『純正美術』 12冊、純正美術社
- ・『スバル』 1 冊、昂発行所
- ・『正則洋画講義』 11冊、日本美術学院
- ・『美之國』 27冊、美之國社
- ・『別冊太陽: 日本のこころ』 217(明治の細密工芸 驚異の超絶技巧!)、平凡社
- ・『黙鐘』 2 冊、アート俱楽部
- ・『DER STURM』 5 冊
- ・[日本版画協会展] 『第一回日本版画協会展覧會出品目録』 日本版画協会、1931年
- ・[日本版画協会展] 『第七回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1938年
- ・[日本版画協会展] 『第九回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1940年
- ・[日本版画協会展] 『第十回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1941年
- ・[日本版画協会展] 『第十一回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1942年
- ・[日本版画協会展] 『第十二回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1943年
- ・[日本版画協会展] 『第十三回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1944年
- ・[日本版画協会展] 『第十四回日本版画協会展覧會目録』 日本版画協会、1946年

## 保存事業

### 1 所蔵作品の状態調査

- 展示、貸出の機会にあわせて継続的に所蔵品の状態を調査し、保存上の対策を必要とする作品については、マウントや額裏板の改良・交換を中心に入手を進めた。

### 2 所蔵作品の保存修復

- 館外の保存修復専門家による状態調査を実施・記録し、修復が必要と判断された作品のうち、優先順位を考慮しながら保存修復処置を進めた。

#### [版画・素描等の紙本作品]

香山小鳥《愁》木版、紙 ほか58点

(主な处置内容)旧ヒンジ除去、粘着材除去、接着剤除去、ドライクリーニング、フラットニング、破れ補修、インレイ、仮マージン

#### [油彩画]

中川八郎《風景》1919 油彩、キャンバス

(主な处置内容)

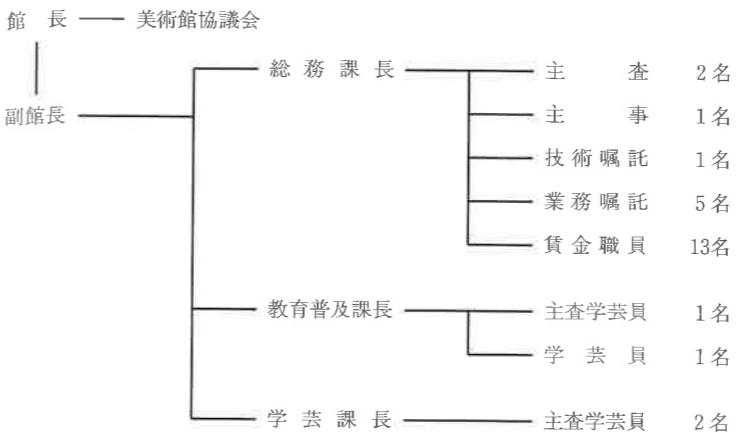
浮き上がり接着、破れ補修、変形修正、洗浄、補彩

### 3 保存環境の整備

- 収蔵庫、展示資材倉庫等の清掃
- 荷解室、作業室、一時保管庫、外気の温湿度計測
- 総合虫害管理システムにより、外部の専門家に委託してモニタリングを館内116箇所で6回実施(4~5月、5~6月、7~8月、9~10月、10~11月、12~1月、2~3月)
- 空気環境測定(収蔵庫・展示室・展示ケース内のホルムアルデヒド・アンモニア・酢酸・蟻酸を測定。8月、3月)
- 展示室等のブンガノンによる燻蒸を実施(2階:6月、1階・地下:8月)
- 空中浮遊菌調査(収蔵庫・展示室など25か所をエアーサンプラーにより採取、培養検査。8月)
- 作品のエキヒューム燻蒸(10月、3月)

## 管理運営

### 組織



### 機構及び職員配置

館長	熊田 司
副館長	浜田 拓志
総務課 総務課長	出口 孝志
主査	岡本 浩幸(和歌山県立博物館主査兼務)
主事	畠崎 伸仁(和歌山県立博物館主査兼務)
技術嘱託	大庭 泰希(和歌山県立博物館主事兼務)
業務嘱託	岡崎 修典(技術嘱託)
教育普及課 教育普及課長	奥村 泰彦
主査	奥村 一郎
学芸員	青木 加苗
学芸課 学芸課長	井上 芳子
主査	植野 比佐見
主査	宮本 久宣
業務嘱託	5名
資金職員(事務補助)	1名
資金職員(監視)	13名

### 和歌山県立近代美術館協議会委員

任期2年: 2012(平成24)年11月3日~2014(平成26)年11月2日

氏名(○会長、○副会長)	役職【備考】
井上節子	NPO法人和歌山芸術文化支援協会 理事長
榎本長治	会社社長
○ 酒井哲朗	前福島県立美術館 館長
島村安彦	会社社長
清水達三	和歌山県美術家協会 会長
○ 神人勲	歯科医院院長
建畠哲	京都市立芸術大学 学長 埼玉県立近代美術館 館長
谷奈々	財和歌山社会経済研究所 主任研究員
堀優子	和歌山市立加太小学校 校長 和歌山市立加太幼稚園 園長
真砂美香	わかやまメディアリテラシー研究会 代表
山脇佐江子	前姫路市立美術館 館長
雪山行二	富山県立近代美術館 館長 (平成25年11月1日より新任)

氏名五十音順、2014(平成26)年3月31日現在 委員12名

### 修繕業務

以下の設備について修繕を行った。

- 防災用放送設備修繕
- 円型ドアEPU引戸用自動開閉装置修繕
- 防災盤電源ユニット取替修繕

### 第55回和歌山県立近代美術館協議会

2013(平成25)年8月27日14時より開催。和歌山県立博物館施設の機能強化について、平成26年度以降の展覧会計画について、教育普及活動等に係る本年度の取り組みについて協議が行われた。

### 第56回和歌山県立近代美術館協議会

2014(平成26)年3月5日15時30分より開催。2013(平成25)年度事業経過報告、2014(平成26)年度事業計画、和歌山県立博物館施設の機能強化についてなど、当館の運営について協議が行われた。

## 関連法規

○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和45年10月6日

条例第64号

改正 平成6年3月30日条例第18号

平成17年2月25日教育委員会規則第2号

平成19年3月30日教育委員会規則第15号

### 2013(平成25)年度 展覧会入館者数

展覧会名	企画展					常設展					合計							
	日本の絵画の五十年	なつやすみの美術館3「美術の時間」	誕生120年記念 石垣栄太郎	物質(モノ)と美術	版画について考える	コレクション展	特集展示「版画・図案・オブジェ」	コレクション展	特集展示「瑛九紙の上の仕事」	コレクション展	特集展示「香山小鳥ゆめの日のかけ」	コレクション展	特集展示「人間と宇宙のドラマ」	コレクション展	特集展示「モノクロームの世界」			
会期	4月20日 6月16日 7月6日 8月25日	7月6日 8月10日 9月20日	9月3日 10月2日 11月30日	12月21日 1月2日 2月30日	2月18日 3月30日	2013春	2013夏	2013秋	2013冬	2013春	2013冬	2014春	2014春	2014春	合計			
日数	50	44	42	40	36	212	42	74	68	55	26	265	42	74	68	55	26	265

有料

個人	一般	954	2,228	845	744	611	5,382	828	2722	1124	915	511	6100
	団体	0	43	0	0	0	43	4	43	18	0	0	65
	紀陽	126	150	127	105	123	631	3	210	127	105	123	568
	友の会	62	60	64	45	43	274	40	89	101	56	33	319
	割引	50	102	18	27	24	221	34	134	30	38	14	250
大学生	一般	64	149	47	76	55	391	48	182	41	90	47	408
	団体	0	100	0	0	0	100	51	100	18	0	0	169
	紀陽	6	9	1	5	7	28	4	10	2	6	6	28
	割引	1	88	2	11	1	103	2	88	4	11	1	106
	小計	1263	2929	1104	1013	864	7173	1014	3578	1465	1221	735	8013

無料

高齢者	574	534	638	229	361	2336	430	711	1114	309	258	2822
障害者	101	133	108	54	79	475	79	177	138	67	72	533
その他	358	1161	426	410	275	2630	282	1323	1053	501	234	3393
県内留学生	0	5	3	2	16	26	0	5	4	2	0	11
高校生	32	337	26	149	34	578	31	364	54	157	33	639
中学生	73	3181	120	55	40	3469	27	3385	184	82	21	3699
小学生	82	699	46	86	71	984	58	795	73	89	68	1083
幼児	41	200	35	48	36	360	36	224	78	53	30	421
団体	303	967	243	509	0	2022	156	1153	351	509	0	2169
小計	1564	7217	1645	1542	912	12880	1099	8137	3049	1769	716	14770
合計	2827	10146	2749	2555	1776	20053	2113	11715	4514	2990	1451	22783

有料										合計
個人					学生					
一般	団体	紀陽	友の会	割引	大学生	団体	紀陽	割引	合計	入館者数合計
11482	108	1199	593	471	799	269	56	209	15186	42836
無料										合計
高齢者	障害者	その他	県内留学生	高校生	中学生	小学生	幼児	団体		27650
5158	1008	6023	37	1217	7168	2067	781	4191		27650

紀陽：紀陽文化財団の助成による入館者

その他：招待券、招待状、優待券による入館者

割引：メールマガジンなどの持参による入館者

### ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和45年10月22日

教育委員会規則第20号

改正 昭和53年4月1日教育委員会規則第12号

昭和56年5月28日教育委員会規則第7号

昭和63年3月31日教育委員会規則第13号

平成元年3月31日教育委員会規則第7号

平成6年3月31日教育委員会規則第8号

平成13年3月30日教育委員会規則第11号

総務課

教育普及課

学芸課

2 総務課においては、次の事務をつかさどる。

(1) 館長印、館印その他の公印の管守に関する事務。

(2) 職員の身分、服務その他の人事に関する事務。

(3) 文書の収受、発送、編さん及び保存に関する事務。

(4) 予算、決算及び会計に関する事務。

(課の設置及び所掌事務)

第5条 和歌山県立近代美術館に、次の課を置く。

総務課

教育普及課

学芸課

3 和歌山県立近代美術館は、以下のとおりとする。

(1) 毎週月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い土曜日、日曜日又は休日でない日)

(2) 年始(1月1日から同月3日まで)

(3) 年末(12月29日から同月31日まで)

(4) 前各号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日

2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1号から第3号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

3 非常災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。

(1) 休館の期間

(2) 非常災その他急迫の事情の概要

(3) その他必要と認める事項

(職員)

第4条 和歌山県立近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

4 職員の配置

5 職員の資格

6 職員の待遇

7 職員の権限

- (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関すること。  
 (6) その他学芸課の主管に属しないこと。
- 3 教育普及課においては、次の事務をつかさどる。  
 (1) 美術に関する知識の向上及び普及並びに美術の振興に関すること。  
 (2) 学校等の教育、学術又は文化に関する諸施設に対する助言及び支援並びに当該施設との協力に関すること。  
 (3) 国内外の美術館等関係諸団体との連絡及び協力に関すること。  
 (4) 近代美術に関する展覧会、講演会及び研究会等の立案、調整及び実施に関すること。  
 (5) 美術館活動(美術品等の展示及び収集並びに美術の普及活動等をはじめとして広く美術館において行う諸活動をいう。)に係る調査研究に関すること。
- 4 学芸課においては、次の事務をつかさどる。  
 (1) 美術品及び美術に関する資料の収集、管理及び保存に関すること。  
 (2) 近代美術に関する展覧会の立案、調整及び実施に関すること。  
 (3) 近代美術に関する調査研究及び資料の刊行に関すること。  
 (4) 近代美術館協議会に関すること。
- (入館の拒絶、制限及び退館命令)
- 第6条** 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。  
 (1) 伝染性疾患のある者  
 (2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者  
 (3) 館内の秩序を乱すと認められる者  
 (4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者
- 2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。
- (損害賠償の義務)
- 第7条** 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。
- (委任)
- 第8条** この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関する事項は、教育長の承認を得て館長が定める。
- 付 則**  
 この規則は、昭和45年11月2日から施行する。
- 附 則** (昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)  
 この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)  
 この規則は、公布の日から施行する。
- 附 則** (昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)  
 この規則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

- この規則は、平成元年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成6年3月31日教育委員会規則第8号)  
 この規則は、平成6年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成13年3月30日教育委員会規則第11号)  
 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成17年2月25日教育委員会規則第2号)  
 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 附 則** (平成19年3月30日教育委員会規則第15号)  
 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 和歌山県博物館協議会条例
- 昭和57年3月29日  
 条例第11号  
 改正 平成24年和歌山県条例28号
- 和歌山県博物館協議会条例をここに公布する。
- 和歌山県博物館協議会条例**
- (設置)
- 第1条** 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定に基づき、次の表の左欄に掲げる博物館にそれぞれ当該右欄に掲げる博物館協議会(以下「協議会」という。)を設置する。
- | 博物館の名称       | 協議会の名称          |
|--------------|-----------------|
| 和歌山県立近代美術館   | 和歌山県立近代美術館協議会   |
| 和歌山県立博物館     | 和歌山県立博物館協議会     |
| 和歌山県立紀伊風土記の丘 | 和歌山県立紀伊風土記の丘協議会 |
| 和歌山県立自然博物館   | 和歌山県立自然博物館協議会   |
- (委員の任命の基準)
- 第2条** 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命する。
- (委員の定数)
- 第3条** 委員の定数は、15人以内とする。
- (任期)
- 第4条** 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。
- (会長等)
- 第5条** 協議会に、会長及び副会長1人を置く。
- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

- (会議)
- 第6条** 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。
- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- (小委員会及び部会)
- 第7条** 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。
- 2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。
- 3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。
- 4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。
- (庶務)
- 第8条** 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。
- (委任)
- 第9条** この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。
- 附 則**  
 この条例は、昭和57年4月1日から施行する。
- 附 則**(平成24年3月23日条例第28号)  
 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則
- 昭和46年10月12日  
 教育委員会規則第26号  
 改正 昭和56年8月29日教育委員会規則第15号  
 平成元年3月31日教育委員会規則第8号
- 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。
- 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則**
- (目的)
- 第1条** この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。
- (貸付)
- 第2条** 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。
- 2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。
- (申請手続)
- 第3条** 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。
- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所  
 (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量
- (3) 使用目的  
 (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要  
 (5) 借受期間  
 (6) 借受期間中における保管及び管理の方法  
 (7) その他参考となる事項
- (貸付承認)
- 第4条** 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。
- (貸付期間)
- 第5条** 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。
- (借受書等)
- 第6条** 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。
- (1) 借り受けける美術品の名称及び数量  
 (2) 借受期間  
 (3) 返納期日  
 (4) 返納場所  
 (5) 貸付条件に従う旨  
 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。
- 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。
- (遵守事項等)
- 第7条** 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。
- 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。
- 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。
- (貸付料)
- 第8条** 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延长期間にについて1,540円とし、1月を超える延長期間については3,090円とする。
- 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。
- 3 既納の貸付料は、これを返還しない。
- (貸付けの取消し)
- 第9条** 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。
- (補則)
- 第10条** この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

## 付 則

- この規則は、公布の日から施行する。
- 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。

附 則 (昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)

この規則は、昭和56年9月1日から施行する。

附 則 (平成元年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号	年	月	日
美術品貸付承認書			
殿	和歌山県立近代美術館長 印		
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。			
記			
1 貸付品 種別	作者名	題名	
材質	形状	製作年	
2 貸付期間 年 月 日から 年 月 日まで			
3 貸付料 金	円		
上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。			
4 美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。			
5 美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引換えに引き渡すものとする。			
6 その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。			

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日

教育委員会告示第12号

改正 平成6年3月31日教育委員会告示第1号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に関し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第2条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあったときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無償で受託するものとする。

(寄託)

第3条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならない。

(受入れ及び返還)

第4条 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。

2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。

3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他の代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

第5条 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

第6条 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第7条 受託証書を忘失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

第8条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか美術品の寄託に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則 (平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

美術作品保管依頼書	
種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作 品 の 所 在 地	
寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住 所  
氏 名  
記

- 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。
- 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。
- 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

別記第2号様式(第4条関係)

文書番号	年 月 日
受託証書	
作 品 名	
附 属 品	
寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで
上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。	
年 月 日	
住 所 氏 名 様	
和歌山県立近代美術館長 印	

○和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(平成元年8月1日教育長決定)

改正 平成14年3月1日

和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱を次のように定める  
和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会設置要綱

(目的)

第1条 和歌山県博物館協議会条例(昭和57年和歌山県条例第11号)第

別記第3号様式(第4条関係)

返還請求書	
作品名	
附 属 品	
寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで
上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。	
年 月 日	
和歌山県立近代美術館長 殿	
住 所 氏 名 様	

7条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)において収集する美術作品の選定に関する事務を適正かつ円滑に行なうことを目的として、和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(業務)

第2条 委員会は、美術館において収集する美術作品の選定に関する事項を審議する。

(構成)

第3条 委員会は、委員5名以内をもって構成する。

2 委員は、和歌山県立近代美術館協議会会長(以下「協議会会長」という。)が和歌山県立近代美術館協議会委員のうちから指名する。

3 委員の任期は、2年とし、再任ができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員のうちから協議会会長が指名する。

3 委員長は、会務を総理する。ただし、委員長に事故があるときは、あらかじめ協議会会長が指定する委員が会務を総理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)が招集する。

2 委員会の会議には、館長が、必要に応じて、委員でない者の出席を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は、館長が定める。

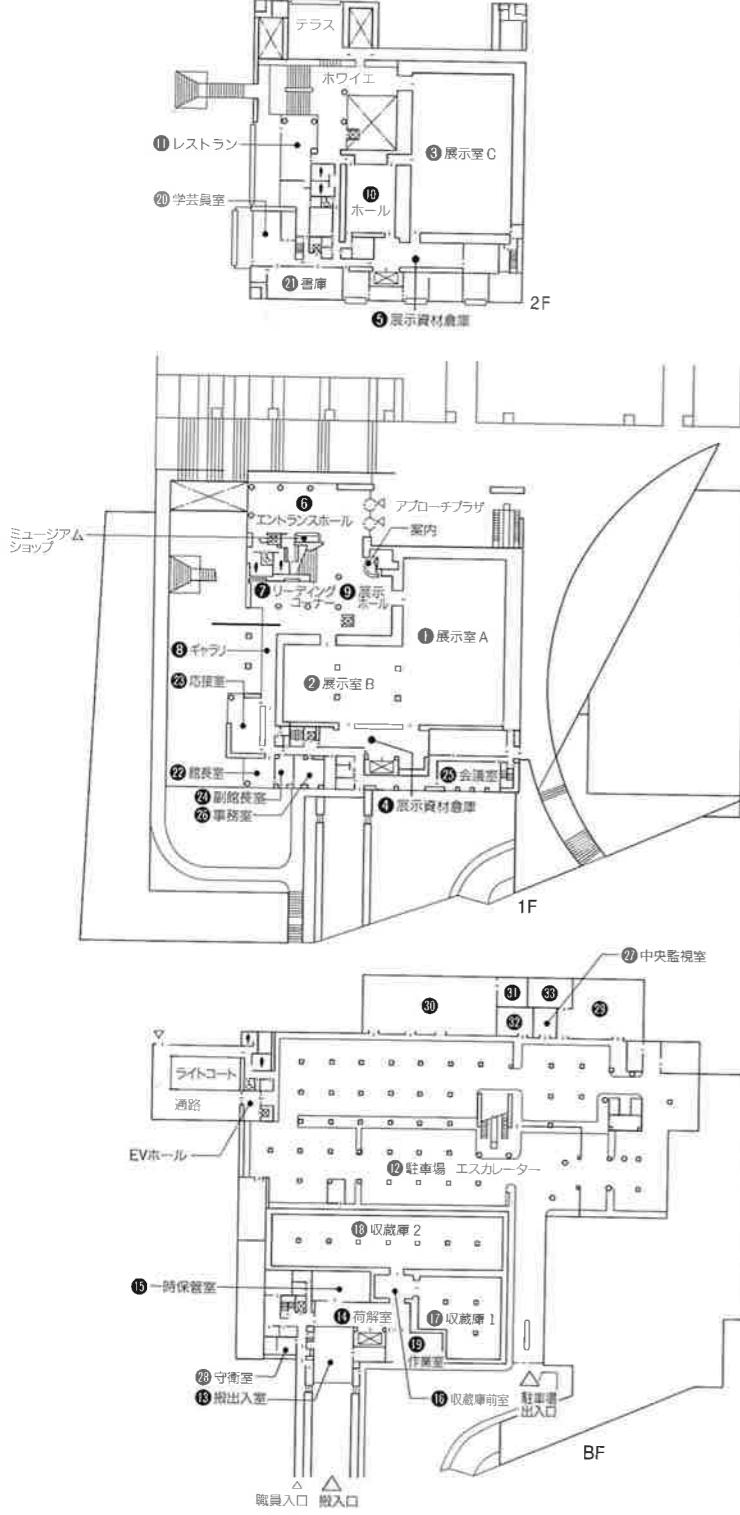
附 則

この要綱は、平成元年8月1日から施行する。

改正文(平成14年教育長決定)抄

この要綱は、平成14年3月1日から施行する。

# 建築概要



部門別面積表

部門	室名	面積(m <sup>2</sup> )
<b>展示部門</b>		
①展示室A	1,057.0	
②展示室B	486.1	
③展示室C	1,038.6	
④展示資材倉庫(1F)	136.2	
⑤展示資材倉庫(2F)	121.5	
(小計)	2,839.4	
<b>サービス部門</b>		
⑥エントランスホール	402.2	
⑦リーディングコーナー	217.8	
⑧ギャラリー	46.9	
⑨展示ホール	134.0	
⑩ホール	181.5	
ホール前室、映写室、控室A、倉庫	74.6	
⑪レストラン	105.1	
厨房	62.0	
テラス	217.9	
化粧室	181.9	
⑫駐車場	2,480.1	
EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7	
(小計)	5,774.7	
<b>収蔵部門</b>		
⑬搬出入室	108.4	
⑭荷解室	130.0	
⑮一時保管室	81.0	
⑯収蔵庫前室	61.4	
⑰収蔵庫1	342.5	
⑱収蔵庫2	685.6	
⑲作業室	82.0	
(小計)	1,490.9	
<b>調査部門</b>		
⑳学芸員室、倉庫	123.2	
㉑書庫	113.1	
(小計)	236.3	
<b>管理部門</b>		
㉒館長室		
㉓応接室		
㉔副館長室		
㉕会議室		
㉖事務室		
㉗中央監視室		
㉘守衛室		
控室B		
控室C		
控室D		
更衣室		
救護室		
㉙電気室	212.4	
㉚マシンルーム	364.9	
㉛消火ポンプ室	38.7	
㉜ハロンポンベ室	51.2	
㉝発電機室	58.1	
空調機械室	295.5	
倉庫、その他	31.1	
(小計)	1,496.6	
合計	11,837.9	
<b>階数</b>		
2 F	各階面積 2,916.8	
1 F	3,436.8	
B F	5,484.3	
合計 (延床面積)	11,837.9	

## 建築概要

所在地 和歌山市吹上一丁目4番14号  
敷地面積 23,356.78m<sup>2</sup>  
監理 和歌山県土木部營繕課  
設計監理 熊黒川紀章建築都市設計事務所  
施工 竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体  
きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体  
日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体  
総工費 137億806万円  
〔総事業費 192億633万1千円（用地費含む）〕  
工事期間 1991年10月～1994年3月

## 建物概要

構造 RC造（鉄筋コンクリート構造）  
地上2階地下1階建  
建築面積 7,087.17m<sup>2</sup>  
（美術館部分 4,500.62m<sup>2</sup> 博物館部分 2,586.55m<sup>2</sup>）  
延床面積 18,704.50m<sup>2</sup>（駐車場3,460.40m<sup>2</sup>を含む）  
（美術館部分11,837.90m<sup>2</sup> 博物館部分6,866.60m<sup>2</sup>）  
仕上 外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイド仕上、  
アルミカーテンウォール  
屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え  
庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイド仕上

## 設備概要

電気設備  
受変電設備 3φ3W 6600V 60Hz  
変圧器 1φ 600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA)  
3φ 1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)  
自家発電設備 ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm  
3φ 3W 6600V 375KVA  
蓄電池設備 キュービクル式直流電源装置  
容量 300AH

空調設備  
熱源設備 空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機  
165RT+110RT  
蓄熱槽 1560m<sup>3</sup>

排煙設備 自然排煙+機械排煙 6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)  
衛生設備

給水設備 受水槽 上水10m<sup>3</sup>、雑用水29m<sup>3</sup>  
受水方式 加圧給水ポンプ方式

排水設備 汚水・雨水分流式 (公共下水道へ放流)  
消防設備 ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫)

/屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火 (駐車場)  
自動火災報知設備 (館内守衛室にて集中管理)

煙感知器 光電スポット型 美術館224台 博物館155台  
熱感知機 差動スポット型 美術館105台 博物館 74台

定温スポット型 美術館 14台 博物館 13台

防災・防犯設備 (館内守衛室にて集中管理)

受信盤 複合GR型 504回線

ITV監視装置、防災アンプ (360W)

監視カメラ 美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室8台)

防犯センサー

## 展示・保存環境

	面積	床材	天井高
展示部門	展示室A ケース L 13,706×D 1,200×H 3,372 + L 31,070×D 1,200×H 3,372 (mm)	ナラフローリング	5m
	展示室B ケース L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	同上	4m
	展示室C ケース L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	同上	5m
1F 展示資材倉庫	136.2m <sup>2</sup>	ビニアスタイル	4m
2F 展示資材倉庫	121.5m <sup>2</sup>	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫1(立体) 収蔵庫2(平面)	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	前室 一時保管室 作業室 荷解室 搬出入口	同上	4m
	81.0m <sup>2</sup> 82.0m <sup>2</sup> 130.0m <sup>2</sup> 108.4m <sup>2</sup>	モザイクパーケット ビニアスタイル モルタル金ゴテ/ エポキシ系塗床	4m 5.8m 5.8m 4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト/蛍光灯(着脱式) /スポットライト(着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能		
空調	展示室 2系統 収蔵庫 2系統 展示室 設定温度 夏期24°C/冬期21°C 設定湿度 通年55% 収蔵庫 設定温度 通年22°C 設定湿度 通年55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H 3,000×W 5,000×D 2,500 (mm)		

## 案内

### 利用案内

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
 休館日 毎週月曜日(祝日のときはその翌日)  
 年末年始(12月29日~1月3日)  
 展示替え期間  
 駐車場 有料(90台収容)

### 交通案内

JR和歌山駅又は南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、  
 「県庁前」下車、徒歩2分(和歌山城向かい)



### 2013(平成25)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2015  
 〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
 TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337  
 2015(平成27)年3月31日発行  
 印刷 中和印刷紙器株式会社



THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA